工事仕様書

工事名称 三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

工事場所 三原市館町二丁目

工事内容 次のとおり、三原小学校校舎棟等の長寿命化改修工事を行う。

【工事概要】

1 校舎棟

1) 防水改修

塗膜防水 平場X-1, 立上りX-2

2) 外壁改修

打放し面表面劣化処理, 防水形複層塗材E吹付

3) 建具改修

鋼製学校間仕切, 建具廻りシーリング打替え

4) 内装改修

複合フローリング張り、長尺塩ビシート張り

- 2 屋内運動場
 - 1) 防水改修

塗膜防水 平場X-1, 立上りX-2

2) 外壁改修

打放し面表面劣化処理, 防水形複層塗材E吹付

3) 建具改修

アルミ製・鋼製・軽量鋼製建具、建具廻りシーリング打替え

4) 内装改修

複合フローリング張り, コートライン引き

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏)最新版, 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏)最新版, 建築物解体工事共通仕様書・最新版(国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- •建築基準法,同施行令,同施行規則
- •消防法, 同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- · 労働安全衛生法,同法施行令,同法施行規則
- ·建設工事公衆災害防止対策要綱
- · 石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法,振動規制法及び土壌汚染対策法
- その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なく とも完全に施工すること。

施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和7年3月3日をもって工期とする。このうち検査期間として 13日間を見込んでいる。

留意事項

- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・入札に先立ち現地調査を十分に行い、質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて生徒等の通路の制限を行う。ただし、事前 に学校へ説明を行い、承諾を得るものとする。
- ・学校の所有物に養生や移動を行う場合は、事前に学校に連絡すること。
- ・校舎棟3階郷土資料室及び2階図工室内工事の際に大型備品を移動(復旧含む。)する。
- ・解体工事,アンカー工事等の騒音,振動及び粉塵等の発生が予想される工種については,施工 時間及び施工方法等,学校へ最大限配慮した計画のもと行うこと。
- ・施工箇所周囲の備品、機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。
- ・工事中に粉じんの発生が予想される工種については、粉じん抑制等、周辺の環境対策のため散水を確実に行うこと。
- ・工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要に応じて誘導員を常時配置し、危険防止に努めること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード 等を設置すること。
- ・工事に支障となる雨水、湧水、洗浄水等の排水については、適切に排水すること。
- ・石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有 建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、またはこれらの者と同等以上の能力を有すると 認められる者が行うこと。また、含有建材の調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を 行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- ・施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合,土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- ・本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行う こと。
- ・仮設内部足場は建築主体工事に見込んでおり、本工事業者は無償で使用できるものとする。 (維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。)
- ・足場, 交通誘導員, 工事関係者駐車場用地は, 建築主体工事に見込んでいるが, 本工事受注者 も使用できるものとする。
- ・官公庁その他への手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・周辺道路については常時、監視を行い、工事車両等により汚損させた場合は、速やかに清掃及 び補修を行うこと。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視 と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・本工事の外注資材, 労務等の調達については, 極力, 市内に主たる営業所を有する業者に発注 すること。困難な場合は, あらかじめ, 理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・工事完了後,完成図として製本図面(二つ折り・A3縮小判)を3部提出すること。

三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

図面番号 図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称 図面番号	図 面 名 称
A - 01 表紙・目次		【屋内運動場】	
A - 02 建築改修工事特記仕様書(1)	0D - 01	外壁改修工事特記仕様書(1)	
A - 03 建築改修工事特記仕様書(2)		外壁改修工事特記仕様書(2)	
A - 04 建築改修工事特記仕様書(3)		外壁改修工事特記仕様書(3)	
A - 05 建築改修工事特記仕様書(4)	0D - 04	外部仕上表	
A - 06 建築改修工事特記仕様書(5)	OD - 05	内部仕上表	
A - 07 建築改修工事特記仕様書(6)	0D - 06	1 階平面図(改修前・後)	
A - 08 建築改修工事特記仕様書(7)	0D - 07	2階平面図(改修前・後)	
A - 09 建築改修工事特記仕様書(8)	0D - 08	屋根伏図(改修前・後)	
A - 10 工事概要・付近見取図・配置図	OD - 09	立面図(1)(改修前・後)	
A - 11 仮設計画図(参考図)	0D — 10	立面図(2) (改修前・後)	
	0D — 11	立面図(3)(改修前・後)	
【校舎棟】	OD - 12	矩計図(1) (改修前・後)	
KD - 01 外壁改修工事特記仕様書 (1)	OD — 13	矩計図(2)(改修前・後)	
KD - 02 外壁改修工事特記仕様書 (2)	OD — 14	建具表	
KD - 03 外壁改修工事特記仕様書 (3)	OD — 15	部分詳細図(改修前・後)	
KD - 04 仕上表 (1)	OD — 16	外壁劣化調査図(1)	
KD - 05 仕上表 (2)	OD — 17	外壁劣化調査図 (2)	
KD - 06 仕上表 (3)			
KD - 07 1階平面図(改修前・後)			
KD - 08 2階平面図(改修前・後)			
KD - 09 3階平面図(改修前・後)			
KD - 10 R階平面図(改修前・後)			
KD - 11 PHR階平面図 (改修前・後)			
KD - 12 立面図(1)(改修前・後)			
KD - 13 立面図(2)(改修前・後)			
KD - 14 断面図 (改修前・後)			
KD - 15 短計図 (改修前・後)			
KD - 16 階段詳細図 (改修前・後)			
KD - 17 普通教室平面詳細図 (改修前・後)			
KD — 18 普通教室展開図(改修前・後)			
KD — 19 食堂平面詳細図、展開図(改修前)・仮設改修図			
KD - 20 食堂平面詳細図、展開図(改修後)・仮設改修図			
KD — 21 家庭科室平面詳細図(改修前・後)			
KD - 22 図工室・郷土資料室平面詳細図 (改修前・後) KD - 23 家庭科室・図工室・郷土資料室展開図 (改修前・後)			
ND - 23			
KD - 25 2階天井伏図 (改修前・後)			
KD - 26 3階天井伏図 (改修前・後)			
KD - 27 R階天井伏図(改修前・後)			
KD - 28 建具表 (1)			
KD - 29 建具表 (2)			
KD — 30 家具詳細図			
KD — 31 部分詳細図			
KD - 32 仮設計画ステップ図(1)			
KD - 33 仮設計画ステップ図 (2)			
KD - 34 受水槽基礎詳細図			
KD - 35 外壁劣化調査図(1)			
KD - 36 外壁劣化調査図(2)			
KD - 37 外壁劣化調査図 (3)			
	1		



- 工 事 概 要 1. 工事名称: 三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事) 2. 工事場所: 三原市館町二丁目3番1号 3. 敷地面積: 14,733.844 m RC造 延べ面積 2,564.2 建設発生土 ※場外指示の場所に処分 ・場外搬出適切処理 ・場内指示の場所に敷き均し 環境配慮改修工事 配管 ・溶融ペイントハンドマーカー工事作業・加熱ペイントマシンマーカー工事作業 路面表示施工 当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする ・造園工事作業 搬出場所 RC告 延べ而精 2.564.20m -:当該工事により発生する建設発生土は、「建設発生土処分先一覧表」に掲載されている施設のい (14) 化学物質の濃度測定 1) 図示した室のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃 R-MAX上中により元エリの組成死王上は、「超近成王上別力が、予及」に一枚級されている地域が すれかに強い方ものとする。また搬出先として、運搬費と受え費、平日の受入費用)の合計が 最も経済的になる建設発生土リサイクルプラントフは建設発生土労火地 (一時堆積を含む) を見 込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き発土担分に乗する費用は実更しない。な お、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の仕様に拠り難い場合は、監督 屋内運動場 RC造 延べ面積 871.00m 度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する 測定箇所は仕上表により、施工方法は施工条件明示による パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う 5. 工事種目:長寿命化改修工事(防水・外壁改修工事及びその他工事) 6. 別途工事:電気・機械設備工事 職員と協議するものとする 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を 調査協力について 開放し、30分間換気する 8 環境への配慮 [1.4.1] ル学物質を放散させる建築材料等 ②5時間閉鎖 10七十四月を区版はている地域や付き 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、 次の(1)から(4)を満たすものとする (の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル (1) 首級、不良系グローワング、構造用ハネル、果成材、早級商商材、MDF、ハーティグルボード、その他の水質整材、ユリア機能服、壁紙、接着剤、促温材、維育状、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する(2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する(3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジーローブチル及びフタル酸ジー2-エチルペキンル等を含有しない避損発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する (4) かし担保調査…建設工事請負契約約款第41条に定める期間内 イ ②の状態のままで測定する (5) 公共建築物木材利用事例調査票…工事中に実施(調査票の記入提出、発注者の調査実施への協力等) ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし工程等の都合により、24時間測定 が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分~18時30分までの時間帯で測定す 8. 公衆災害防止措置 (1) 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危機、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること (2) 上記について、「建設工事公衆災害防止対策要綱(平成5年1月12日付 建設事務次官通達)」に基づき実施すること 、 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする 9 現状復旧 (1) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアル 工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと デヒド、アセアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用した 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する ものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」 とは次 10. 主要資材等 (1) 主要資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に営業所・本店を有する業者に発注するものとし、予め購入先の名称 ⑤七の他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること2) 木材の防腐・防罐処理剤は、クロルビリホス、ダイアノジン及びフェノブカルブを含有しない 薬剤とし、加圧式防腐・防罐処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する 所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 (2) 当該工事に使用する砂については、海砂(県外産と含む)を使用しないこと (3) この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部(主体的部分を除く)を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアル デトド発散確認材料以外の材料 3) 保温材、断熱材、緩衝材については、ホルムアルデヒドを発散しないか発散が極めて少ない F アにト党の延索材料以外の材料 (連接基準法能行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (連接基準法能行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデレド発放建族材料 (連接基準法能行令第20条の第7第3項の規定により国土交通大臣の設定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づき制定さ ☆☆☆☆等級のものとする Ⅱ. 建築改修工事仕様 1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁常繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書 級国政が行れた「保留」の扱ったいでは、すべいですが、すべいは「出土大田男人に自力者」と指摘が見まれていた。 (建築工事) (最新版) 」(似下、「改修標準仕様書」という。)による。 図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事 標準仕様書 (建築工事編(最新版)」以下、「標準仕様書」という。)による。 れた「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の 無い若しくは極めて少ないものを選択するように努め、(1)の規定を満たすこと 範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする 15 中間技術検査 ※行う(回数及び時期については監督職員の指示による)・行わない 9 材料の品質等 材料・機材等の品質及び性能 (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能 (1)項目は番号に〇印のついたものを適用する 16 工事写直等 下記のものを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の作成は「営繕工事写真作成要領」によ (1) 項目に被可に、いかいかった、おかせを加引する
(2) 特記事項はむりのついたものを適用する
(3) 項目に記載[] の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 を有するものとする (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使 工程写真 用する場合は監督機員の承諾を受ける。 用する場合は監督機員の承諾を受ける。 (3) 標準仕標書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法と 、) 工任や典 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真(カラー・サービス版) を期間別工事工程報告 書に添付するものとする) の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①~⑥の事項を (4) 工事施工上必要な官公署その他への諸手続き及び届出は、全て受注者の負担において遅滞無く行うこと 水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査・確認する事が出来なくなる部分、及 (ギ) 土中地土上の安水自 16年でいた。Violetter C 及び申加は、主、天式は自の対比において起か無、17 プレビ (5) 関係法令の改正等により、保例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。
(6) 材料及び製造所等の記載は順不同である 満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督職員に提出 びその他監督職員が指示する箇所は、A4版写真台帳にまとめて完成検査日までに提出するものと して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りで 【提出部数】: 1部 3)完成写真 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること 【撮影箇所】建物外観各方向、主要箇所、主要室内その他監督職員が指示する箇所 3)安定的な供給が可能であること 「規格・提出部数]※A 4 版クリアファイル 2 部 ・A 4 版写真台帳 部 [完成写真の撮影業者]・監督職員の承諾する撮影業者 (金)法令時が、中部にいめこと (法)法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (金)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (金)販売、保守等の営業体制を整えていること。 項 4) その他の写真 隣接建物等に損傷のおそれがある場合は、施工前・施工後の写真(カラー・キャビネ版)を監督職員 1 適用基準等 ※公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版) (5)製造業者等に関する資料の提出を定める材料 の指示により提出するものとする 《公子完成上手标中以作者(近北上中編) 國上之地首人尼日戊日月 自由中兰斯 (級則版) 《建築工事構等排版图 国土交通省官房官官推動整修 傷數性 《建築工事公衆災害防止対策要綱 《建設副產物適正処理実施要領(広島県土木局制定) 《建築工事安全施工技術指針 《兩生資源利用促進実施要領(広島県土木局制定) ーヘッドドア 鉄骨柱下無収縮モルタル 防水剂 エ事写真のネガ・データは、受注者において工事完成後2年間保管すること 7) 完成時の提出図書 ※提出を要する 完成図書:1部 既成調合モルタル | 竣工図の種類(※全て ・) | 竣工図の作成方法 CAD (CADデータの提出(※要 ・不要)) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 移動間仕切 ※建築物解体工事共通仕様書 平成31年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部 吸水調整材 原図 ※普诵紙 · 不要 アルミニウム製建具 銅製建具 銅製軽量建具 煙突用成形ライニング材 天井点検口 原図・※普連株 ・ 个要 竣工図 ニク折製本 (・ A1版 部 ○A2版 部 ○ A3版 部) 竣工図は原則として原図にて修正を行い、施工図・保全に関する資料で必要なものの提出は監督職員 電気保安技術者 テンレス製建具 なお、18 電子納品で対象工事である場合は、加えて電子成果品を 2部提出すること 錠前類 屋上緑化システム 型式台帳 ③ 工事実績情報の登録 受注者は、受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サ 型式台帳は、監督職員が指定する様式で作成する。建物で使用する部材、機器を記入し提出する ACMINA、ACMINASACHICASA、MARIMANU ACMINASACHICASACH ここ。 (電子納品対象工事とする 電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をし 軽量シャッター 鋳鉄製ふた 5。ここでいう電子データとは、「営繕工事電子納品要領(以下、要領という)」に基づいて作成 4 施工条件 下記以外は現場説明書による。 されたものを指す 成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特 に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に 疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する (10) 特別な材料の工法 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による 1. 3. 5] (1 1) 施工数量調査 調査範囲 ②外壁(庇. 笠木共) ①屋根 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・図示 また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること (※図示 ○監督員と協議の上決定 ●建設発生土仮置場 (※図示 ●監督員と協議の上決定) 外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割 パエのなる。 パエいティー に入めっていません。 れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う 屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置 (1) 本工事は、受免注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報 共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること (19) 工事中情報共有 建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)を参考に、工事の施工 に先立ち工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する 5 工事安全計画書 及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う 2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応し ・引渡しを要するもの(

○特別管理産業廃棄物(

処理方法(

・現場において再利用を図るもの(

○両生資源化を図るもの

・アスファルトコンクリート境

・プスファルトコンクリート境 写直等を添付する) 広島県工事中情報共有システム (http://chotatsu.pref.hiroshima.lg/in/asp/index.html 6 発生材の処理等 広島県工事中開報共有システム (http://ohotatsu.pref. hrroshima.lg.jp/asp/index.html) (3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者 (以下「サービス提供者)というとの契約法、受注者が行い、利用料を支払うものとする (4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行 2 調査のための破壊部分の 補條 (13) 技能士 うためのアンケート等が求められた場合、協力しなければならない 工事種目 技能検定職種 技能検定作業 [1. 6. 2] 仮設工事 (20) 施工図及び施工計画書 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする アスファルト防水工事作業 水改修工事 防水施工 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 東一次刊定 現場にてサンブルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示 ② 1) 設備工事との取合い 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける アクリルゴム系修牒防水工事作業 (2 2) 撤去部分 コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする 第二次判定 セメント系防水工事作業 ② 3 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 ーリング防水工事作業
 基準風速
 Vo =
 3 2 m/s

 地表面粗度区分
 · I · II ○III · IV

 積雪区分
 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表(34
 分析個数 計 箇所 ③除去処理工事 改賀アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 除去範囲 ※図示 **卜壁改修工事** 樹脂接着剤注入施工)せっこうボードの処理 (24) 騒音・振動の防止 「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する ○石綿含有せっこうボード 改修特記仕様書第8章環境配慮改修工による マイル張り タイル張り作業 ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ 製造業者に回収委託 ○埋立処分(管理型最終処分場) 建具改修工事 ○同一場所で別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する (25) 施工中の安全確保 ガラス工事作業 自動ドア施工作業 建築フィルム作業 ○労働安全衛生法第15条に基づく統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約後直ちに「統括安 ○百締含者、ひ素・カドミウム含有以外のせっこうボード ○再生資源化(再資源化施設) ・最終処分(管理型最終処分場) (1) 本工事で衆生した理放廃棄物は、広島県(環境県民局)及び保健所設置政令市等(広島市、県市・組油市)が廃棄物処理法に基づき等可した適正な施設(背可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設)で処理すること -全衛生責任者選任届出書」(任意様式)を提出すること 建築塗装作業 タイル張り作業 大工工事作業 塗装改修工事 内装改修工事 工事期間は建築設備を含んだ期間とし、工事全体を把握して作成し、監督職員の承諾を受ける 2 6) 実施工程表 纲製下地工事作業 内外装板金作業 (27) 工程報告 別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月2回1部提出すること ただし、建設廃棄物が破砕等(選別を含む)により有用物となった場合、その用途に応し で適切に処理すること(原則 風内処分) 内装什上拖工 プラスチック系庁什トげて事作業 28 保証書 (2) 本工事における再資源化に要する費用 (運搬費を含む処分費)は、前記(1)に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入礼費(平日の受入礼費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、再資源 次の工事について保証書を提出すること コーペット系床仕上げ工事作業 一ド仕上げ工事作業 工事区分 材料名
・防水改修工事 ・アスファルト防水 保証年数 備考 壁装作業 比に要する費用(単価)は変更しない 耐震改修工事 (3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物につ 鉄筋施工 鉄筋組立作業 では、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処理すること。なお、広島県産業 廃棄物埋立税は見込んでいる 型枠施工コンクリート圧送施工 型枠工事作業 · 外壁改修工事 ①下地補修 10年 ・塗装 構造物鉄工作業 ※技能士においては、積極的な活用を図ること 部長 主任 縮尺 杏図 課長



有限会社 元廣建築設計事務所 —級建築十事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号 元廣匡伸

三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築改修工事特記仕様書(1)

A2版:100%

R04年

A - 02

(品質・性能) 脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ 1 騒音・粉じん等の 金属複合板 窯業系パネル ・窯業系パネル 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ルーフィングシートの種類及び厚さ 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ○ 防音シート ※ 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による 固定金具の材質及び寸法形状 対策 分類・規格 I 類 (寒冷地仕様) 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張り (一般地仕様) 寸法 (mm) 2 足場等 [2.2.1] [表2.2.1] 寸法の許容差 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの 曲け張さ・曲げモーメ 標準時 550以上 450以上 300以上 ント(N・cm) 凍結融解発 400以上(300) 320以上(200)) 250以上(スパン40 cmにおけ る単位傾しの本本!! (こつ 出荷時において10%以下 工法 種別

P 1 E · E - 1 脱気装置の種類及び設置数量 出荷時の含水率 施工場所 別紙 1 手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又 ・ 設ける 接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 接着工法の場合の股債装置の設置数量 ※ ルーフィング・ツルを用いせば、 個プレキャストコンクリート部材下地の目地処理(接着工法の場合) は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ⊙ 設置する (範囲 ※ 工事に必要な範囲・ - 1の場合で工程3を行う部位(※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 防護シート ⊙ 設置する (範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない る単位幅1cmあたり (試験サイ 押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・ 行う (・ 図示 ・・) ・ 行わない プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) | 内部足場 〇 設置する (※ 脚立、足場板等 ・) ・ 設置しない | 材料、搬去材等の運搬方法 ・ A種 ② B種 ・ C種 ② D種 ② E種 の曲げモーメント) クル数) ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 吸水率 (%) 屋上排水溝 · 図示 C種:利用可能なエレベーター (D種:利用可能な階段 (階段 2 吸水による長さ変化率(% 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 改質アスファルト 防水層の種別 不燃 耐凍結融解性能 曲げ強さ、曲げモーメントの凍結融解完了時の試験サイクル 後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと 種別 施工箇所 ② 塗膜防水 [3.6.2,3] (3) 既存部分の養生 射率の防 種別 施工箇所 仕上塗料 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による・ 質量500g (窯業系パネル I 類は 1,000g) のなす形おもりを高さ 耐衝整件能 質量500gのなす形おも , kの適用 種類 使用量 射率防水 ○ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等 / りを高さ1.0mから試験 の適用 • MA4S • AS-T1 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等(取外し再取付を行う) 1.0mから試験体の弱点部に落と 体の弱点部に落とした 必制法証の 2成分形アク したとき、裏面に達する穴があか とき、裏面に達する穴 ※製造所 ○設ける ・設けない X - 2 リルウレタン 指定による 保管場所 ※ 構内既存施設内 があかないこと。残留 · AS-J2 の指定 ・ 固定された家具等(備品、机、ロッカー等)の移動 ※ 行う(図示) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場 樹脂系 改修用ドレン 変形量1/100以下かつか ⊙設ける ・設けない ふっ素樹脂系 圧時の最大変形量1/100 脱気装置 合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 · AS-T4 ※製造所 ・設ける コン樹脂系 · POAS の指定 80,000N·cm2以上 剛性 (E×I) 設けない ・設ける ○設けない ※X-2 立上り パラペッ 指定による 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 4 仮設間仕切り (スパン40 c m幅30 c mの中央曲げ [2.3.2] · AS-J3 による 改修用ドレ 仮設間仕切りの種別と材質等 ○ A種 ⊗ B種 ・ C種 ・ 図示 時に荷重720Nの時、たわみ4mm P1Y | XY-2 保護層 以下となる剛性) ・設けない A、B種の仕上げ材 IS A 9521(建築用断熱 ※ せっこうボード (GB-R 厚さ9.5mm) ・ 合板 (普通合板 厚さ9mm) A、 B種の片面への塗装等 ❷ 行わない ② 行う (食堂両面) 1) 寸法の測定方法 · ASI-J1 材)に基づく発泡プラス ※製造所 ・設ける ・設ける ・設けない (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4 点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 ・設けなし チック断熱材 1 (絶縁工法)の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 A種のグラスウールの充填 改修用ドレン による ※行う (JIS A 6301グラスウール吸音材32K厚50mm) 端の十つ連にネめじ、バッルのほと、タッ。 (陽) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央 1 響所の幅寸法を、JIS B 7512「頻製巻尺」 に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 ※硬質ウレタンフォー ・設ける Y-1、Y-2の工程数及び各工程の使用量
※ 改修標準仕様書表3.6.2による・・主材料の製造所の仕様 行わない 断熱材 2種 1号又は 2 ・設けない 仮設扉の種別 ※木製(合板張り程度) 目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 防湿層 8 シーリング ーリング改修工法の種類 [3.7.2, 3, 3.7.7] シーリング充填工法 5 監督職員事務所等 (厚さ) 設けなし ○ シーリング再充填工法 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による ・ 拡幅シーリング再充填工法 ブリッジエ法 ボンドブレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない 6 工事用水 構内既存の施設 ・ 利用できる(※有信 ・無信) ※利用できない (窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1~3 7 工事用電力 Tッジング材碼り ・ 適用する ・ 適用しない 構内既存の施設 ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない 分間で予想最大荷重に達する程度とする。/ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3によ リング材の種類、施工箇所 3) 吸水率試験は、JIS A 1321「建築性化サメント板」に準じて行う。 4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物が内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による 施工箇所 8 仮囲い等の安全施設 シーリング材の種類 (記号) 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験は(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3°cに保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.による 9 工事現場の表示 薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剂」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が 脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・一リング材表面に仕上塗材、塗装等 ※行う ・行わない 10 交通誘導員 総配置する ・配置しない②大型車両進入時 (1)人/日 ・常時配置 ()人/日・()作業期間 ()人/日 シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)~(2)による接着試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 140mmになるように標線を刻む。 その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて 標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立て 押え金物の材質、形状及び寸法 し、その上端が水平下約30mm/となるように保持して、常温の水中に浸せきする。 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 といの材種 ・配管用鋼管 ⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管 9 50 24時間経過した後、試験片を
4中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び繰線間の長さ(L2)を測る。 合成高分子系ル-[3.5.2~4] [表3.5.1~3] ルーフドレン 線間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率(Δ上)は、次式によって求める。 (ΔL)= (L2 - L1) / L1×100 ΔL:吸水による長さ変化率(%) L1:乾燥時の標準間の長さ(mm) L2:吸水時の標線間の長さ(mm) 6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「需業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって 行う。100、200、300名サイクル完了時の曲げ強度測定及び外報の状態を観察する。(需業系パ フィングシート防水 防水層の種別 ろく屋根用(・縦型 工法 種別 施工箇所/ 仕上塗料 射率防水 3 1 降雨等に対する ※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(f)による。 [3.1.3] バルコニー中継用 種類 使用量 の適用 備考 脱気装置 養生方法 レーフドレンの材質 ※ 本体等の鋳鉄品の種類は、JIS G 5501 (ねずみ鋳鉄品) によるFC150又はFC200とし、 ネルⅡ類は200サイクルまでとする。) -20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行うが3時間を1サイクルとする。 ※製造商 ・設ける ・設けなし 既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・ ・ 行わない ② 既存防水の処理) [3.2.3,4,6] 張掛け幅は100mm以上とする。 の指定 7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建策用ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に 準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。 試験体の大きづは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもり による か修用ドレ 既存防水層の撤去 ① 行う(校舎)(範囲 ※ 図示 ・ とい受け金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ⊙ 行わない (屋体) ※ 改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの • S-M1 ・設けな! 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 とし、記号(W 1 - 1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水 ※製造所 多雪地域 ・ 適用する ○ 適用しない · M4ASI · M4C · M4DI · L4X) 水平に置き、 おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、 の指定 防露材のホルムアルデヒド放散量 行わない 裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定 による ※ 規制対象外 鋼管製といの防露巻き ・ 適用する (工法: ※ 標準仕様書表13.5.4による ・ 適用しない (3) 既存下地の処置 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ⊗ 図示 POS工法及びPOSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 % 改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)① \sim ③による 屋根露出防水 防水層の種類 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ⊗ 図示 高日射反 ※製造所 ・設ける 鋼管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書表3.8.4による 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口 施工箇所 仕上塗料 射率の防 備考 の指定 部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 たてどい受金物の取付け ⊗ 図示 水の適用 ※ 図示。だたし、図示が無いものは監督職員と協議する 種類 使用量 アルミニウム製笠木 [3.9.2,3] 脱気装置 アスファルト防水 屋根保護防水 [3.3.2~5] 板材折曲げ形 (・オープン形式 ・ シール形式)
 本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm ・ mm) ※製造所 ※製造所 工法 種別 施工箇所 断熱材 ・P 2 A ・A − 1 防水層の種別 の指定 の指定 ・設けない 立上り部の保護 表面処理 種別(による による 色合等・標準色((ポリエチレン ・乾式保護材 脱気装置 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・ コンクリー ₩D-2 ※製造所 ・設ける · A - 3 D-3 D-4 の指定 による ・設けなし 脱氨装置 行わない 0.15mm以上 ・れんが押え ※JIS R 1250 ・・・・ 下地補修の工法 ※ 図示 ※製造所 ※改修標準仕様書3.5.2 改修用ドレ: ・設ける P 1 B ₩B-2 ・設ける ・設けなし の指定 いいけなし 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示・ による 改修用ドレ JIS A 9521(建築用断熱 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 脱気装置 (厚さ) ・設ける **※** A I − 2 JISA9521に基づく押出法 ヤーンクロス M3DI | WDI-2 材)に基づく発泡プラス 設ける %25mm ⋅ 50mm ・設けない 70g/m2程度 防水改修フロー及び数量 チック断熱材 の指定 設けなし • SI-M1 (材質) P1BI ·BI-熱材3種 b A (スキン層 改修用ドレ ※改修標準仕様書3.5.2 ※製造所 既存保護層の補修及び処置 ※硬質ウレタンフォー ・設ける (C)(3)(i)による の指定 防水面調査(施工数量調査) B I - 3 (厚さ) ム断熱材2種1号又 設けなし による *25mm ⋅50mm (厚さ) | 欠損部改修 | 浮き部補修 | ぜい弱部補修 | 既存目地欠損部補修 | 既存目地欠損部補修 は2号

 ※25mm ・50mm

 F 2 、S I - M 1 及びS I - M 2 における防湿用フィルタ

 場合) ※ 設けない ・ 設ける ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による SI-M2の絶縁用シートの材種 Uカットのうえ ポリマーセ | ポリマーセメ | 撤去のうえ、 | ケレン等のう | アスファルト | ポリマーセ | 既存目地撤去 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ※ 発泡ポリエチレンシー I 防水工事用シ ポリウレタン系 メントモル | ボリマーセメ | え、ボリマー | 防水工専用シ | メントモル | のうえボリウ | レタン系シー | タル補修 S-M2及びSI-M2の立上り部の工法 ーリング材 タル補修 -ル材 (幅2 平場の保護コンクリートの厚さこで仕上げ こで仕上げ ※ 水下 80mm以上 ※ 接着工法 (立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm) · 機械的固定工法 mm未満) (幅2mm以上) 卜補修 リング材 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 防水層の種別 窯業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生し 平場のモルタル塗り 立上り部の保護モ 種別 施工箇所 シーリング改修 たもの。 金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの。 ルタルの塗厚 S - C 1 床塗り ※ 7mm以下 下地モルタル塗り mm× 部長 主任 工事名 縮尺 查図 日付 図番 一級建築士登録 第 223245 号 A2版·100%

有限会社 元廣建築設計事務所 ―級建築十事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号

元庸匡伸

三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築改修工事特記仕様書(2)

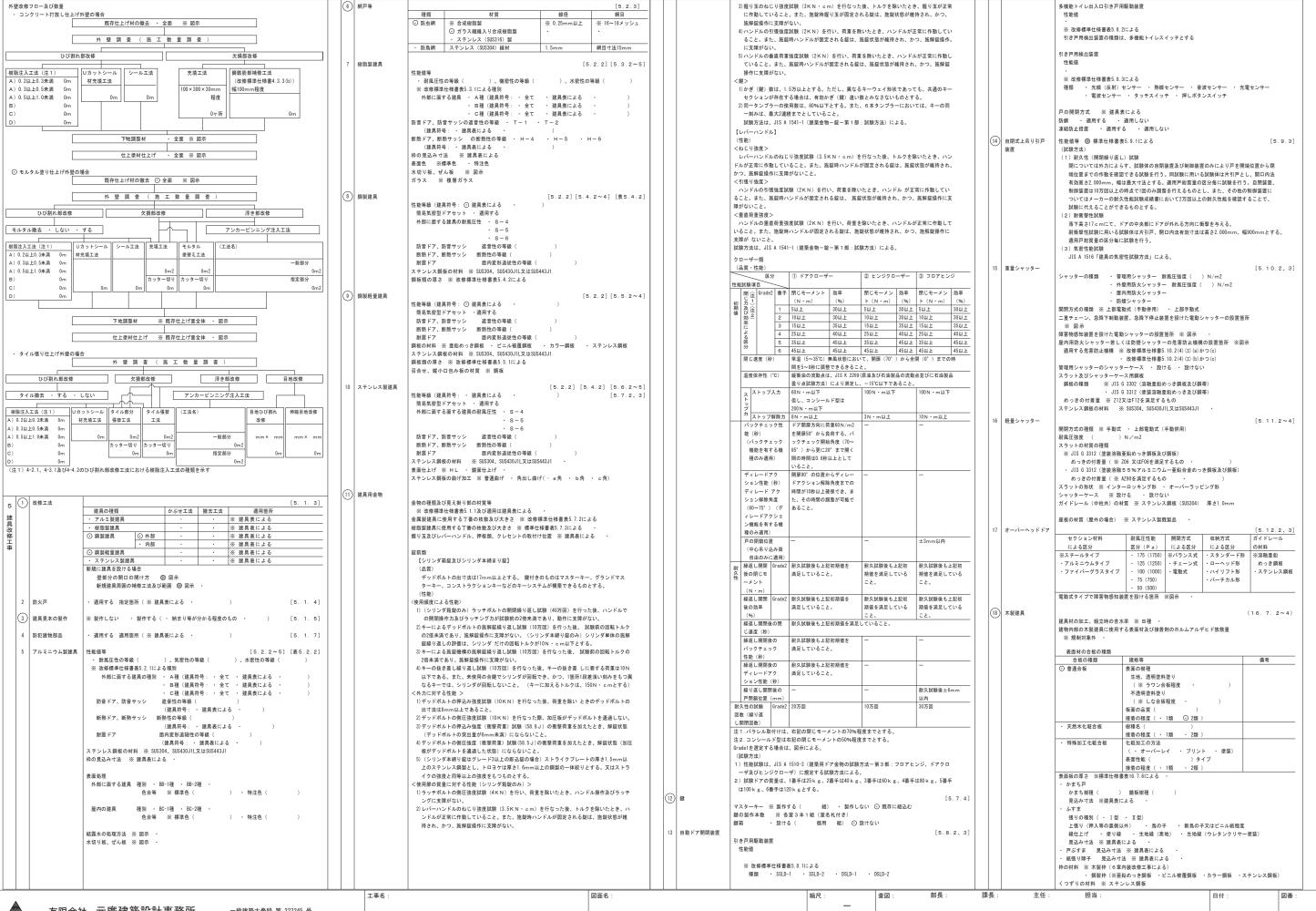
A3版: 70%

R04年

A - 03

		1 12	<u></u>			_		1 10	.1	
4 (1) ポリマーセメント モルタル	(品質・性能) [4.2.2] 項目 品質・性能	- 4	1 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)	4 1	タイル張替え工法用 材料	タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 [4.2.2] ・ポリマーセメントモルタル	/ 4 C) 既存塗膜等の除去、 下地処理及び下地	工法 処理範囲 下地面の補修
94	だれ 下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。	-		※自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40・ 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40・	外		JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系	5	調整	 ○ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 はコンクリート打放
壁	曲げ強さ (N/mm2) 6.0以上	- 壁		0.5以上1.0未満 ※70 ・	壁改		タイルの形状、寸法等	壁		吐出圧力 ・ 30M P a ~50M P a し仕上げ外壁)、
修工	圧縮強さ (N/mm2) 20.0以上 接着強さ (N/mm2) 標準条件 1.0以上	- 修		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70	修工		施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑 箇所 (mm) の適用 I類 II類 II類 II類 II類 II類 II類 II類 II類 II類	修工		・ 50M P a ~ 100M P a ・ 100M P a 以上 (モルタル釜仕上げ
⊕	特殊条件 湿潤時 0.8以上	- 事		・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130	事			事		・塗膜はく離剤工法 ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 外壁)による
通	低音時 0.5以上 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。	- 2		エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜取りを行う				塗仕		・ 水洗い工法 ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 石綿含有仕上げ塗材の除去は、9 章環境配慮改修工事による
項	その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造	֡֟֝֟֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓		コア抜取りの場合の個数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個	張山		耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法一第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する	上げっ) 下地調整材	※ 下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル [4.6.3]
	2) 両カデエマルションは、米温・米温にあいて製造 後6か月保存しても、変質しないこと。	. ¦.		コア抜取りの場合の抜取り部の補修方法 ※ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ① Uカットシール材充填工法	住		明	壁		
		放し		⊙シーリング材充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・	げ外		役物の使用箇所 / 内 装 出隅 天端 /	(3)	仕上塗材仕上げ	[4.1.4] [4.2.2] [4.6.5] [表4.2.4] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
2 ポリマーセメント	(品質・性能) [4.2.2]	_ 生		シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない	壁		外 装 出隅、窓台、マグサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする)			※ 規制対象外・
スラリー	広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 (マー/s) (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ)	げ 外		※ 可とう性エポキシ樹脂・ シール工法						仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材
	(%) (N/mm2) (N/mm2) (%) (N/mm2)	- 壁		※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	2	ひび割れ部改修工法				呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料
	3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55	-	2) 欠損部改修工法	 ※ 充填工法			※ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 / コンクリート打放し			※ 外装薄塗材E ・ 適用する ・ 適用する ・
	粘調係数 0.50~1.00			・ エポキシ樹脂モルタル ① ポリマーセメントモルタル			仕上げ外壁) による			
3) 吸水調整材	改修標準仕様書表4.2.2による [4.2.2]				1		モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による			・厚付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料
4 既製調合モルタル	[4. 2. 2]	4 (ひび割れ部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4][4.2.2][4.4.5~7] ※ 樹脂注入工法			タイル拠去後のタイル欠損部の補修は、3欠損部改修工法による ・タイルを撤去しないで改修			・適用する ・適用する ・適用する ・適用する
4 成表調音モルタル	[4. 2. 2] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等	3		工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m)			・ダイルを撤去しないと収渉			· 適用する · 適用する ·
	を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。	外壁		※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 ・			※ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入 上間隔 (mm) 注入量 (mL/m)			○ 複層仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐候性 防火材料
	(品質・性能)	改修		注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 · 0.5以上1.0未満 ※70 ·			** 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 **** **** **** **** **** **** ***** ****			呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐候性 防火材料 ※ 複層塗材 E 溶媒 ※ 水系 ※ 耐候形 ・
	項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.2%以下	- 事		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70			注入工法 0.3以上0.5未満 0.5以上1.0未満 2g0~300 ※40 · ※70 ·			⑤ 防水形複層 凹凸状 ローラー 3種 塗材 E 樹脂 ※ アクリル系 ・
	単位容積質量 1.80 kg/L以上 曲げ強さ 0.4N/mm2以上	- E		 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 			 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 			
	接着強さ 標準時 0.6N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.4N/mm2以上	- ター		エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜取りを行う			- 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 - 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130			外観 ※ つやあり
	(試験方法)	- 塗		コア抜取りの場合の個数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個			エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形			
	(1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げる	上げ		コア抜取りの場合の抜取り部の補修方法 ※ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ○ Uカットシール材充填工法			注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜取りを行う コア抜取りの場合の個数 ※ 長さ500mごと及び★の端数につき1個			
	のに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。	外壁		・シーリング材			コア抜取りの場合の抜取り部の補修方法 ※ ポリターセメントモルタル ・ 図示			
	練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料	~		充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない			・ Uカットシール材充填工法			軽量骨材仕上塗料 呼び名 防火材料
	とする。			※可とう性エポキシ樹脂			・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・			:
	(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、			・シール工法※ パテ状エポキシ樹脂・ 可とう性エポキシ樹脂			元項材料の性類 ※ T 成 カルスは Z 成 カルハリソレテン ※ ・ シーリング材の上にポリマーセメント マルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない			
	横(50mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直 径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ			・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ			※ 可とう性エポキシ樹脂		マスチック塗材塗り	[4.1.5] [4.7.2][表4.7.1]
	全口でm)を必定、その中央部に異ちゅう裏りフケ至わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ 3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰込む。			・ サルタル版会後のコンケリート部方の収容は、4-2 外至収容工事(コンケリートflがし江上げ 外壁)による	3	2 欠損部改修工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.5.7,8]	4	マステック坐例坐り	種別 · A種 · B種
	その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部に なるようにして静置する。 60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた			モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2欠損部改修工法による			・タイル部分張替え工法(欠損部の面積が0.25m2/箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合)		外壁用塗膜防水材	[4.1.5] [4.2.2] [4.8.2] [表4.2.6]
	方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1 mmの単位まで測定する。	:	2 欠損部改修工法	[4.1.4] [4.2.2][4.4.8、9]			接着剤の種類 ポリマーセメントをルタル ・ 外装タイル接着剤張りの接着剤 ・ タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合)		塗り	位上げの形状
	試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50:リング型わくの内径 mm			※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25m2/箇所程度以下の場合) 充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル			貼付けモルタルの材料 ※ 現場個合材料 ・ 既調合材料 中縮調整目地及びひび割れ誘発力地の位置 ※ 改修標準仕様書表4.5.1による			工法 外壁用仕上塗材の耐候性 ※JIS A 6909の耐候形1種の品質基準に適合するもの
	(3) 単位容積質量の試験方法			・モルタル塗替え工法			外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない			下地挙動緩衝材 ・ 適用する ・ 適用しない
	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4)接着強さ(標準時)の試験方法			モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状)			・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル)張り タイル張りの工法 ・ 外装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り)			模様材の種類 ・ (所要量 ※ 改修標準仕様書表4.2.6による ・ kg/m2) 外壁用仕上塗料の種類
	イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合			仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示			ユニットタイル(・マスク張り ・モザイクタイル張り)			(所要量 ※ 改修標準仕様書表4.2.6による kg/m2)
	(試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに		3) 浮き部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修			 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 			
	(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミック		77.000	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法			※ 目荒し工法			
	タイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2°C、湿度			・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法			シーリング材の種類 /打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 / 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 ・			
	80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。			※ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法						
	(試験方法) JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体を ダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、			 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 	4	1 浮き部改修工法	[4.1.4] [4.2.2] [4.5.9~15] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法			
	シ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキ試験を			アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの			・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法			
	行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること)			注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm			・ アンカーピン二/ング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法			
	ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合						・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法			
	(試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ち			モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料			・注入ロ付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入ロ付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法			
	に (1) で 調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミ			・ 充填工法・ エポキシ樹脂モルタル・ ポリマーセメントモルタル			注入中付アンカーピン本数・・			
	ックタイル」 に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「小ロタイル 108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、			・モルタル塗替え工法 既製目地材 使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示			アンカーゼンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの			
	湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。		4 从原物众北枚梯工汁	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の			注入口がアンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度			
	(試験方法)「モザイクダイル」の場合と同様に行う。 (5)接着強さ(温冷繰返し後)の試験方法		4 外壁模百収修構工法	平成 / 平度建設省音示第 1860 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元			・タイル部分張替え工法			
	(試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。						接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤張りの接着剤 ・ /タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合)			
	(温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS						・/ダイル接合え工法(ト地モルダルを振去する場合) 貼付けモルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料			
	A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに−20±2℃の恒温器						伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※ 改修標準仕様書表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない			
	中で3時間冷却し、次いで50±3°Cの別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイク						・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り			
	ルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視 によって調べる。					/	タイル張りの工法 ・ 外装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り) ・ ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)			
	(温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイ					/	有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り			
	ル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準 時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)						下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目荒し工法			
	(6) 長さ変化率の試験方法						シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系			
	JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。						伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系・			
	(7) 曲げ強さの試験方法				5	5 目地改修工法	[4. 1. 4] [4. 5. 16]			
	JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態:試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。					/	・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※ 図示			
	- John Star Star Star Star Star Star Star Star									
					6	5 外壁複合改修構工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の 技術評価を取得した工法とする			
						1/				
						/				
						/				
					/	′ [
					/					
					/					
			工事名:	図面名:	<u> </u>		縮尺: 査図: 部長:	課長:	主任:	担当: 日付: 図番:
			·	四四日.			棚人: 直因: 叩及:	write.	_ i.i	——·

A2版:100% A3版: 70%



有限会社 元廣建築設計事務所 -級建築士事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号 -級建築士登録 第 223245 号 元 廣 匡 伸

三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

建築改修工事特記仕様書(4)

R04年

A - 05

	(16.9.7、14.2~4)(表16.14.1) 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性によ る種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスの種類 組合せ 茂球板撃はく離特性並びにショット	6 内装改修工工	既存間仕切壁の搬去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6.1.3] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井内の既存壁の搬去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600m相程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 既存天井の搬去に作う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示	7 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放射量 ※ 規制対象外 [6.5.2] 「単板制度材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ 表面の化粧加工 防虫処理 間性対等 の適用 ・有り(加工・天然木化粧加工・塗装加工)・適用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	〔10〕 軽量鉄骨天井下地	野緑等の種類 [6.6.2~4.] 屋外 (※ 25形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形) ・ 屋外の野天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野緑安、吊リボルト及びインサートの間隔 ・ 図示		
	バック衝撃特性による種類 ・ フロート板、フロート板合わせガラス ・ I 類 ・ エー1類 ・ エー2 類 ・ Ⅲ類	(2) 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の搬去 ※ 仕上村のみ (接着剤とも) [6.2.2] ・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ○ 搬去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目覚し工法		「単板観磨材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等 の適用		周辺前の端からの間隔 ・ 図示 野線の間隔 ・ 図示 既存の理込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験		
	強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下起以外は建具表による 材料板ガラスによる種類による名称	3 既存壁の撤去及び	既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ 根脂モルタルは、4葉外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修節の端部より1m程度 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の構修 [6.3.2]		・ 有り (加工:・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・適用しない ・ 値交集成板 (CLT)		・ 行う (試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・) (確認強度 ※改修確準仕株書6.6.4(1)(ウ)による・) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合		
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	下地補修 4 木下地等の表面	※ 改修標準仕帳書4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示)[6.5.1]		施工箇所 品名 曲げ強度 種別 接着性能 (機種 寸法 間伐材等 (強度等級) (使用環境) の適用		補強方法 ※ 図示 - 天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※ 改修標準仕楼書6.6.4(8)による ・ 図示		
	※ 下記以外は建具表による 対料板ガラスによる種類 性能による種類 色 調 ・ 影線吸収フロート板ガラス ・ 1種 ・ 2 種 ・ グリーン ・ 影線吸収刷入り磨き板ガラス	仕上げ	表面仕上げの径別 適用箇所 機械加工 ・ A種 ・ B種 - C種 手加工 ・ H - A種	8 床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [6.5.2] ・普通合版		・ 天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強		
	機関ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに模層がラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による 断熱性による区分 ・ T 1 ・ T 2 ・ T 3 ・ T 4 ・ T 5 ・ T 6 ・ 空気 ・ アルゴン	5) 製材	・ H ー B 種 ・ H ー C 種 ・ 「製材の日本農林規格」による下地用針業樹製材 [6.5.2]		施工箇所 厚さ 単板の 接着の 板面の品質 防虫処理 開伐材等 の適用 ※5.5 ※1類 に実樹 ・適用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 図示 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年 国土安選省告示第771号)第3第2項第二号に適合させる。 図示		
	日射取得性、日射道截性による区分 乾燥気体の種類 ・ G ・ S ・ 空気 ・ アルゴン 熟練反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類		施工箇所 樹 種 寸法 等級 形状 含水率 保存 間伐材等 処理 の適用 ※2級 ※A種・B種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		針葉樹 ※C-D以上 ② 構造用合板 施工箇所 等級 単板の 接着の 板面の 厚さ 防虫処理 強度等級 間伐材等	11) 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3] [表6.7.1 ※ 改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4.(5)による		
	※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 日射熱道酸性による区分 耐久性による区分 ・ 1種 A類 ・ 2種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 B類		○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 (額線) 施工箇所		板種名 程度 品質 (mm) の適用 の適用 の適用 の適用 で	(12) ビニル床シート	[6.8.2、3] 種類の記号		
	反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス雷め材 ガラス溝の大きさ (mm)		見え掛り面 杉 図示 ※上小節 図示 ※A種・B種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚き 単板の模種名 接着の程度 防虫処理 開伐材等 の適用 ※1 類 ・特類 ・適用する ・適用しない		○ 病物 ・助清性		
	アルミニウム製 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による ・ ガスケット ・ ヴレイジングチャンネル形 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・「製材の日本農林規格」による広業樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 等級 形状 含水率 保存 間伐材等 処理 の適用		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td>13 ビニル床タイル</td><td>・ [6.8.2 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ KT ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ※ 2.0</td></td>	<td>13 ビニル床タイル</td> <td>・ [6.8.2 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ KT ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ※ 2.0</td>	13 ビニル床タイル	・ [6.8.2 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ KT ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ※ 2.0	
	ステンレス製 ※ シーリング材 ※ 建具の製造所の仕様による 。		※1等 ※10%以下・A種 ・ B種・ ※1等 ※10%以下・A種 ・ B種・		・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 開伐材等 の適用			- TT - FT - ・柄物 - 450×450 - 5700×500 - 5700×500 - 3.0 - 3.0 - 45株機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満	
ラスブロック積み - -	接面 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 仲給調整目地 成産(mm) 小正方形 125×125 80 ・ ・ ※8~15 外側 ※6mm以下 ※無し ・ 15~25 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 (mm) (mm) ・適用する ※A種 ・適用しない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		※1類 ・2類	(14) 接着剂	又は体積電気抵抗値 (JIS & 1454) 1×10 ~1 ×10 Q程度 [6.5.3、4] [6.8.2][6.9.3][6.11.4、6 接着剤は可塑剤 (発揮発性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別		
	- 125 - 内側 - 320×320 95 - ・ - 250×125 80 - ・ ・ - 320×160 95 - ・ ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・	6 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 [6.5.2] ・ 「無成材の日本農林規格」による遺作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 見付け材面数 見付け材面の品質 の適用 ・ (mm) ※1等 2等		・構造用パネル 施工箇所 ・1級 ・2級 ・3級 ・4級	(15) ビニル幅木	・図示 [6.8.2 材質の種類 ※ 軟質 ・硬質 高さ (mm) ※ 60 ・75 〇 100 厚き (mm) ※ 1.5以上 ・		
	カ骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋		- 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 化粧薄板の 見付け 見付け材面 間伐材等 (mm) 厚さ (mm) 材面数 の品質 の適用 ※1等		・ミディアムデンシティーファイパーボード (MDF) 施工箇所 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さに (mm) による区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 の適用	16 ゴム床タイル	[6.8.2] 種類 ・単層品 ・複層品 色柄 () () () () () () () () () (
	化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カパー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示 工法 建築基準法に基づき定する風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法		・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 施工箇所 樹種 寸法 化粧薄板の 見付け材面 間伐材等 (mm) 厚き (mm) の品質 の適用	9 防腐・防蟻処理	・ 防腐、防螺処理を省略できる樹種による製材 [6.5.5] 適用部位: ()	17 カーペット敷き	寸法 (mm) () [6.9.3、4][表6.9.1 ・織じゅうたん 織り方 パイルの形状 帯電性 債务		
ラス用フィルム	目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示		化粧薄板 :		・薬剤の加圧注入による防腐防婦処理 適用部材 保存処理性能区分 ・ K 2 ・ K 3 ・ K 4 ・ K 2 ・ K 3 ・ K 4 ・ K 2 ・ K 3 ・ K 4		・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンターカーペット ・ カット、ルーブ併用 パイル糸の種類等 ※ 模様の無い無地のもの(改修標準仕帳書表6.9.1による種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種)		
	種類 記号 その他性能等 内張り用 外張り用 ・ SC-1 ・ SC-2 目射道へい性能による区分・A・B・C・D・E ・ M変流率による区分・A・B・C・D・E		(mm) の適用 ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 地工箇所 被種 水道 大道 大道 大道 大道 大道 の適用 間伐材等 の適用		- 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 適用部材 処理の方法 ※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②?~?による		<th ama<="" amage:="" blue;="" blue;"="" colspan="2" style="background-color: blue;" td=""></th>		
	・ 衝撃破壊対応ガラス 飛筋防止フィルム ・ G I - 1 ・ G I - 2 ・ 相勝変位破壊対応ガラス 飛筋防止フィルム ・ G D - 1 ・ G D - 2 ・ ガラス貫通防止フィルム S F ガラスの貫通防止性能による区分		化粧薄板 : ※15%以下 ※15%以下 ぶ付 :		・ 薬剤の接着材への混入による防腐、防蝎処理 適用部位()		・カット、ループ併用 ・ ・ニードルパンチカーベット 厚き (mm) () 帯電性 ・適用する ・適用しない 歯者 ()		
	A ・B A 5759による		(mm) 厚さ (mm) 面の品質 の適用 (拡煙板:				・タイルカーベット イイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備 考 ※ ループバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5		
							・カットパイル ・第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・カット、ループ併用 ・第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・カット、ループ併用 ・第二種 ※ 500×500 ※ 6.5		
							タイルカーベットの敷き方 平 場 ※ 市松敷き ・ 模様流し 階段節分 ※ 模様流し ・ 市松敷き 下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示		
有限会社	t 元廣建築設計事務所 -級建築±登録 第 223245 号 築士事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号 元 廣 匡 伸	工事名:	図面名: 小学校長寿命化改修工事(建築主体工事) 建築改修	江事特記仕様書		課長:主任:	・カット、ループ供用 ・第三種 ※ 500×500 ※ 6.5 タイルカーペットの敷き方 平 場 ※ 市松敷き ・ 模様流し ・ 市松敷き ・ 下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・		

Part	18 合成樹脂塗床	[6. 10. 2, 3]				(4)接着強さ(標準時)の試験方法	③ 錆止め塗料塗	り 鋳止め塗料塗りの種別 [7.3.2、3]
	10 日本田田主体	種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材		- プラスチックオーバーレイ DO - 塗装 DC - 10 (雑盤) - 12 (雑盤) ハードボード (素地) G HB	-	イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに (1) で調製した設料を厚さ断mになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミック タイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2°C、湿度 80%以上の状態で湿空薬生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6809「建築用仕上塗村」の7.10付着強さ試験に単じて行う。試験体を	WINDERFE	塗装面 塗料の種別 工程の種別 飲調面 EP-G以外 塗替え A種 ※ 6種・ 新規見え掛り A種 ※ A種・ ※ 6種・ 無力のき調面 EP-G 塗替え ※ B種・A種 ※ C種・ 新規見え掛り ※ B種・A種 ※ A種・ ※ 6種・ 亜鉛のつき調面 EP-G以外 塗替え ※ A種・ ※ C種・
### Company of the Co	19 防じん用塗床	工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m2以上とする 仕上げの種類(※平滑仕上げ・防滑仕上げ)(※標準色・)		・9 ・12 ・15 ・18 ・ せっこうボード等の下地は図示による。 軽量鉄骨下地ボード選音壁に用いる遮音シール材 ※ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量	_	シ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキ試験を 行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること) ロ)適用タイルが「/nロタイル・二丁掛けタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板	4 仕上げ塗料塗	EP-G 塗替え C種 ※C種・ 新規類制建具等 C種 ※A種・ [7.4.2~7.14.2] 塗装の種類 工程
MAIN CHARLES 19 18 19 19 19 19 19 19	②) フローリング張り G	単層フローリング 正法 (原さ (mm) の適用 ・フローリング ボード1等 ・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら・・・・ 12・・・ 20 (mm) ※ なら・・・ 8・・ 20 (mm) ※ なら・・・ 8・・ 20 (mm) ※ なら・・・ 8・・ 20 (mm) ※ 20 (mm) ・フローリング ブロック 1等 フローリングボードの大きさ ※ 20 (mm) ※ 20 (mm) (関係材等 の適用)		会板類の張付け ※ B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 仕上表による ・	<u>1</u>	に (1) で 調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆうの「小ロタイル 108mm×60mm×12mm」を482列。 18数を圧着する。その後、28日間、温度20±2°C、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (活験技術の作製)「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々 (4)接着強さ (福津等)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷線返し試験)「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6009「建築併任上塗材」に規定する7、11温冷緑返し試験に準じで行う。 試験の手順は、試験体を20±2°Cの水中に18時間浸せきした後、直ちに一20±2°Cの恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3°Cの別の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3°Cの別の恒温器中で3時間加湿し、この24時間を1サイクルとする場件を10回線返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。		○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋内 (表OP) ※B種・ ※B種・ ※B種・ ※B種・ ※B種・ ※B種・ ※B種・ ※B種・
The content of the		フローリング (屋体:表層が16) ・				ル」とも、各々温か能速し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置奏生した後、標準時の接觸造さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)(6)長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に2半ずる。 (7)曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建集用下地調整塗材」の7.11曲げ造さ試験に準ずる。 試験室の状態:試験室は温度20±2°C、温度65±10%とする。 既調合自地材 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 後水車 30.0%以上 吸水量 50g以下 長さ変化率 0.2%以下(収縮) 単位容積質量 1.50kg/L以上		- 1級 - 2級 ○3級 ○3級 □ンクリート面及 ○8種 ○A年 ○ ○ ○ ○ ○ ○
### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1	21 畳敷き	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ※D種 (畳床:・KT-I ・KT-I ・KT-I ・KT-I ・KT-K ・KT-N)		凝結及び安定性 (凝結時間) 始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。 曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上 吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下 透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下	-	(1) 試験の条件 試験室は、温度20±2°C、温度65±5% 附の標準状態とする。また、試験に使用する材料、 器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。 (2) 試料の調整 正味児童と標準練り上がり畳より、1.0~1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当 する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水 を計算して用意する。練り混ぜは、JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」11.2に規定		・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP - T) ※B種・ ・ A種 ※B種 ・ ・ A種 ※B種 ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・オイルステイン塗り (塗料・水性・油性) ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 ・木材保護塗料塗り (WP) ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこ
### 1	他ボード及び合板	種類	(25) タイル張り	伸縮調整目地の位置		(3) 保水性 (5紙法) JIS R 3202 「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦200mm、構200mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801 「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 A ろ紙 (直径18.5 cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2) で練り選せた試料を全くらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にブラス接き当と下を芝きにし、ろ紙部分が上部になるようにして計画する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて 1 mmまで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 (%) =50/平均値×100 注) 50: リング型わくの内径 (mm) (4) 単位容積質量 (2) で練り混ぜた試料を、JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。	8 耐震改修	会成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め ※ 改修標準仕様書表7.10.1の工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする・ ・ 高日射反射率塗料塗り 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種
特別の程度(・1頭 ・2回) 大規本を目前				試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤 等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 10.0%以上 長さ変化率 0.2%以下 単位容積質量 1.80kg/L以上 曲げ途さ 0.4N/mm2以上 潜機対返し後 0.4N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.4N/mm2以上 (試験方法) (1) 試料の顕製		(2) で顕整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。 (6) 吸水量 (2) で顕整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。 有機系接着制によるタイル (セラミックタイル) 張リ タイルの形状、寸法等 施工		・ 石綿合有理材の事前調査 エ事幣子に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を合有している吹付け材、 成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲 (○全で ・ 図示) 貸与実性 (事前調査結果報告書) ・ 分析による石綿合有遅材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、 トレモライト 分析方法 ##142 分析方法(定性) 分析方法(定量)
ALCパネル面 押出成形セメント板面 フンクリート面(DP) セっこうボード面、その他ボード面 ※RB種・RC種 RB種・Cを他・RA種・RB種・C・内う コンクリート面(DP) セっこうボード面、その他ボード面 ※RB種・ORA種・RB種 - ・別定9 (シート機去後 別番弁業室外部の付近 ・計 点 別番分案を外部の付近 ・計 点 ・計 点 ・計 点 ・計 点 ・計 点 ・計 点 ・計 点 ・計 点 お は におまり 日付:		接着の程度(・1類 ・ 2類)		のに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、 繰りばかに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜで談料 とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「ワロト板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、 横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する58 AS 紙 信 径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型かく(内径50mm、高さ10mm、厚さ 3mm)を設置し、(1) で調製した試料を平滑に踏込む。 その後、直ちにリング型かく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、る紙部分が上部に なるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた 方向とこれに面角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=550/平均値×100 (注) 50:リング型かくの内径 mm (3) 単位容積質量の試験方法	塗りオ料塗装なみ	種類及び品質 ・ せっこう系 ・ セメント系 標準差厚 (mm) ※ 図示 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量		・ 箇所
	+m^1	+ 元 唐 建 築 訳 計 事 	工事名:	図面名:		A L C パネル面 押出成形セメント板面 ・R B 種 ・R C 種 ・R A 種 ・R B 種 ・行う コンクリート面 (D P) ・R B 種 ・R C 種 R A 種 ・行う せっこうボード面、その他ボード面 ※R B 種 ・ 〇R A 種 ・R B 種 ・ 株R : 査図:	課長:	(シート養生中) ・ 謝定8 ・ 測定9 処理作業変内 ・ 計 点 ・ 測定9 ・ 財金技験 ・ 調度9 ・ 計 点

A - 07

ガラス改修工事 複層ガラス [9. 4. 2] / 10 1 フリーアクセス (20.2.2) (20. 2. 10) 案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 自動測定器による測定 5章建具改修工事による ※ 3, 000 N · 5, 000 N ¥ 3,000 N ⋅ 5,000 N 所定荷重 -- 近かか、がTDTによハロマツズホ ※用助法に適合する市政品 ・ 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示 初止の法 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉 ェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒト放散量 じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ※ 規制対象外 断熱材打込み工法 ● JIS K 3850-1に基づいた測定 施工厂所 帯電防止床タイル 帯電防止床タイル 形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅 ボックス 幅・高さ 試料の吸引流量 試料の吸引時間 ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 施工箇所 (mm) レールの材種 取付箇所 ※ 2種bA ・横形 ※手動 ※ギア式 ※アルミニウム ルタ直径(mm) ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 **※** 25 ※ 外壁/ 寸法精度 **※** 25 ※鋼製 (スキン層なし) ※ 標準仕様書20.2.2(b)(5)(a)~(c)による ※ 3種bA ・操作棒式 スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示 縦形 ※手動 ※アルミスラット アルミニウム ※図示 合金製 配線用取り出しパネル ※2本操作 · 80 · 100 硬質ウレタンフォーム断熱材 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~20パーセント コード式 ・クロススラット 配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による 石綿含有建材の処理 パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口 1箇所以上 石綿含有吹付け材の除去 コード式 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1 H ・電動 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・ なし ・ あり(形式、施工箇所: ※ 図示 アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ | 吹付け厚さ (mm) 25 30 を 施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修節分、ルーフドレン回りの床版 下等、部分的に後 クロススラットの材質 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 (1) 耐荷重性能 変形5 0mm以下 残留変形3 0mm以下 除去した石綿含有吹付け材等の処分 張りとしなければならない箇所 ・埋立処分(管理型最終処分場)・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) (2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと ロールスクリーン
 操作方式
 遊光性能
 寸法 (mm)
 取付箇所
 備考

 ・電動式 ・スプリング式
 ・1 級 ・2 級
 ※ 図示 ・2 級
 ※ 図示 ・2 級
 ※ 図示 ・2 級
 (3) ローリングロード性能 現場発泡断熱材 所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意) による繰り返し試験後、 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 残留変形3.0mm以下 合成・天然繊維製 (品質・性能) 品質・性能 下記のいずれかによっていること (4) 耐震性能 木製 ※ チェーン式 • 3級 巻取りパイプ、ウェイトパー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 除去した石綿含有保温材等の処分 (1) JISA 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加)固定台試験による耐震性能 熟試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 項目
①ベースブレート又はアンカーが耐力に達した 水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平カ> (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用 √ ている発熱性試験 (コーンカロ 石綿含有成形板の除去 リー試験)に適合していること。 とき又はコンクリート接着面が剥離したとき 以上 水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平カ> カーテン 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の きれ地の種別、 取付箇所 備考 ②上記①以外の部分が耐力に達したとき 開閉操作 ひだの種類 除去対象範囲 ※図示 (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m2以下であること 除去した石綿含有成形板の処分 石綿含有石こうボード ③適用地震時水平力を加力した 構造床面からの高さの1/50以下 ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石総含有せっこうボードを除くアスペスト含有成形板 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと 時の支柱頂部の変位 ダブル 引分け ・ひも引き ・箱ひだ、つまひだ (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して20/0KW/m2を超えないこと。 ・電動 ・プレーンひだ、片ひた (暗幕) (試験方法) <適用地震時水平力> 3,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) JIS K 7117-1「プラスチックー液状、乳濁状又は分散状の樹脂ーブルックフィールド { (m2当り自重+3,000N) /m2当りの支柱本数}×0.6 ○ 石綿含有仕上塗材の除去 除去工法 形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 3,000N 1.0Gタイプ 支柱-本が負担する床加重 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上 { (m2当り自重+3,000N) /m2当りの支柱本数}×1.0 5,000N 0.6Gタイプ 支柱-本が負担する床加重 ※ 石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号)第6条 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 6 カーテンレール (20. 2. 14) による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 { (m2当り自重 +5,000N) /m2当りの支柱本数}×0.6 材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 5,000N 1.0Gタイプ 支柱-本が負担する床加重 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526 集じん装置併用手工具ケレン工法 ステンレス製 集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度) 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) [(m2当り自董+5,000N)/m2当りの支柱本数]×1.0 1)振動台試験による耐震性能(設計床高さ)≤300mmの場合のみ) の6.2.3による。 3)試験場所は、JIS A 9526の6/2.4による。 強さによる区分 ※ 10-90 ※ アルマイト 超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用) 剥離剤併用手工具ケレン工法 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移 ※ 角形 剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度) 6)接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7)透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (5) 耐燃铸性能 ブラインドボックス 剥離剤併用超高圧水洗工法 (100M P a 以上) 建築基準法第2条第9号の規定は基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒 講型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示材質 ・集成材 (仕上げ:) 剥離剤併用超音波ケレン工法 (3) 難燃性の試験は、下記のJVS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 (6) 帯電防止性能評価値(U) ボックス ● 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

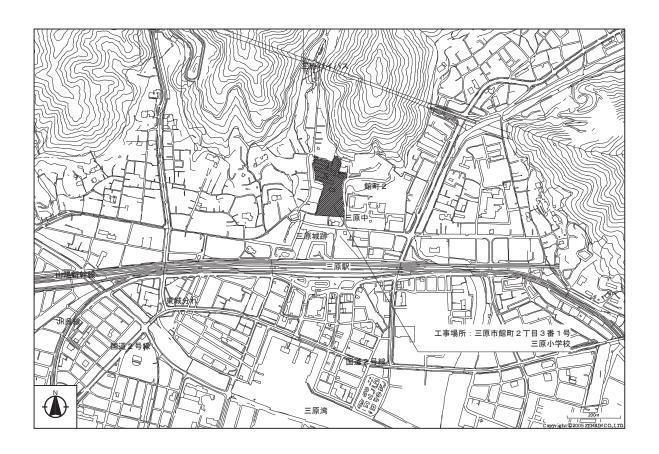
② 泡噴出・集塵装置付湿式ディスクグラインダーケレン工法

③ 負圧隔離養生 + 集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 1)難燃性の試験についたは、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の (7) 感雷防止性能 表面処理 · BC-1 · BC-2 (※標準色 (特注色(評価方法に使用している試験方法に準じる。 漏えい抵抗(R) ≧ 1×10 Å / 除去対象範囲 ⊗ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う (8) 歩行感 断熱材後張り工法 通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない 8 天井点検口 試験施工 ※ 行わない ・ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 | M/性 | ソンボ (mm) | 形式 | N/作 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 断熱材の厚さ ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・断熱材にせっこがボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ 気密形 (1) 耐震性能 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 🛞 図示 屋上緑化改修工事 植栽基盤及び材料 1)設計床高さ≦300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 [9.6.2,3 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 内外枠の材質 アルミニウム製 所定の重りの質量 3000N:200kg 5000N:350kg 加振 0.6分:所定加速度600cm/S2 1.0G:所定加速度1000cm/S2 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 断熱アスファルト 3章防水改修工事による [9.2.2~3] 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示 2)300mm<設計床高さ≦600mmの場合</p> (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナービース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外断熱改修工事 イ、友柱調整式一支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1 スは、試験方法 - 2 による。 ロ、原則として、試験方法 - 1 はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法 - 2) 、断熱材の厚さ (断熱材の種類(透水、排水層等構 合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 施工箇所 ・ 図示 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 成材の主要材質 (保水層を有する場合は、保水層共) ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出さ 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき銅板又は同等の性能を有するもの はパネル連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。 排水層 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しな イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類 耐久性能(繰り返し開閉試験) (1)50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。 い構造をもつこと。 N 300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大 既存外壁の処置 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 排水層の鉛直方 240 L / m2·h以上 耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 既存外壁仕上材の撤去 ・あり ・なし 向の排水性能 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 コ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事にる 一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: (試験方法) 内蓋 (内枠) の繰り返し開閉試験 (排水層の許容 $3 \times 10^4 \, \text{N} / \text{m} 2$ 以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。 N 300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相 圧縮強度) 耐根展 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、 (1)試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上 建築基準法に基づき定まる風圧力 (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工 不陸等の下地調整 ・ 図示 通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 耐根層保護層 材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下 後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力と する。又、800mm×800mmに荷重板1,900N(3,000N/1m2 相当)を1箇所 地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従 い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による 設ける。試験体数は、1セットとする。 A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。 (2)試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 ④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して"O"にした状態を零点とする。又、水 (イ) 3×10 N/m2の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測 形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を 測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) 平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする 3)共涌事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類:タイルカーペット 繊維素材:ナイロン100 % 繊維素材:ナイロン100 % パイル携帯:ループパイル 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない パイル長: 3.0mm~4.0mm パッキング素材:塩化ビニル樹脂 単位質量: 4.0 k g/m2~6.0 k g/m2 人体耐電圧: 2 KV以下 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年 / ・

・<br/ [9.7.2~5,9] 下記以外は、10章その他による 舗装改修工事 既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示 部長 主任 担当 查図 課長

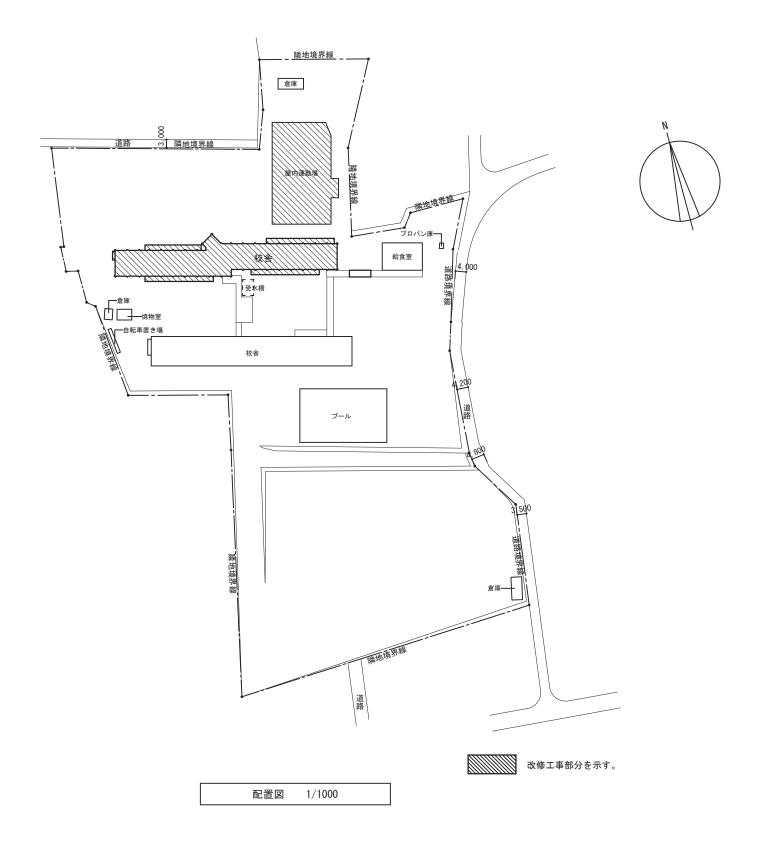
A2版:100%

9 床点検口				1 16	コンクリートの気的	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)										
	材種		形式 備考	-	単位容積質量による	※ 普通コンクリート										
	アルミニウム	(mm) 製 ・ 450×450 ・	一般形 ・屋内外用 ・鍵付き		種類及び強度等	設計基準強度 (Fc) スランブ (cm) 適用箇所 [N/mm2]										
	ステンレス製		密閉形 - 屋内用			※ 2.4 ※ 標準仕様書表6.2.2による ※ コンクリート全て										
	鋼製密閉形とは、ボル	・ ト、ナット等メカニカル	構造にパッキンを装着したものとする。			○ 2 1 (無筋コンクリートを除く)○ 校舎土間、受水槽基礎										
	(品質・性能)															
		材質 アルミニウム及びアル	屋内外用 屋内用 IS H 4100のA6063S -T5		セメント	種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は										
		ミニウム合金押出形材	(表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	. '		フライアッシュセメントA種										
		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、 SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B			・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種										
			(表面処理) HL又は2B 仕上げ程度		##+*											
		銅製	仕上げ程度 ー 標準仕様書表18.3.1及び表		型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12 mm ・)										
			18.3.2のさび止め塗料塗り	'		・メッシュ型枠										
-	二重蓋の中蓋	鋳鉄	等の防錆処理を行ったもの JIS G 5501のFC150、FC200	• '		・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ 2.5 mm以下かつ熱抵抗値 1 m h ℃ / k C a I 以上										
		その他	塩化ビニル樹脂製等	_ 19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)										
	目地材	黄銅	JIS H 3100 ØC2600, C2720, C2801 JIS H 3250 ØC3602, C3604			種 類 設計基準強度 (Fc) スランプ 施 工 箇 所 [N/mm2] (mm)										
		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1			※ 普通コンクリート ※ 18 ※ 15 ※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(加)による										
-	底板材コーナー	ステンレス鋼板	JIS G 4308ØSUS304 JIS G 4305ØSUS304, JIS G 4305ØSUS430	· '		· · · · · · · · · ·										
	ピース底板補強		SUS430J1L, SUS443J1			※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は										
	ন্স	アルミニウム板	JIS G 4308ØSUS304 JIS H 4000 (A1100P H24) —	· '		フライアッシュセメント A 種 ・ 高炉セメント B 種										
			表面処理:陽極酸化塗装複	'		・ フライアッシュセメントB種										
			合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	(20)	床コンクリート	(8.1.4) (表8.1.5)										
		鋼材	- 鋼製又はJIS G 3313にメラ		直均し仕上げ	仕上げの平たんさは、図示以外は下記による										
			ミン樹脂焼付塗装若しくは、 標準仕様書表18.3.1及び表			改修標準仕様書表8.1.5に 施工箇所 よる平たんさの種別										ļ
			18.3.2のさび止め塗料塗り			a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、										
	パッキン材		等の防錆処理を行ったもの 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロブレン、			フリーアクセスフロア (置敷式) () b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り										
			スポンジラバー、エチレンプロピレン等枠の材質、			()										
	アンカー材		形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの 鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの	·[c種 タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式) ()										
	取手		黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金		* 1. **	,										
			鋳鉄製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆	21	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による										
			した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れ			あと施工アンカーの確認試験 ※ 行う 確認強度 () ・ 行わない										
	鍵		が生じないものとする 黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする	·[
	蓋の耐荷重性能		施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする	. '												
	並い前旬里性能		蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検 口の有孔径の0.08%以内であること。													
			受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。													
	受け枠寸法の許容	·差 ±0.5mm以下	70.70%円土10、円土屋VIIIV/1日以上(のむこC。													
		±0.5mm以下 リアランス 片側2.0mm	n以内													
	(試験方法)	. , , - , , , m2. VIIII														
	耐荷重試験 財除休け 運物	1田と1 600mm角程度	枠見込みは、40mm以下とする。													
			央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。													
		Nを加圧した後、本試験:	5行う。 回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局													
	荷重)まで加圧	する。														
	測定は、蓋中央 1,000Nまで3回		曽す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について													
	.,	/ ~														
手すり 	材質	表而	仕上げ 直径 (mm) 取付箇所	· [
	· 集成材	・クリアラ	· カー · · · 35 · · 45 ·	. '												
	ステンレスパイ銅製パイプ		· EP-G	. [
	・ ビニル製ハント		-	_												
) 天井見切り緑等	時及7%下がり時と	天井の取合いの見切縁	天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種													
7 7 7 7 7 8 4		ム既製品 ⊙ ビニル即		'												
視覚障害者用床			(11. 2. 2, 19. 2. 2)													
タイル	施工箇列		類 寸法 (mm) 厚さ (mm)	. '												
(視覚障害者誘導 用ブロック)	屋内	・ 塩化ビニ ・ セラミ	ニル製 ※ 300×300 ・ ・ 7.0 ・ フクタイル ※ 300×300 ・ ・													
		・レジン	1ンクリート製 ※ 300×300 · ・	. '												
	屋外	・ コンク! ・ セラミ:	リート製 ロウタイル ※ 300×300 ・ ・													
		・レジン	1ンクリート製 ※ 300×300 · ・	. '												
	空起の形分 配列	・ コンク! 及び寸法は JIS T 9251														
鉄筋	8章耐震改修工事 種類の記号	にかかる部分は除き、下	記による (5.2.1)(表5.2.1) 呼び名 備考													
	* SD295	A	以下 受水槽基礎	. '												
	* SD345	₩ D19	以上													
				'												
溶接金網	8章耐震改修工事 種類	にかかる部分は除き、下 網目寸	記による (5.2.2) 去、鉄線の径 (mm) 備考													
	※ 溶接金網			. '												
	鉄筋格子	100 × 10	0 D10 校舎土間													
		にかかる部分は除き、下	記による (5.3.4)													
	鉄筋の継手の方法 ※ 重ね継ぎ手															
	※ 里ね継ぎ手															
	鉄筋の重ね継手の															
	※ 40dと標準 ・	準仕様書表 5.3.2の重	a継手の長さのうち大きい値とする													
	鉄筋の定着長さ															
		ける梁の引っ張り鉄筋の 表 5 . 3 . 4 による	直線定着長さは40d以上とし、それ以外は													
1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							<u></u>							 	
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		工事名:	図面名:			ec D	* EVI	部長:	課長:	主任:	担当:	日付:	図番:
									縮尺:	査図:	HPJX .	IX IX .	<u></u>		H13.	
有限会社	t 元廣建	主 築設計事務	5所 一級建築士登録 第 223245 号				事特記仕様書	(0)	MAZ版: 100%		W Z .	IX X .	<u> </u>		R04年	

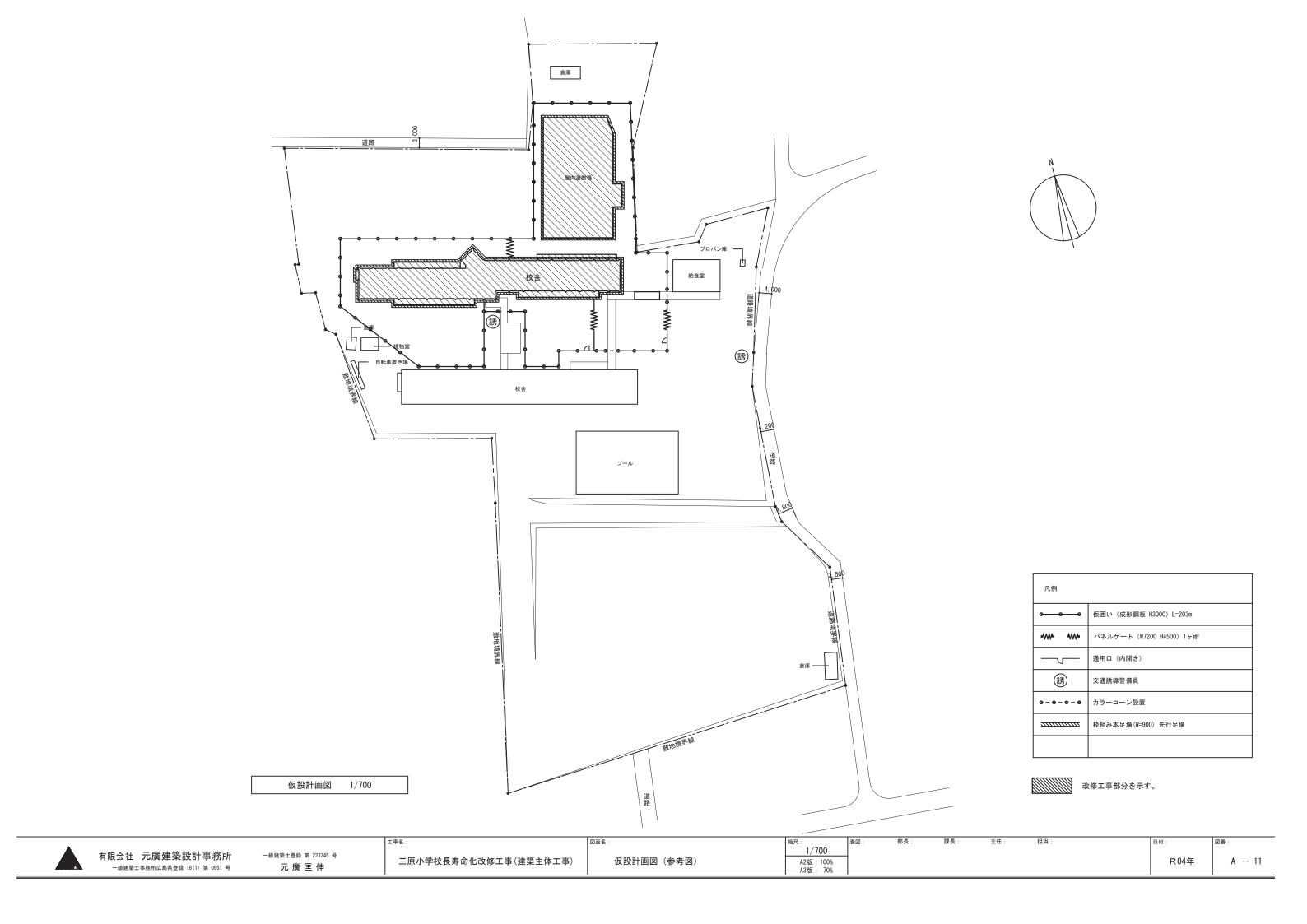


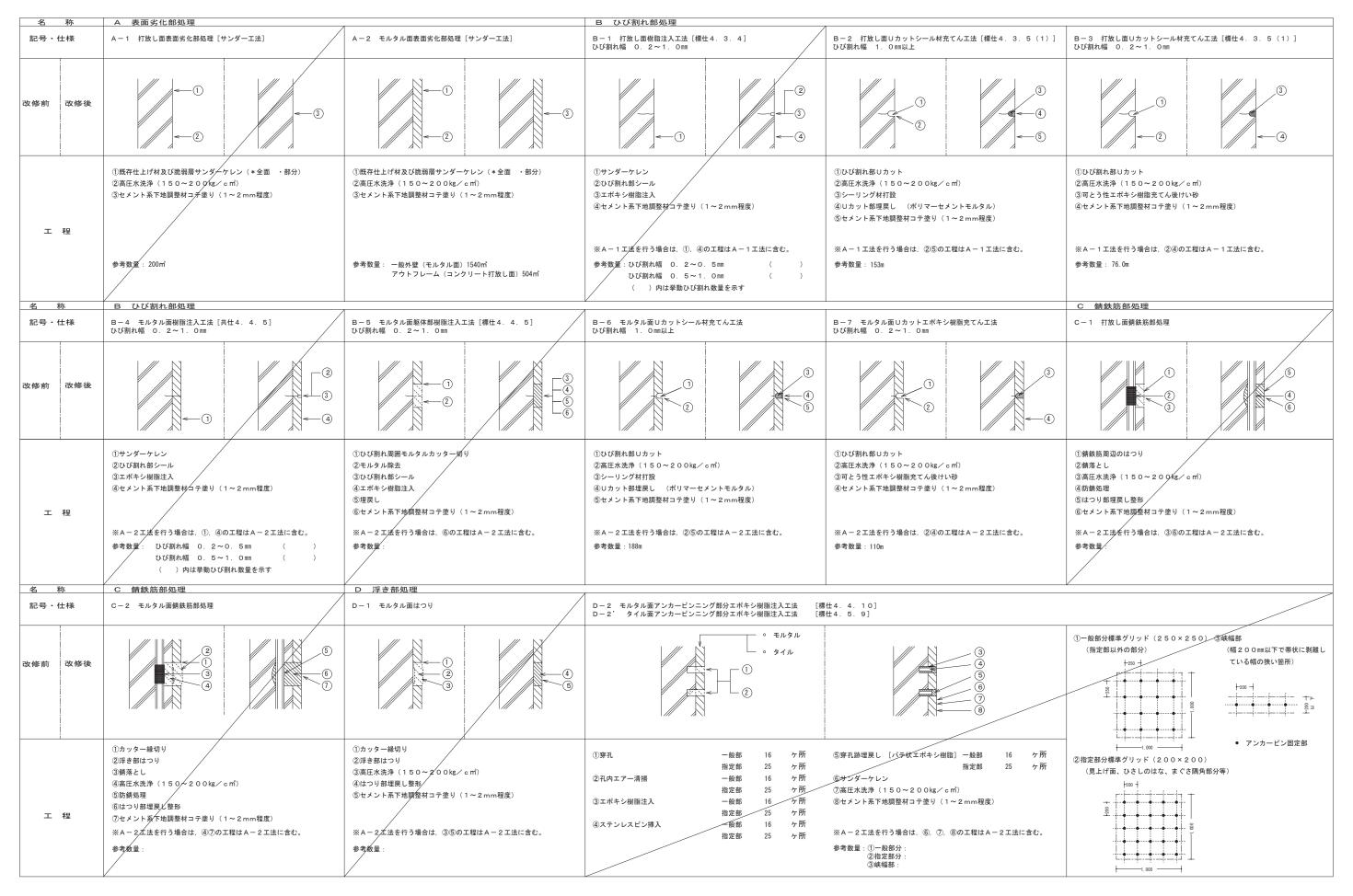
付近見取図 1/10000

工事概要	
長寿命化改修工事	
【校舎棟】	
・防水改修工事	
・外壁改修工事	
・建具改修工事	
・内装改修工事	
【屋内運動場】	
・防水改修工事	
・屋根改修工事	
・外壁改修工事	
・内装改修工事(アリーナ床)	
-	



元廣匡伸





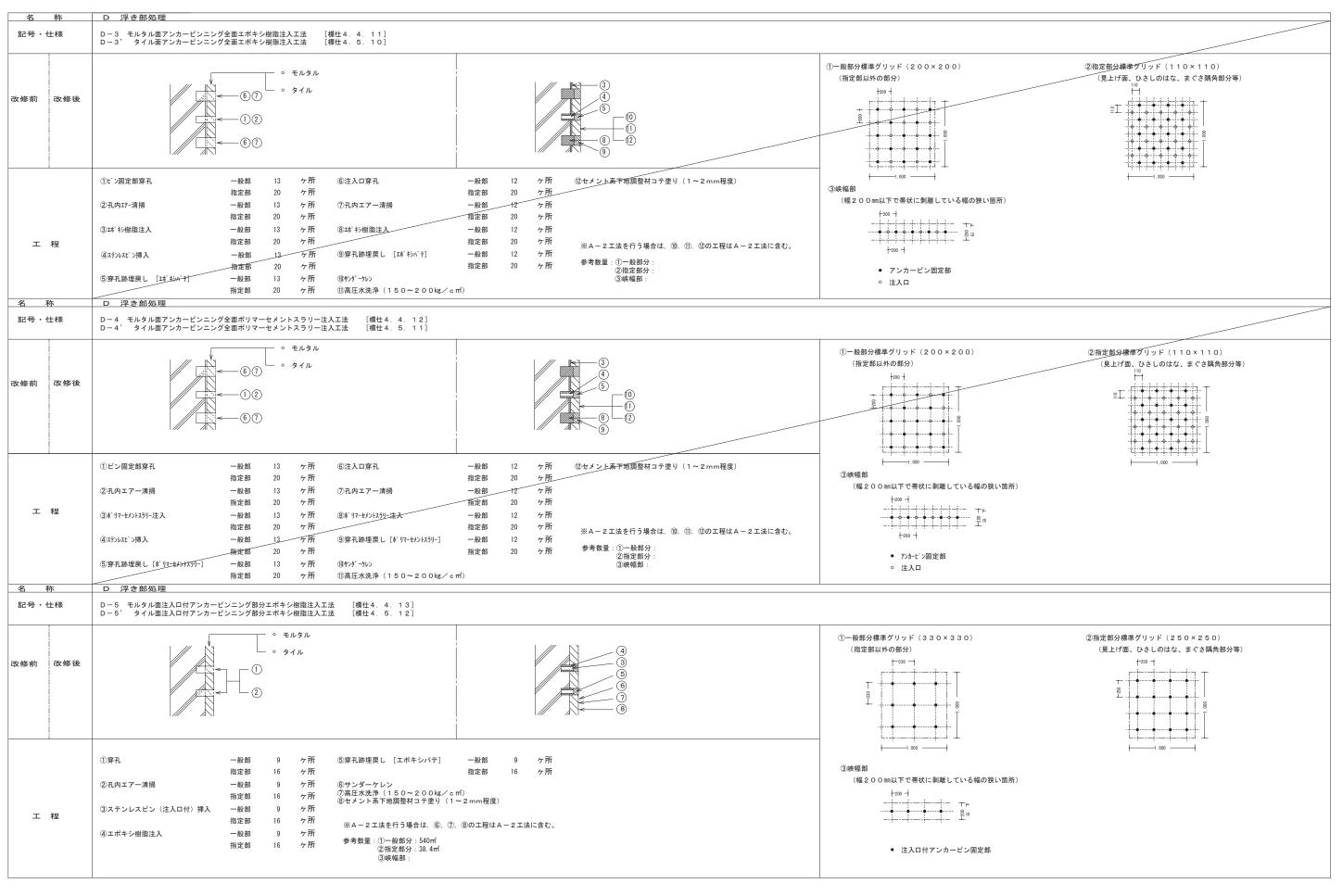


図面名

部長

課長

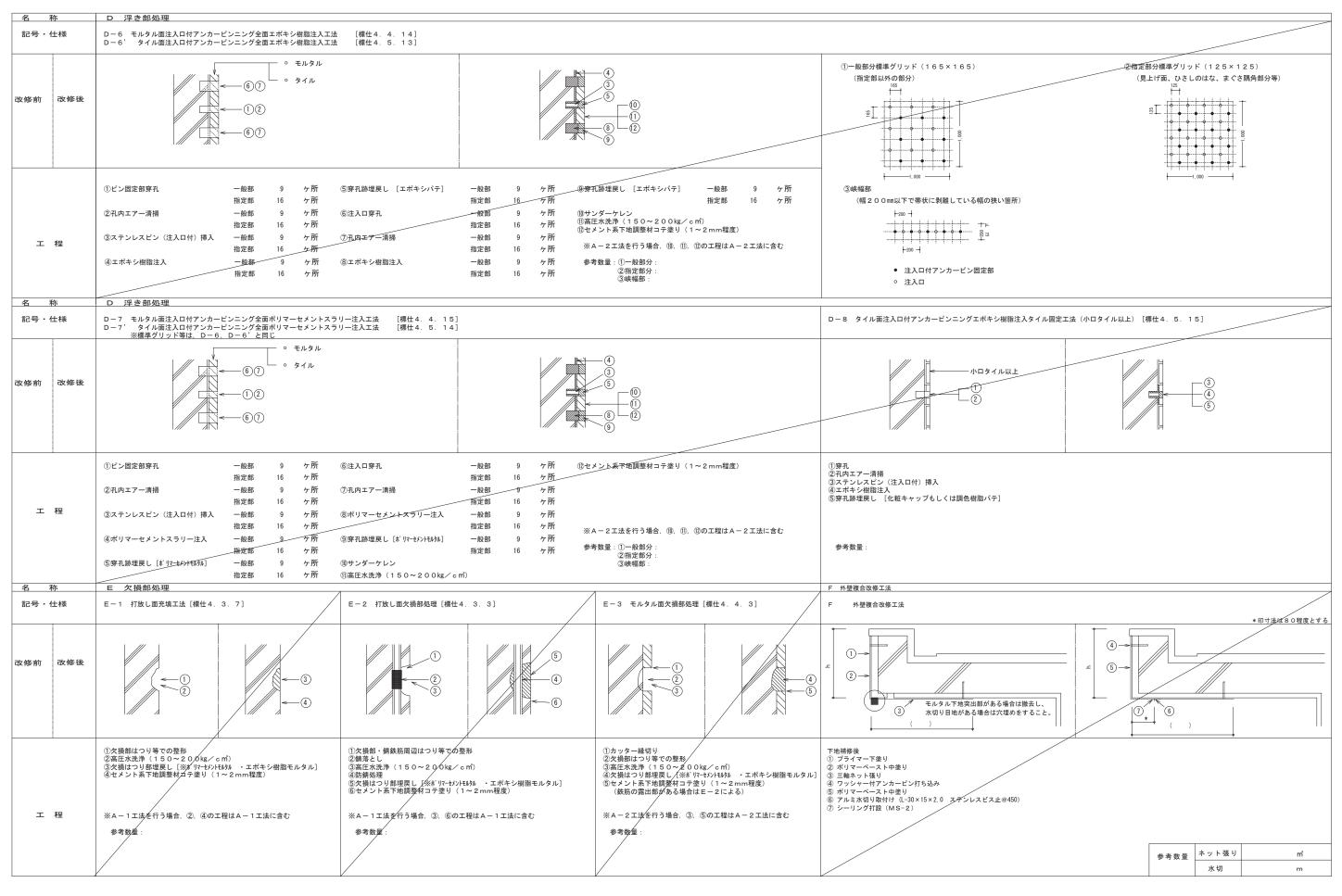
R04年



部長:

図番

R04年





査図	:
1	

縮尺:

A2版:100%

A3版: 70%

図番

3 位	部分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備考	部位	部分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備考
		保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフィング	撤去	下地処理のうえ新設	塗膜防水 (X-1)				天端・鼻:モルタル下地 ウレタン塗膜防水	水洗い	下地処理のうえ新設	塗膜防水	
屋根	屋上							庇	(X-2)	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	1 • 2 • 3						-			A-2		外装薄塗材E	
		手摺:アルミ製(縦格子、アルミ笠木付)		手摺:既存のまま					鋳鉄製 75φ	塗装改修	下地調整のうえ新設	タールエポキシ樹脂塗装	
	パラペット 立上り・柱型	天端:コンクリート下地 ウレタン塗膜防水	重ね塗り	下地処理のうえ新設	塗膜防水 (X-2)			ドレイン					
		(X-2)					-1						
外壁	壁・柱型	モルタル刷毛引 (t=25) 下地 複層仕上塗材E	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材 E			竪樋	カラーVP管 75φ (SUS支持金物共@1200)	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま	
小堂	壁・柱室						-	登伽	カラーVP管 100φ (SUS支持金物共@1200)				
		モルタル刷毛引 (t =25) 下地	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E		-		コンクリート下地 モルタルコテ押え	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま	
	根廻	セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)					-	ポーチ・犬走					
							-		床:縞鋼板	塗装改修	下地調整のうえ新設	D P	
								出入ロスローフ	プ 手摺:スチールパイプ50φ0P 手摺柱:スチールパイプ50φ0P				
		ļ											

	-		床			ф	木		腰	壁					壁				天	井				梁型		75.63		カーテンポ ックス 環境 測定			
室	名	下地	仕	上	下地	仕	上	下地		仕	上	下地		仕	:	上		下地	仕		上	下	地	仕 .	-	廻 稼	天井高	カーテン取付板 (特記1-14) 1痈	考	
家庭科室	改修前	W 合板(1) (t=15)下地	[床組下地共撤去]	-	-		-	-			М	ΕP				[下地調整]	LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部撤去]	и ЕР	[外壁	则下地調整]	塩ビ			アルミ製カーテンホ゛ック	ス、黒板	[既設のま
		長尺塩	ビシート(t=2.5)貼	i り																					[-	-部撤去]	3000	- -	教室後方棚、	8下棚、学校間仕切	[指
																													調理台 (7台)		[取外
	改修後	C+S 構造用	合板(T1)(t=15)下t	地 [床組下地共新設]	-	-		-	-			М	ΕP				[塗装改修]	LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部新設]	И ЕР	[外壁	塗装改修]	塩ビ			教室後方棚、汽	8下棚、学校間仕切	[新
		複合バ	-リング張り(t=15)({	表層カバt=3)																					[-	-部新設]	3000	_ _	調理台(7台)		[再取付
		コンクリー	土間+防湿シート	······ [新設]																											
普通教室 1 - 1	改修前	W 合板(1) (t=15)下地	[床組下地共撤去]	-	-			-			-	-					LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部撤去]	и ЕР	[外壁	则下地調整]	塩ビ			アルミ製カーテンボック	ス、黒板	[既設の言
普通教室 1-2		長尺塩	ビシート(t=2.5)貼	; b)																					[-	-部撤去]	3000	- -	教室後方棚、	窓下棚、学校間仕切	[措
普通教室 1-3																															
	改修後	C+S 構造用	合板(T1)(t=15)下t	地 [床組下地共新設]	M	ピニル巾木H=10	00 [棚撤去部	f設] —	-			_	-					LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部新設]	и ЕР	· [外壁	塗装改修]	塩ビ			教室後方棚、着	窓下棚、学校間仕切	[兼
		複合バ	・張り(t=15)(暑	 表層カバ t =3)																					[-	-部新設]	3000	_ _			
		コンクリー	 土間+防湿シート	· [新設]		-																									
会議室	改修前	W 合板(1	1) (t=15)下地	[床組下地共撤去]	-	-		-	_			_	-					LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部撤去]	и ЕР		则下地調整]	塩ビ			アルミ製カーテンボック	ス、黒板	
		長尺塩	 ビシート(t=2.5)貼	iり		+																			[-	-部撤去]	3000	_ _	教室後方棚、深	 8下棚、学校間仕切	[拼
	改修後	C+S 構造用	合板(T1)(t=15)下t	地 [床組下地共新設]] м	ピニル巾木H=10	00 [棚撤去部	折設] —	_			_	-					LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部新設]	и ЕР	9 [外壁	塗装改修]	塩ビ			教室後方棚、湯	8下棚、学校間仕切	[新
		複合7	・張り(t=15)(ま	 表層カパt=3)		+																			[-	-部新設]	3000	_ _			
			 土間+防湿シート	[新設]																											
保健室	改修前	W 合板(1	1) (t=15) 下地	[床組下地共撤去]		_		_	_			_	-					LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部撤去]	и ЕР	9 [外壁	則下地調整]	塩ビ			アルミ製カーテンボック	 ス、黒板	 [既設のま
			ビシート(t=2.5)貼	 i b																						一部撤去〕	3000		教室後方棚、		[撤
																													流し台		 [取外
	改修後	C+S 構造用	ー 合板(T1)(t=15)下は	地 「床組下地共新設]	l M	t*ニル巾木H=10	00 「棚撤去部	f設1 —	_			_	-					LGS GB-D(=9. 5)		[-	-部新設]	и ЕР	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	塗装改修]	塩ビ			教室後方棚、		[新
	1		ビシート(t=2.5)貼					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,														AF-7/18A3				 -部新設]	3000	_ _	流し台		 [再取付
			ニュー・、、。ニ・ッ/ /- 土間+防湿シート																							11/1/11/12			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
 凡例		1,,		14/1023													 防火材料	 認定番号					特記	 事項							
地					塗 :	 房											石こうボー			進之	 不燃 QM-	9828		・	壁紙等)のみ	を撤去した	-後、新たし				
コンクリート		GB-R	 石こうボード			C C成樹脂調合·	ペイント					ולי גו	レタン樹脂ワ	ワニス			石こうボー				燃 NM-			の下地(モルタル面、ボー						,1,	
コンクリート			 化粧石こうボード		_	, リヤラッカ·							ッカーエナン					ボード (9.5)			/////////////////////////////////////			サービー () () () () () () () () () (.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•	
モルタル金ゴ			シージング石こう:			プクリル樹脂:		涂料										ル化粧吸音板			燃 NM-			の[一部〇〇]の範囲は、		י פונווטי ו	.,,,				
モルタル刷毛			<u></u>			対候性塗料	/(SE-/1/2) HX/I	±171					材保護塗料					77 1011170 1011	(12)	117	7m 14141			(OO) は下地を示す	<u> </u>						
木造	J. C		ロックウール化粧			のや有り合成	計能エマルド	ョンペイン				VF 小1 そ の												 	◇◇◇◇◇	■のこと					
軽量鉄骨下地			吸音板			お成樹脂エマ							 ーリング(種	11111111111111111111111111111111111111	7什様聿に 1	トる)											(+2 <i>h</i> -1,7n-11	\ <u>`</u> ,b* (+=15) (惠原+ハ*+	-?\ x QN x QNQ涂妆与	」(ペット樹脂コーティング)接着	↓ 紅空下注とする
土間コンクリ			ッロが けい酸カルシウム:			成樹脂エマ							ラスウール			,- w/							1	他の日 (Mid 31 来倒悟追用日 							三田上以しりつ。



内 部 仕 上 表 腰 壁 壁 カーテンポックス 環境 測定 廻縁 天井高 室 備 考 名 仕 上 下地 仕 上 下地 什 上 下地 上 カーテン取付板 (特記1-14) 1 食堂1・2 改修前 W 合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共撤去] LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去] M E P [外壁側下地調整] 塩ビ アルミ製カーテンボックス、黒板(食堂1) [既設のまま] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り -部撤去] 3000 「廊下W2500は什上のみ撤去] 学校間仕切、17通り開口閉塞、黒板(食堂2) 改修後 C+S 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] LGS GB-D(t=9.5) [一部新設] M EP [外壁側塗装改修] 塩ビ 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り 一部新設] 3000 . 窓下棚、教室後方棚 コンクリート土間+防湿シート [廊下W2550を除き新設] 廊下1・2 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り 「下地調整] LGS GB-D(t=9.5) [既設のまま] [撤去] M EP [一部撤去] 塩ビ 手洗い場、シャッターボックス 一部撤去] 3000 傘・雑巾掛、雨受け [撤去] 鏡 200×300 5か所 [取外し] 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [塗装改修] LGS GB-D(t=9.5) 鏡 200×300 5か所 [再取付け] [新設] м ЕР [一部新設] 塩ビ 一部新設] 3000 2 図工室 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去] LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去] M EP [外壁側下地調整] アルミ製カーテンボックス、黒板 [既設のまま] 塩ビ - 学校間什切 -部撤去 3000 [撤去] M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設] M ピニル巾木H=100 [棚撤去部新設] LGS GB-D(t=9.5) [一部新設] M EP [外壁側塗装改修] [新設] 塩ビ -部新設] 3000 普通教室2-1 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去] LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去] M EP [外壁側下地調整] アルミ製カーテンボックス、黒板、OHPスクリーン [既設のまま] 塩ビ 2-2 -部撤去] 3000 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去] 2-3 3 - 1 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設] M L*: 小巾木H=100 「棚撤去部新設] LGS GB-D(t=9.5) [一部新設] M EP [外壁側塗装改修] 塩ビ 教室後方棚, 窓下棚, 学校間什切 [新設] 3-2 一部新設] 3000 図書室1・2 _ 廊下1・2 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [下地調整] LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去] 手洗い場、シャッターボックス [既設のまま] [撤去] 塩ビ 一部撤去] 3000 - 傘・雑巾掛、雨受け [撤去] [塗装改修] LGS GB-D(t=9.5) 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [新設] [一部新設] 塩ビ 一部新設] 3000 3 郷土資料室 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去] M EP [外壁側下地調整] アルミ製カーテンボックス、黒板 [既設のまま] 塩ビ スラブ下:現場発泡ウレタン t 25 [既存のまま] -部撤去] 3000 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去] 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設] M ビニル巾木 [棚撤去部新設] LGS GB-D(t=9.5) [一部新設] M EP [外壁側塗装改修] 塩ビ 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設] 一部新設] 3000 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り 活動室1・2 [一部撤去] LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去] M EP [外壁側下地調整] 塩ビ アルミ製カーテンボックス、黒板、OHPスクリーン [既設のまま] スラブ下:現場発泡ウレタン t 25 [既存のまま] 一部撤去] 3000 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去] LGS GB-D(t=9.5) 教室後方棚, 窓下棚, 学校間什切 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設] M ビニル巾木 [棚撤去部新設] [一部新設] M EP [外壁側塗装改修] 塩ビ [新設] 一部新設] 3000 略号凡例 防火材料認定番号 下 地 塗 装 石こうボード (9.5) 準不燃 QM-9828 ※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合。 C コンクリート GB-R 石こうボード SOP 合成樹脂調合ペイント UC ウレタン樹脂ワニス 石こうボード (12.5) 不燃 NM-8619 既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、 CB コンクリートブロック GB-D 化粧石こうボード CL クリヤラッカー LE ラッカーエナメル 化粧石こうボード (9.5) 準不燃 QM-9824 新規仕上げの施工に支障のないよう、適切な下地補修を行うこと M モルタル金ゴテ押え GB-S シージング石こうボード NAD アクリル樹脂系非水分散系塗料 OS オイルステイン ロックウール化粧吸音板(12) 不燃 NM-8599 ※表中の[一部〇〇]の範囲は、図示による M' モルタル刷毛引き GB-F 強化石こうボード DP 耐候性塗料 WP 木材保護塗料 ※図中〈〇〇〉は下地を示す W 木造 DR ロックウール化粧吸音板 EP-G つや有り合成樹脂エマルションペイント その他 ※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと

C+5	S 土間コンクリー	ト+鋼製床組	FK けい酸カルシウム板	EP-T 合成樹脂エマルション模	養料	GW グラスウール									
	有		建築設計事務所	-級建築士登録 第 223245 号 元 廣 匡 伸	三原小学校長寿命化改作	修工事(建築主体工事)	図面名: 仕上表	縮尺: —— A2版:100% A3版:70%	査図:	部長:	課長:	主任:	担当:	^{日付:} R04年	図番: KD — 05

シーリング(種別は特記仕様書による)

※化学物質の濃度測定は、1階家庭科室、保健室、2階図工室、普通教室3-1、3階普通教室4-1、通級指導教室とする。

LGS 軽量鉄骨下地

AB 吸音板

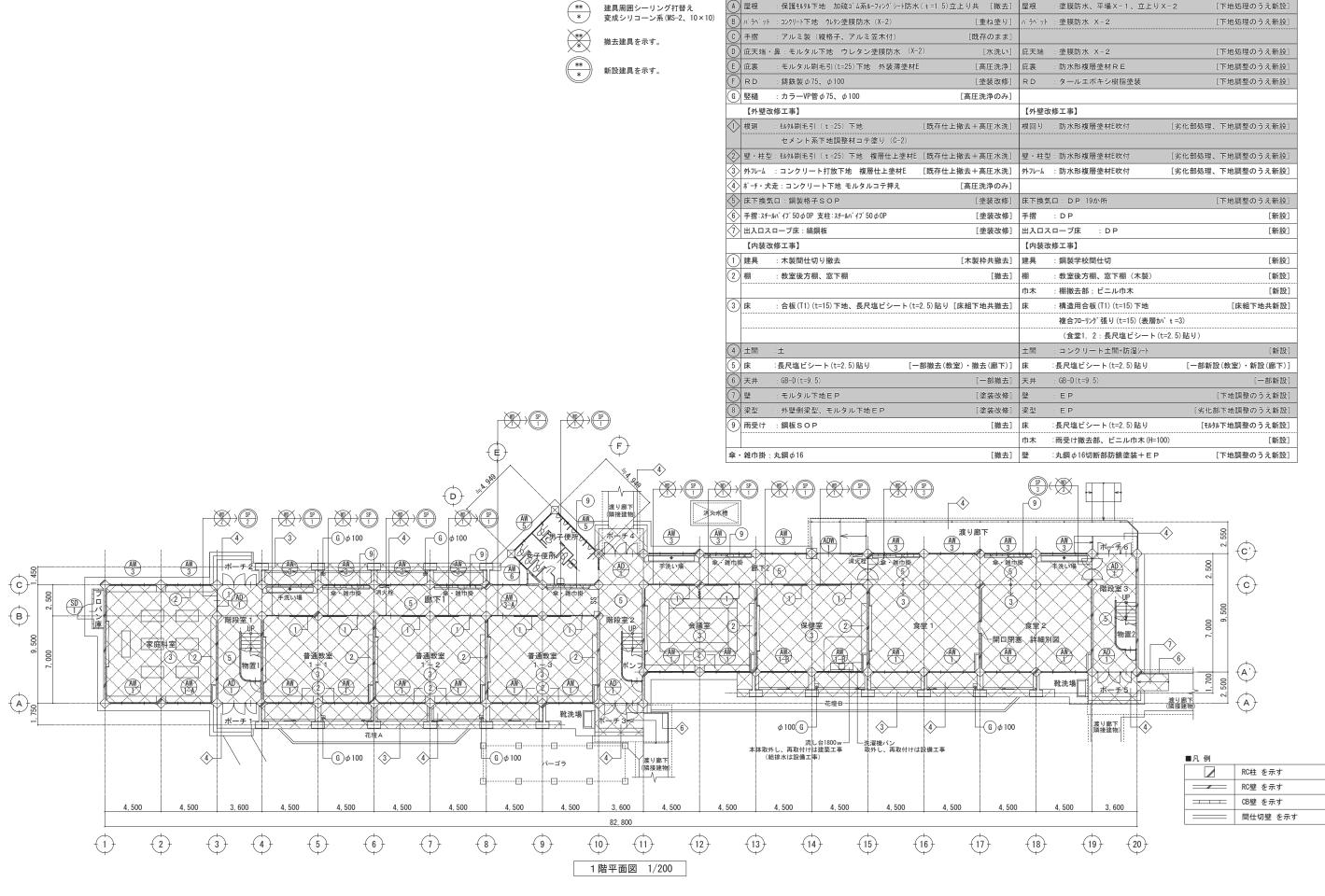
EP 合成樹脂エマルションペイント

内 部 仕 上 表 カーテンオ・ックス 環境 測定 腰 壁 壁 廻縁 天井高 室 名 備 考 カーテン取付板 (特記1-14) 仕 上 下地 仕 上 下地 下地 上 3 普通教室 4-1 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り L G S GB-D (t=9.5) [一部撤去] M EP [外壁側下地調整] アルミ製カーテンボックス、黒板、OHPスクリーン [既設のまま] スラブ下:現場発泡ウレタン t 25 一部撤去] 3000 - 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去] 4-2 5-1 [一部新設] M L*二川巾木H=100 [棚撤去部新設] L G S GB-D (t=9.5) [一部新設] M EP 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 5-2 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [外壁側塗装改修] 塩ビ [新設] 一部新設] 3000 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [外壁側下地調整] 塩ビ 通級指導教室 1 L G S GB-D (t=9.5) [一部撤去] M EP パーティション、アルミ製カーテンボックス、黒板 [既設のまま] [一部撤去] スラブ下:現場発泡ウレタン t 25 [既存のまま] 一部撤去] 3000 - 窓下棚、学校間仕切 [撤去] [外壁側塗装改修] 塩ビ 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り LGS GB-D(t=9.5) [一部新設] M EP 窓下棚、学校間仕切 [一部新設] [新設] [一部新設] 3000 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り LGS GB-D(t=9.5) [外壁側下地調整] 塩ビ [既設のまま] 通級指導教室2 [一部撤去] [一部撤去] M EP パーティション、アルミ製カーテンボックス スラブ下:現場発泡ウレタン t 25 [既存のまま] - 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 一部撤去] 3000 [撤去] 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設] M ピニル巾木H=100 [棚撤去部新設] LGS GB-D(t=9.5) [一部新設] M EP [外壁側塗装改修] 塩ビ 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設] 一部新設] 3000 廊下1・2 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [撤去] M EP [下地調整] LGS GB-D(t=9.5) 手洗い場、シャッターボックス [既設のまま] スラブ下:現場発泡ウレタン t 25 [既存のまま] -部撤去] 3000 - 傘・雑巾掛、雨受け 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [新設] M EP [塗装改修] LGS GB-D(t=9.5) [一部新設] 塩ビ 一部新設] 3000 共通 階段1・2・3 改修前 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [撤去] м ЕР [下地調整] LGS GB-D(t=9.5) [階段2最上階一部撤去] - -塩ビ 手洗い場 [既設のまま] ノンスリップ金物塩ビタイヤ付き [撤去] 最上階スラブ下:現場発泡ウレタン t 25 一部撤去] 3000 - 階段2中央:金属手摺 [撤去] [既存のまま] 改修後 M 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り 各階段両面:アルミ芯材樹脂被覆手摺 Ø 40 м Гер [塗装改修] LGS GB-D(t=9.5) [階段2最上階一部新設] [新設] 塩ビ [新設] 一部新設] 3000 ノンスリップ金物ゴムタイヤ付き [新設] 改修前 改修後 改修後 改修前 改修後

略号	号凡例							防火材料認定番号		特記事項
下	地			塗	装			石こうボード (9.5)	準不燃 QM-9828	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、
С	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード (12.5)	不燃 NM-8619	既存の下地 (モルタル面、ボード面等) の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、
СВ	3 コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	化粧石こうボード (9.5)	準不燃 QM-9824	新規仕上げの施工に支障のないよう、適切な下地補修を行うこと
М	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シージング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	os	オイルステイン	ロックウール化粧吸音板(12)	不燃 NM-8599	※表中の[一部OO] の範囲は、図示による
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	DP	耐候性塗料	WP	木材保護塗料			※図中〈OO〉は下地を示す
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント	7	の他			※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	ΕP	合成樹脂エマルションペイント		シーリング(種別は特記仕様書による)			※化学物質の濃度測定は、1階家庭科室、保健室、2階図工室、普通教室3-1、3階普通教室4-1、通級指導教室とする。
C+5	S 土間コンクリート+鋼製床組	FK	けい酸カルシウム板	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料	GW	グラスウール			
	·			<u>'</u>	- ± A	'	m= 4		645-17	

A

	보다.
_	
A2版: 100%	
AOUE 700/	



記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)

【防水改修工事】

1/200

A2版:100%

部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)

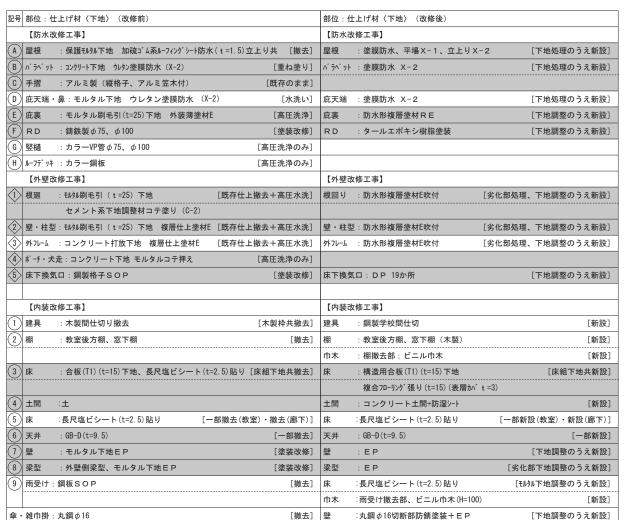
【防水改修工事】

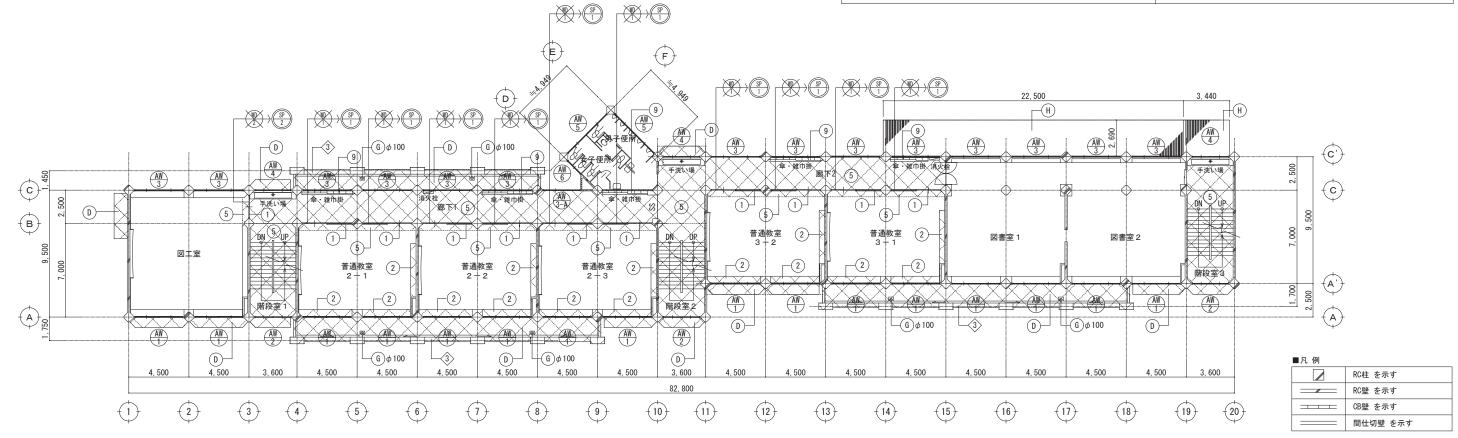


建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10)



撤去建具を示す。 新設建具を示す。





2 階平面図 1/200



1/200

A2版:100%

**

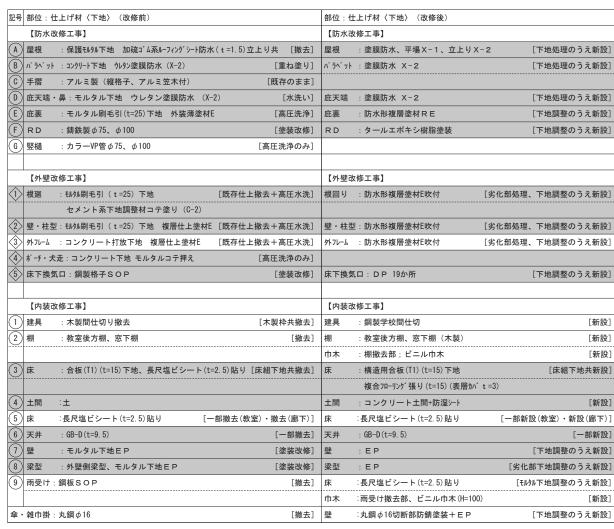
建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10)

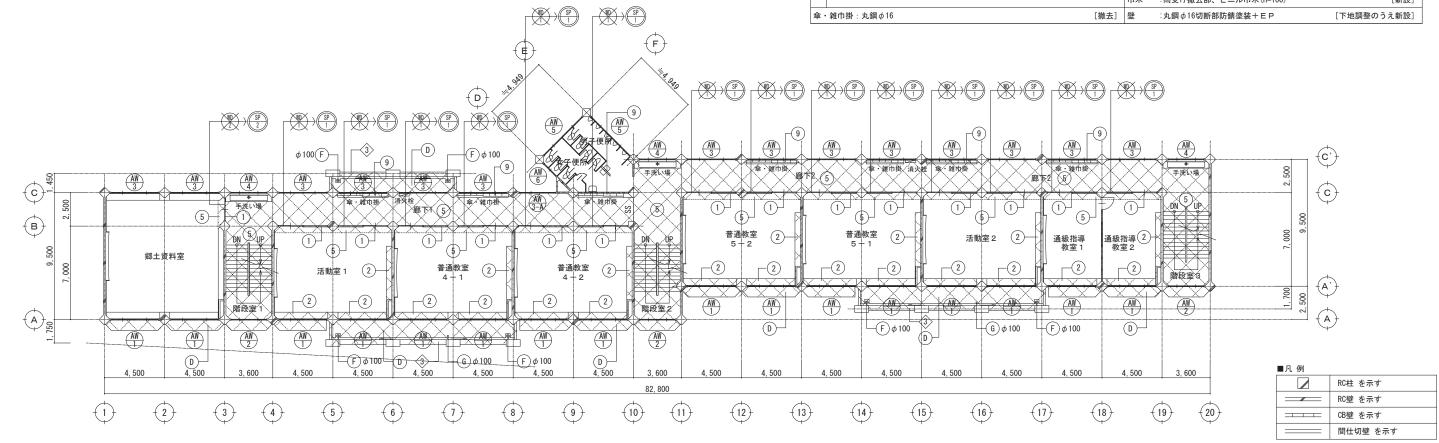


撤去建具を示す。

**

新設建具を示す。





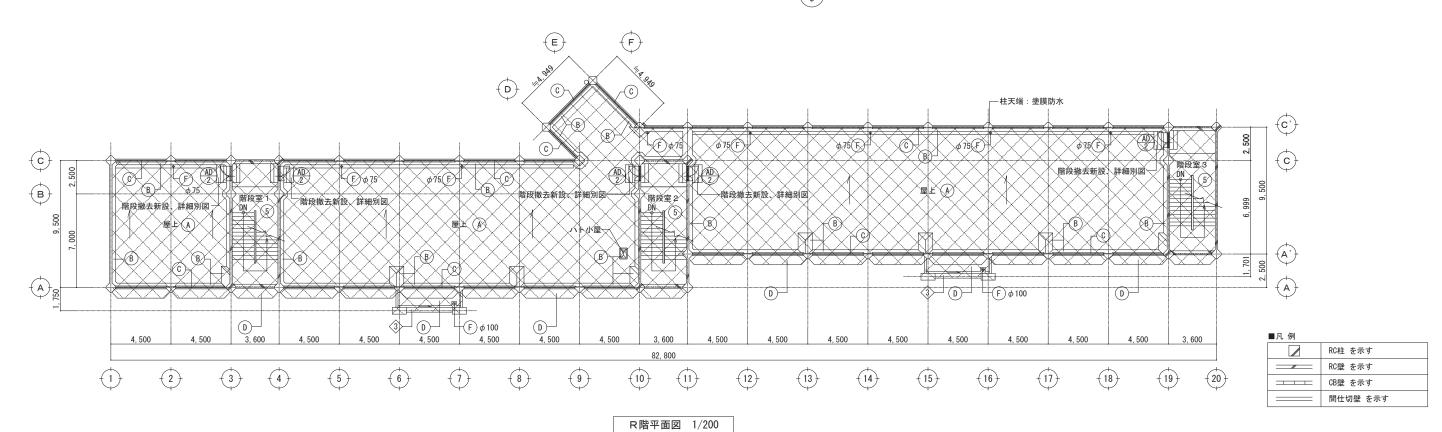
3 階平面図 1/200

1/200

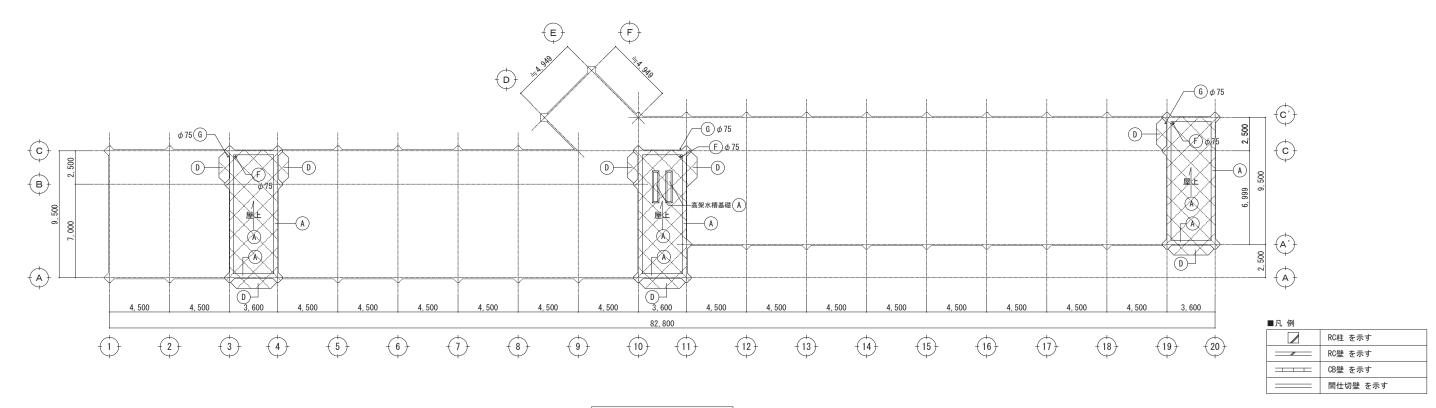
A2版:100%

記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)
【防水改修工事】	【防水改修工事】
A 屋根 : 保護モルタル下地 加硫コ゚ム系ルーフィングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根 : 塗膜防水、平場 X-1、立上り X-2 [下地処理のうえ新設]
B パラペット : コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	パラペット : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
○ 手摺 : アルミ製(縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
	庇天端 : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E 庇裏 : モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏 : 防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F RD : 鋳鉄製φ75、φ100 [塗装改修]	RD : タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
⑤ 竪樋 : カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
【外壁改修工事】	【外壁改修工事】
根廻 : モルタル刷毛引 (t=25) 下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根回り : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)	
壁·柱型: FL/NA刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型:防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
外フレーム :コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(4) ボーチ・犬走:コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
(출装改修) 床下換気口:鋼製格子SOP	床下換気口: DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
【内装改修工事】	【内装改修工事】
(1) 建具 : 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具 :鋼製学校間仕切 [新設]
(2) 棚 : 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚 : 教室後方棚、窓下棚(木製) [新設] [新設]
	巾木 : 棚撤去部: ビニル巾木 [新設]
3 床 : 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床 :構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]
	複合フローリング張り(t=15)(表層カパt=3)
4 土間 :土	土間 : コンクリート土間+防湿シート [新設]
5 床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床 : 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り
6 天井 : GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井 : GB-D(t=9.5) [一部新設]
1 壁 : モルタル下地EP [塗装改修]	壁 : E P [下地調整のうえ新設]
(8) 梁型 : 外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型 : E P [劣化部下地調整のうえ新設]

 **
 建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10)



記号	部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)
	【防水改修工事】	【防水改修工事】
(A)	屋根 : 保護モルタル下地 加硫コ゚ム系ルーフィンク゚シート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根 : 塗膜防水、平場 X-1、立上り X-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット : コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	パラペット : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
(C)	手摺 : アルミ製 (縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
0	庇天端・鼻:モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端 : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏 : モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏 : 防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	RD : 鋳鉄製75φ [塗装改修]	RD : タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	竪樋 : カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
	【外壁改修工事】	【外壁改修工事】
\bigcirc	根廻 : モルタル刷毛引(t =25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根回り : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
	セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)	
2>	壁·柱型: モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型:防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3>	外フレーム : コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4>	ポーチ・犬走:コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
\$	床下換気口:鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口: DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
	【内装改修工事】	【内装改修工事】
1	建具 : 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具 : 鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚 : 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚 : 教室後方棚、窓下棚(木製) [新設]
		中木 :棚撤去部;ビニル中木 [新設]
3	床 : 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床 :構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]
		複合フローリング張り(t=15)(表層カパt =3)
4	土間 :土	土間 : コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
6	天并 : GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天并 : GB-D(t=9.5) [一部新設]
7	壁 : モルタル下地EP [塗装改修]	壁 : EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型 : 外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型 : E P [劣化部下地調整のうえ新設]



PHR階平面図 1/200



正図	ᅏᅋ	

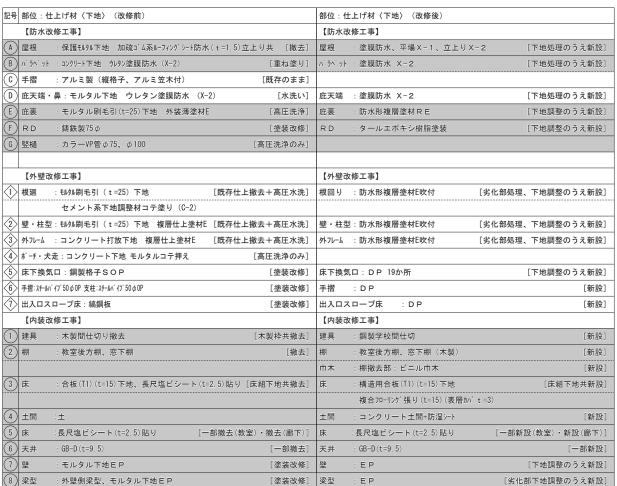
1/200

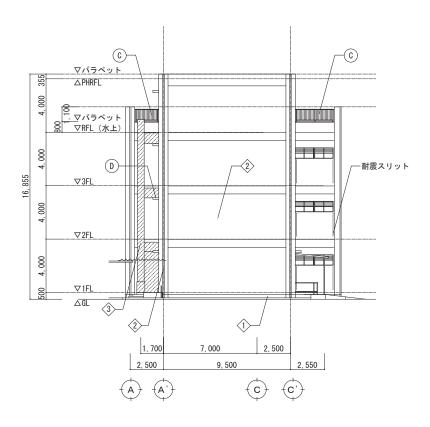
A2版:100% A3版: 70%

主任:

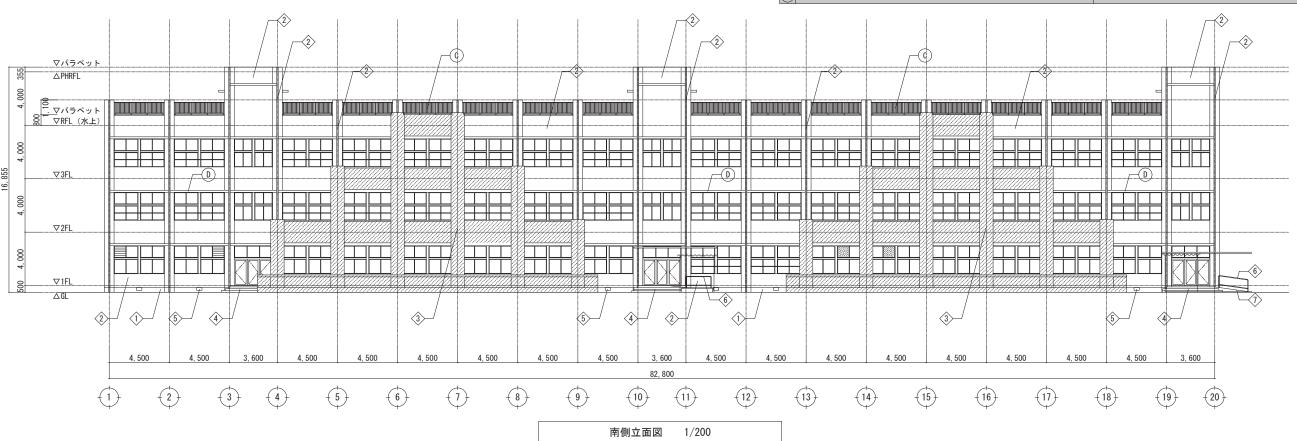


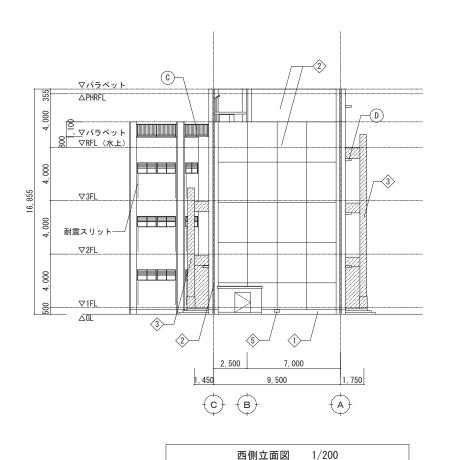
耐震スリット打替え 変成シリコーン系(MS-2、30×10)



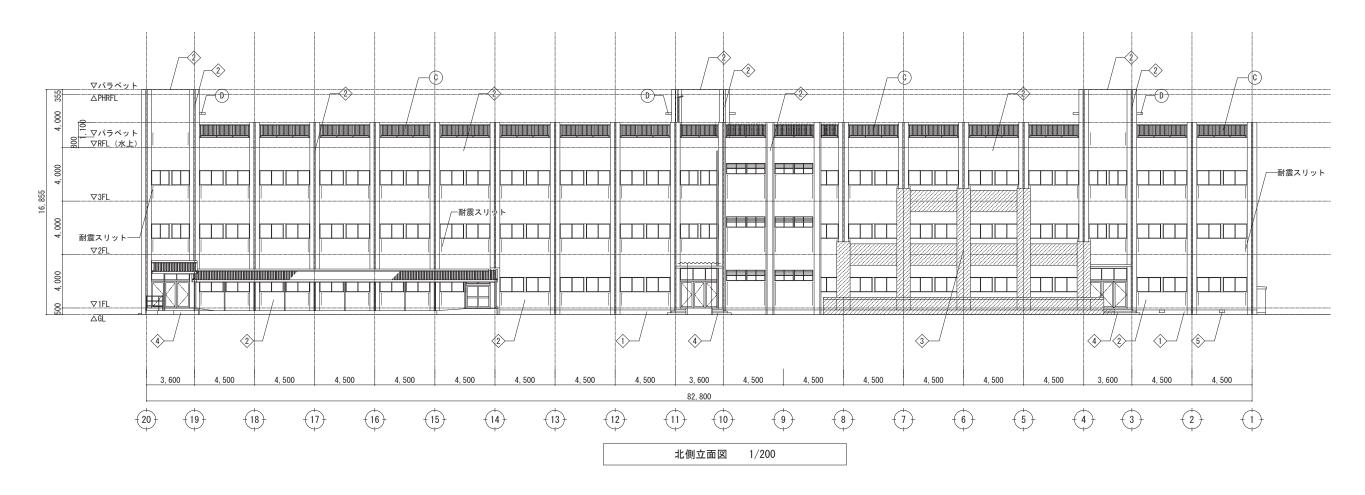


東側立面図 1/200







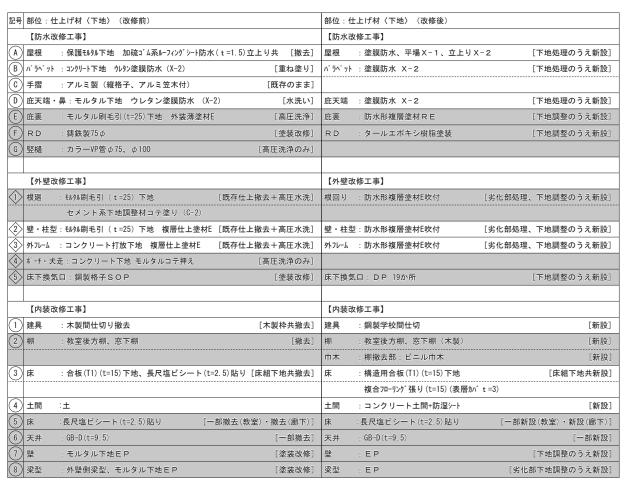


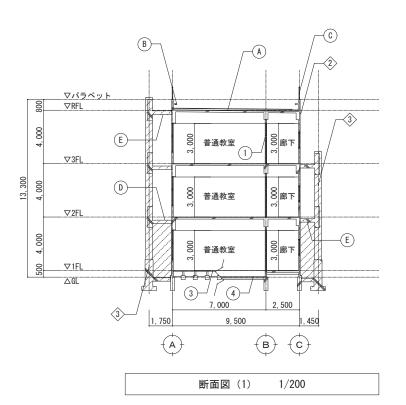
PCa部分を示す

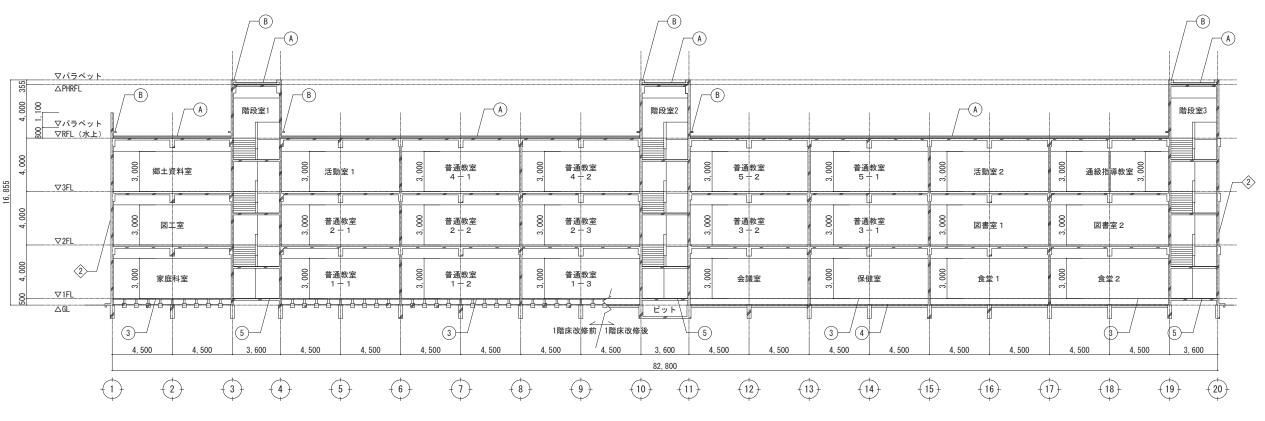
耐震スリット打替え



ー 耐震スリット打替え - 変成シリコーン系(MS-2、30×10)

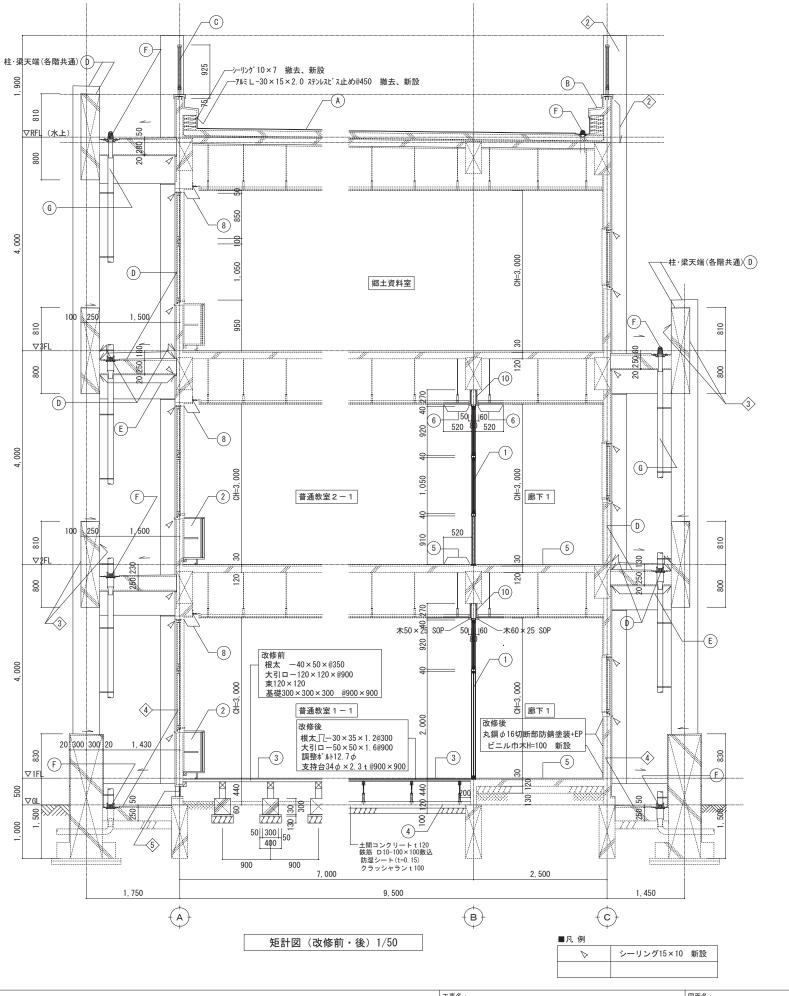




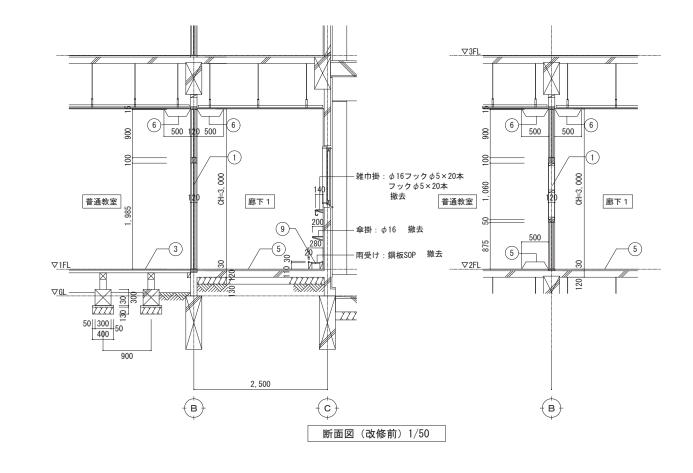


1/200

断面図(2)

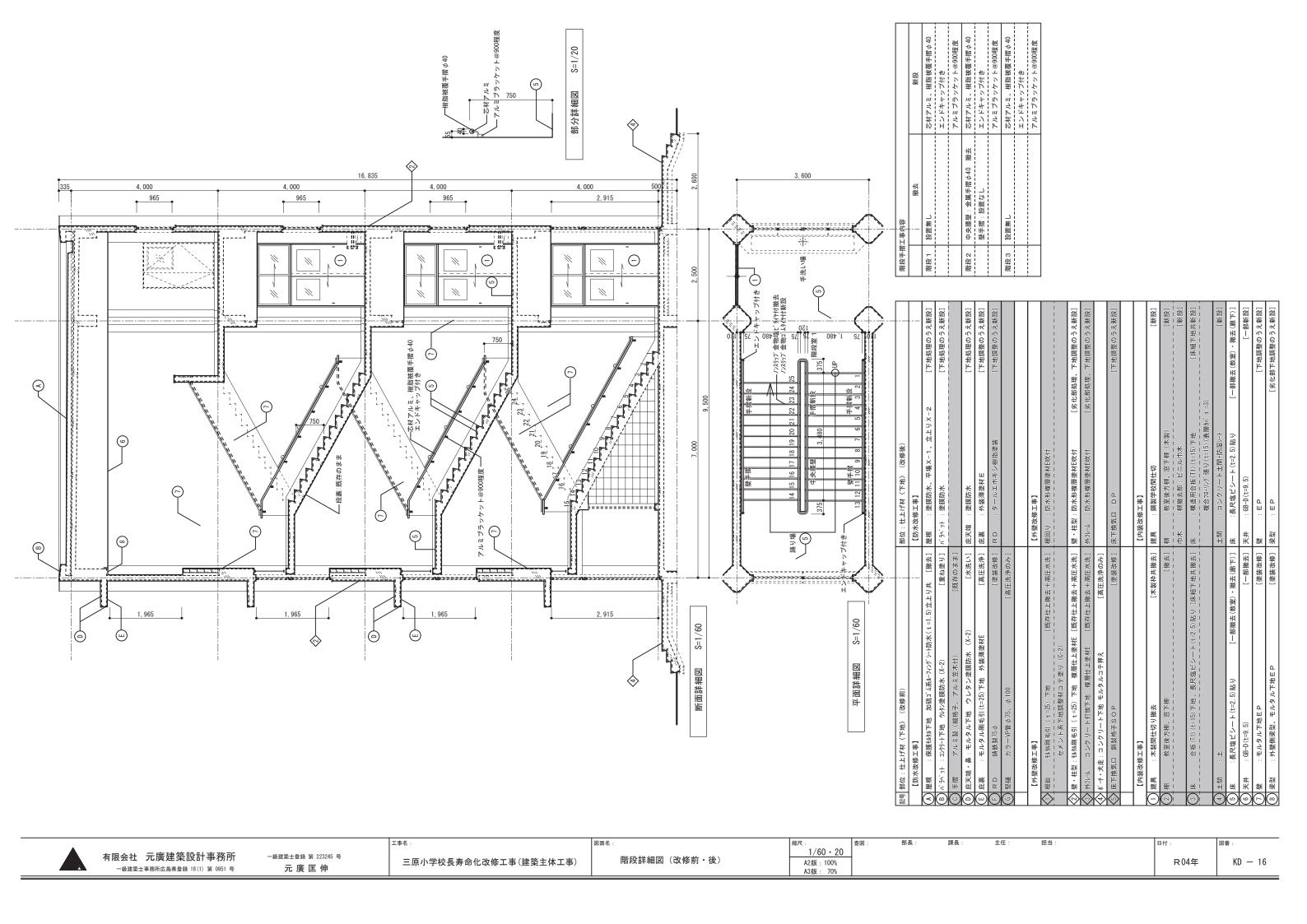


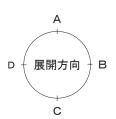
記号	部位:仕上げ材〈下地〉 (改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉 (改修後)
	【防水改修工事】	[防水改修工事]
A	屋根 : 保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフィングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根 : 塗膜防水、平場 X-1、立上り X-2 [下地処理のうえ新設]
B	n° ラ^° ット : コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	n゚ラペット : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
(C)	手摺 : アルミ製 (縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
(D)	庇天端・鼻:モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端 : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏 : モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏 : 外装薄塗材 E [下地調整のうえ新設]
F	RD : 鋳鉄製 75ϕ [塗装改修]	RD : タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	竪樋 : カラーVP管 ϕ 75、 ϕ 100 [高圧洗浄のみ]	
	【外壁改修工事】	【外壁改修工事】
\bigcirc	根廻 : モルタル刷毛引 (t =25) 下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根回り : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
	セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)	
2>	壁・柱型: モルタル刷毛引 (t =25) 下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型:防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3>	外フレーム : コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	ポーチ・犬走:コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
\$	床下換気口:鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口: DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
	【内装改修工事】	【内装改修工事】
1	建具 : 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具 : 鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚 : 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚 : 教室後方棚、窓下棚(木製) [新設]
		中木 :棚撤去部;ビニル中木 [新設]
3	床 : 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り[床組下地共撤去]	床 : 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]
		複合フローリング張り(t=15)(表層カパt=3)
4	土間 : 土	土間 : コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
6	天井 : GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井 : GB-D(t=9.5) [一部新設]
7	壁 : モルタル下地EP [塗装改修]	壁 : EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型 : 外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型 : E P [劣化部下地調整のうえ新設]
9	雨受け : 鋼板SOP [撤去]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]
10	区画壁 : なし	区画壁 : LGS90下地 GB-F (t=15) 二枚張り (両面張) [防火改修新設]



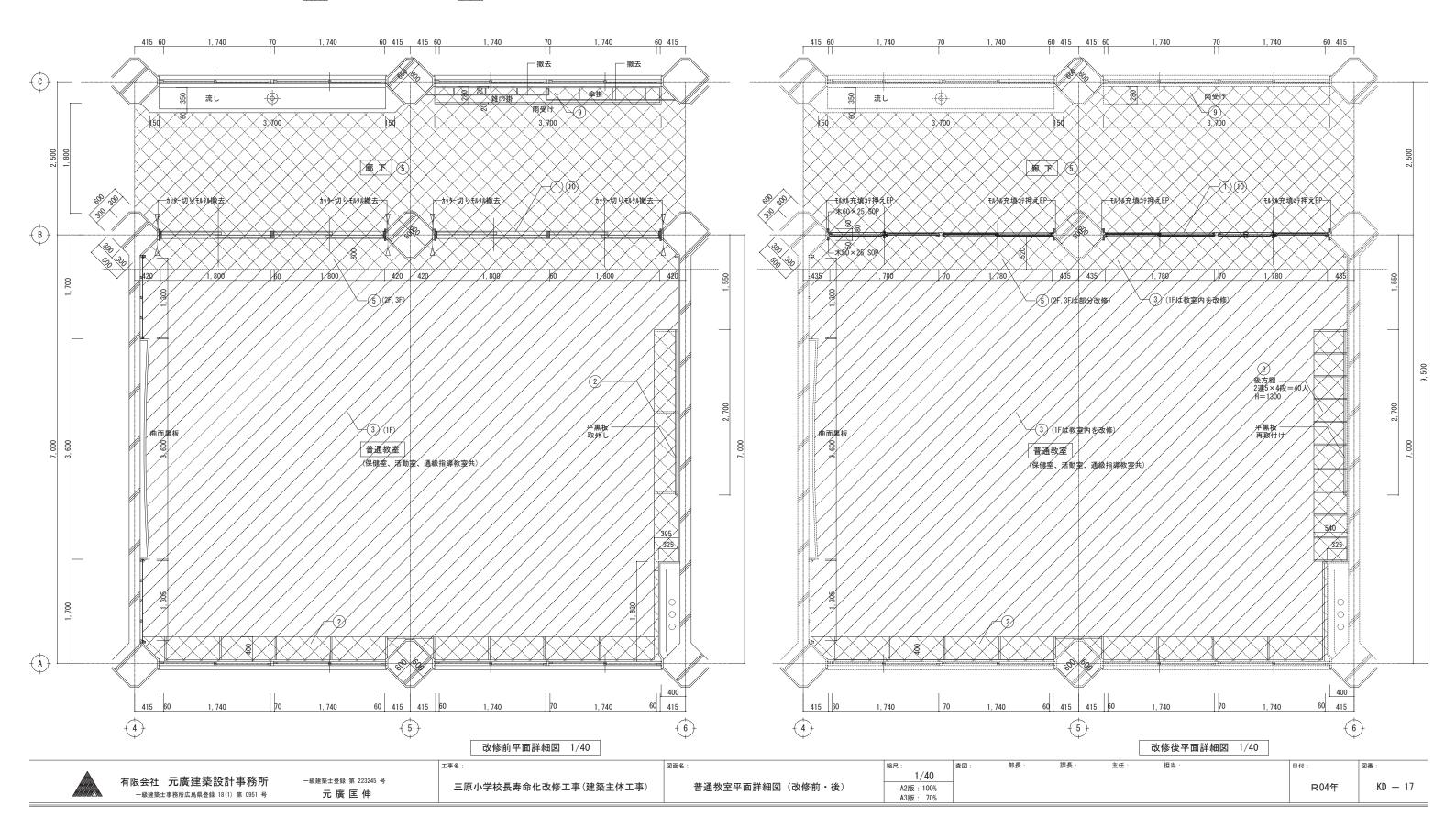
KD - 15

R04年





記号部位:台	士上げ材〈下地〉(改修前)		部位: 仕	上げ材〈下地〉(改修後)		記号 部位:仕	上げ材〈下地〉(改修前)		部位:	仕上げ材〈下地〉(改修後)	
【内装改修工事】		【内装改修工事】			【内装改修工事】			【内装改修工事】			
1 建具	: 木製間仕切り撤去	[木製枠共撤去]	建具	: 鋼製学校間仕切	[新設]	6 天井	: GB-D (t=9.5)	[一部撤去]	天井	: GB-D (t=9.5)	[一部新設]
2 棚	: 教室後方棚、窓下棚	[撤去]	棚	:教室後方棚、窓下棚(木製)	[新設]	7 壁	:モルタル下地EP	[塗装改修]	壁	: EP	[下地調整のうえ新設]
			巾木	: 棚撤去部; ビニル巾木	[新設]	8 梁型	: 外壁側梁型、モルタル下地EP	[塗装改修]	梁型	: EP	[劣化部下地調整のうえ新設]
3 床	: 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩	ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床	: 構造用合板(T1)(t=15)下地	[床組下地共新設]	9 雨受け	:鋼板SOP	[撤去]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[モルタル下地調整の上、新設]
				複合フローリング張り(t=15)(表層カバ t	: =3)	10 区画壁	: なし		区画壁	: LGS90下地 GB-F (t=15) (両面張)	[防火改修新設]
4 土間	: ±		土間	: コンクリート土間+防湿シート	[新設]						
5 床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[一部新設(教室)・新設(廊下)]						

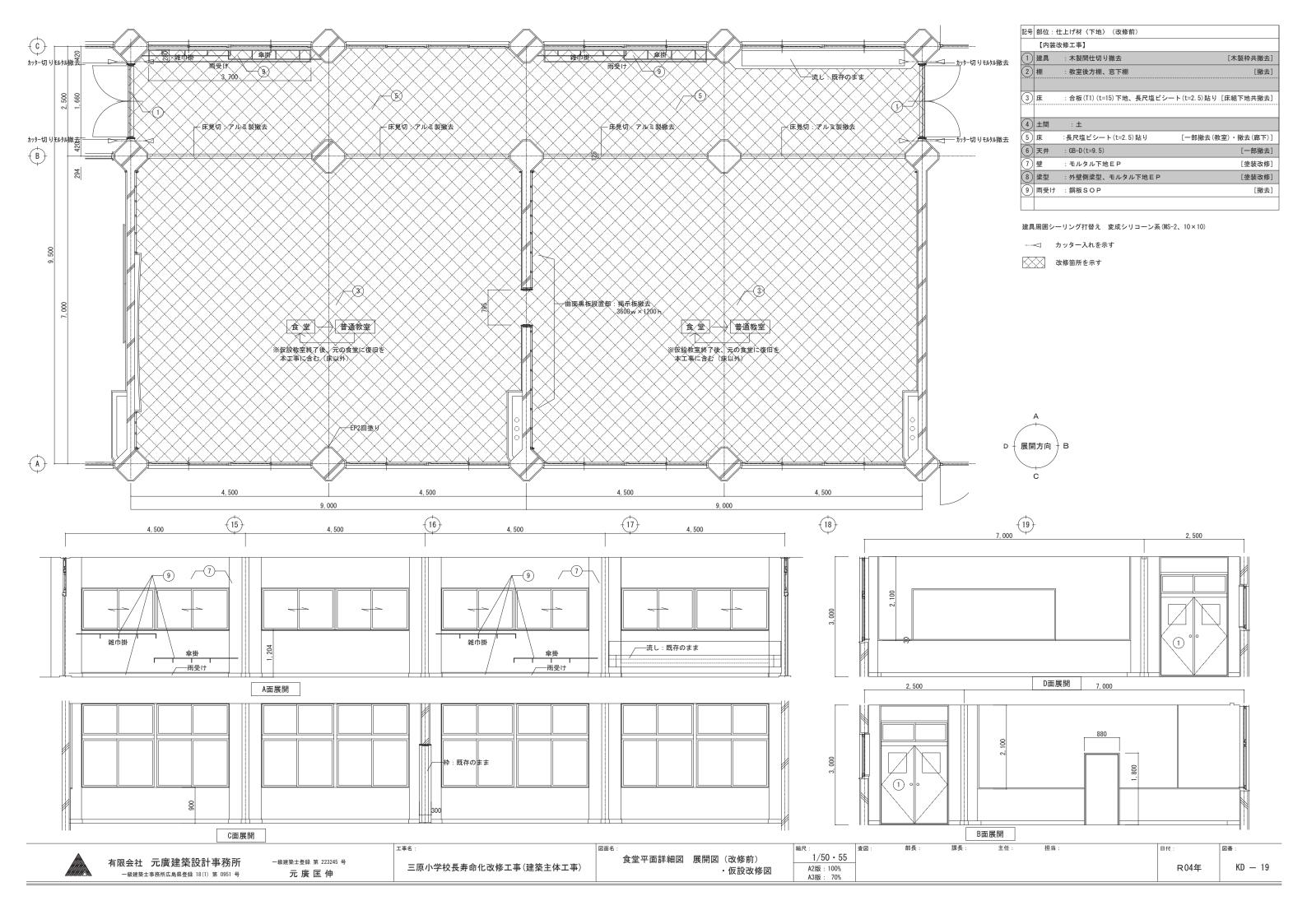


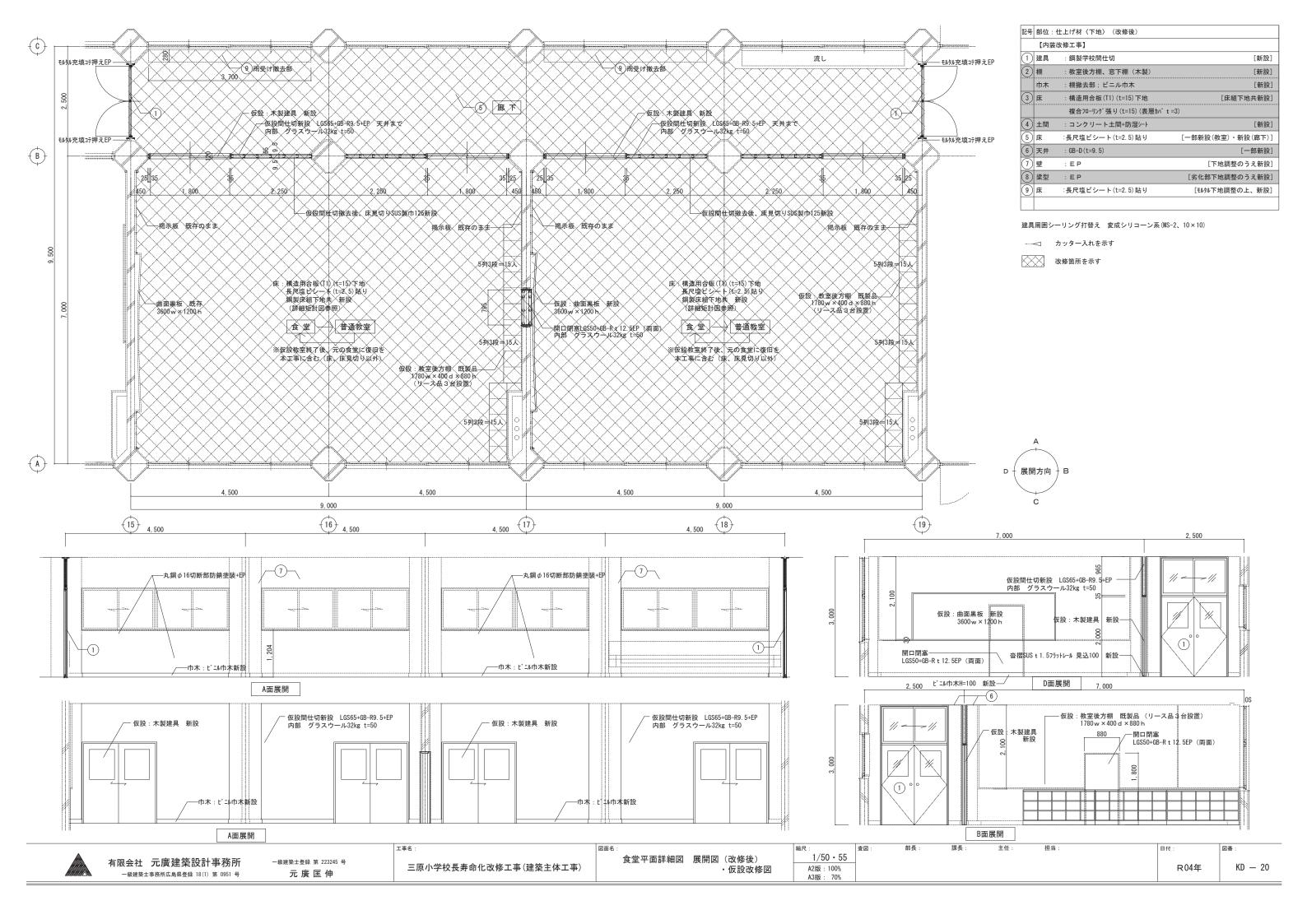
号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前) 【内装改修工事】	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後) 【内装改修工事】	記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前) 【内装改修工事】		部位:仕上げ材〈下地〉(改修後) 【内装改修工事】	
2	建具 : 鋼製学校間仕切 [新設]	6 天井 : GB-D(t=9.5)	[一部撤去]	天井 : GB-D(t=9.5)	[一部新設]
棚 : 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚 : 教室後方棚、窓下棚(木製) [新設]	プ 壁 : モルタル下地EP	[塗装改修]	壁 : E P	[下地調整のうえ新設]
	中木 :棚撤去部;ビニル中木 [新設]	8	[塗装改修]		[劣化部下地調整のうえ新設]
床 : 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]		(9) 雨受け : 鋼板SOP	[撤去]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[モルタル下地調整の上、新設]
	複合フローリング張り(t=15)(表層カパt=3)				
	土間 : コンクリート土間+防湿シート [新設]				
末 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]				
具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10)				掲示板 合板 t 5.5下地共一部撤去	1, 410 220
2900 - 1.800	1,800 1,800 1,800 1,800 1,800 1,800 1,800	3,000	1,120	4,930 80 アルミ枠スチール黒板 2,700 取外し - 1	スポンジシート 撤去 1,110 木見切り撤去
1 2000		1, 270	240 30	1, 230 24 1, 230 24 1, 231	
4, 500	4, 500	2, 500		7, 000	木巾木撤去
(4)	(6)	(C) (B)			(A)
教室A面(改修)	新)1/50	*		教室B面(改修前)1/50	~
	77/ 1/00				1, 410 220
					<u> </u>
		3000 800 75.1 75.0 76.5 76.5 76.5 76.5 76.5 76.5 76.5 76.5	08 0×25S0P新設 0×25S0P新設		1,110 木見切り30× ポリ合板 t = 2
4, 500	4, 500	2, 500	2連5×4	4段=40人— 7,000 — 2	
(4)	(6)	(c) (B)			(A)
<u> </u>					
325 325	後)1/50			教室B面(改修後)1/50	
				,	
200 000 000 000 000 000 000 000 000 000	2	1, 305 001 001 001	6, 285 ルミ枠スチール黒板 3, 600	反 既存のまま 00 1 1,300	本
	24 885 24 885 24 885 24 280 24				
4, 500	4, 500		7, 000		2, 500
4, 500	·	•		•	

| 数室C面 (改修前・後) 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 | 1/50 |

 \bigoplus_{A}

教室D面(改修前・後)1/50

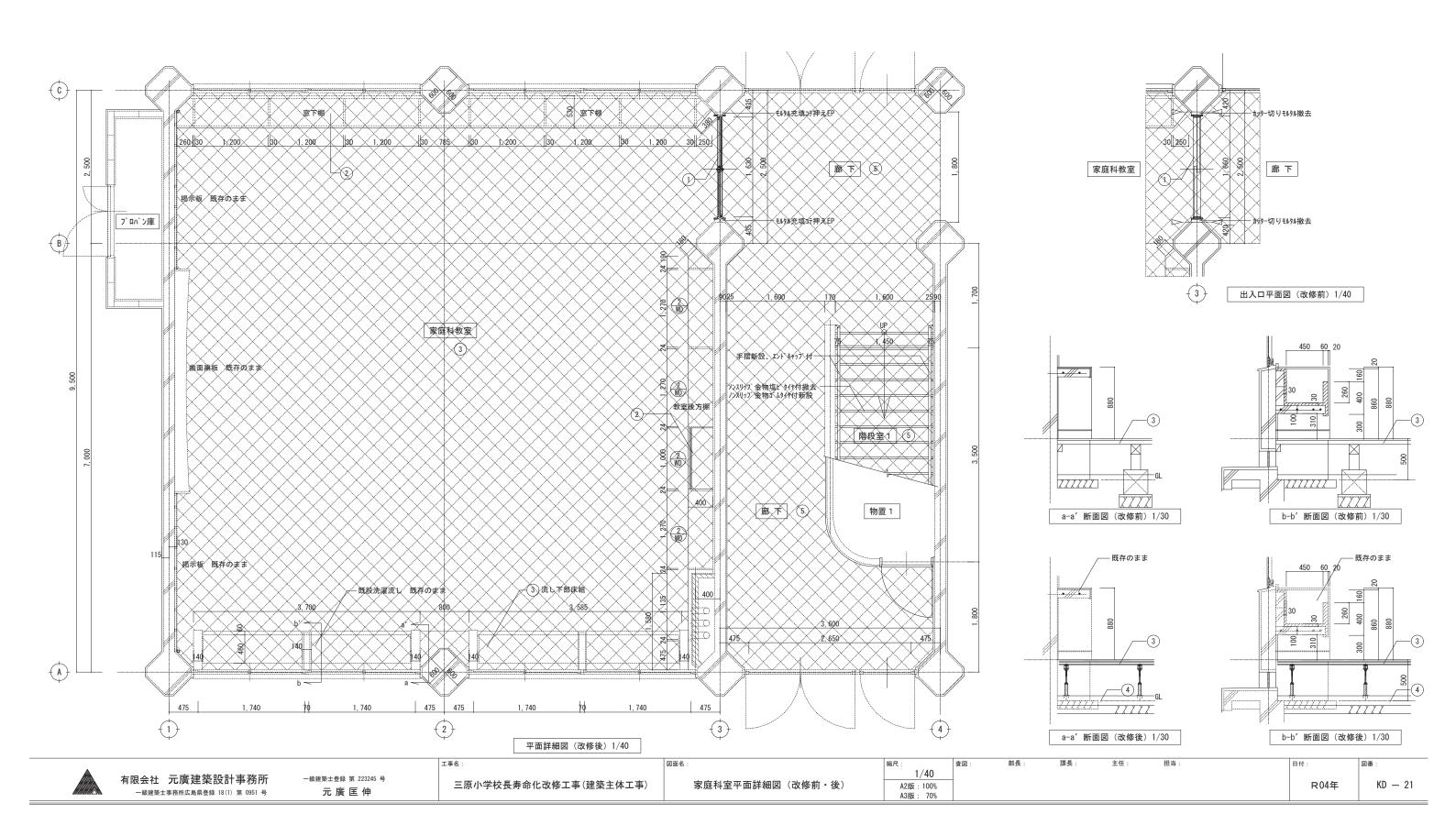


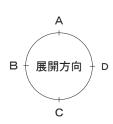


	A
В	展開方向 D
	c

記号部位:作	士上げ材〈下地〉 (改修前)		部位: 仕	上げ材〈下地〉(改修後)	記	号 部位:仕	:上げ材〈下地〉 (改修前)		部位:	仕上げ材〈下地〉(改修後)	
【内装改修工事】		【内装改修工事】			【内装改修工事】			【内装改修工事】			
1 建具	: 木製間仕切り撤去	[木製枠共撤去]	建具	: 鋼製学校間仕切	[新設]	5 天井	: GB-D (t=9.5)	[一部撤去]	天井	: GB-D (t=9.5)	[一部新設]
2 棚	: 教室後方棚、窓下棚	[撤去]	棚	: 教室後方棚、窓下棚(木製)	[新設]	7 壁	:モルタル下地EP	[塗装改修]	壁	: E P	[下地調整のうえ新設]
			巾木	:棚撤去部;ビニル巾木	[新設]	梁型	:外壁側梁型、モルタル下地EP	[塗装改修]	梁型	: E P	[劣化部下地調整のうえ新設]
3 床	: 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシー	ト(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床	: 構造用合板(T1)(t=15)下地	[床組下地共新設]	雨受け	: 鋼板SOP	[撤去]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[モルタル下地調整の上、新設]
				複合フローリング張り(t=15)(表層カバ t =3)							
4 土間	: ±		土間	: コンクリート土間+防湿シート	[新設]						
5 床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[撤去]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[新設]						

建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10) ── カッター入れを示す 改修箇所を示す

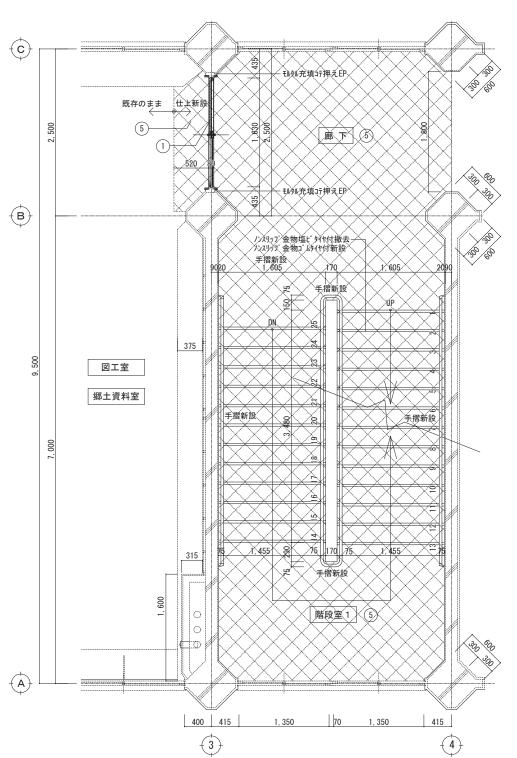




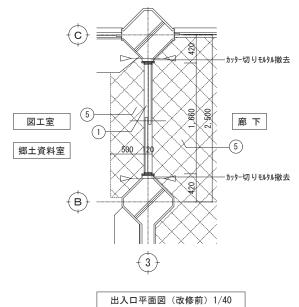
【内装改修工事】 1 建具 : 木製間仕切り撤去 2 棚 : 教室後方棚、窓下棚	[木製枠共撤去] [撤去]	棚:教室後方棚、		6 天井	接改修工事】 - : GB-D(t-9.5) : モルタル下地EP	[一部撤去]	【内装d 天井	改修工事】 : GB-D (t=9.5)	[一部新設]
		棚:教室後方棚、				3 333	天井		3 - 000
② 棚 : 教室後方棚、窓下棚	[撤去]	-	窓下棚(木製) [新記	7)壁	: モルタル下地FP	「涂奘改修」	民会		Company of the second
					. = /* / /* * = /	[主衣吹抄]	至	: EP	[下地調整のうえ新設]
		巾木 :棚撤去部;ビ	ニル巾木 [新記	8 梁型	! : 外壁側梁型、モルタル下地EP	[塗装改修]	梁型	: E P	[劣化部下地調整のうえ新設]
3 床 : 合板(T1)(t=15)下地、長	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床 : 構造用合板(T	1) (t=15) 下地 [床組下地共新記	9 雨受(b(ナ : 鋼板SOP	[撤去]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[モルタル下地調整の上、新設]
		複合フローリング引	長り(t=15)(表層カバt=3)						
4 土間 : 土		土間 : コンクリート	土間+防湿シート [新記]					
5 床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼	50 [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床 :長尺塩ビシート	- (t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下						

建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10) ---< カッター入れを示す

改修箇所を示す



平面詳細図(改修後)1/40



内装工事に支障となる移動家具リスト(改修後復旧)

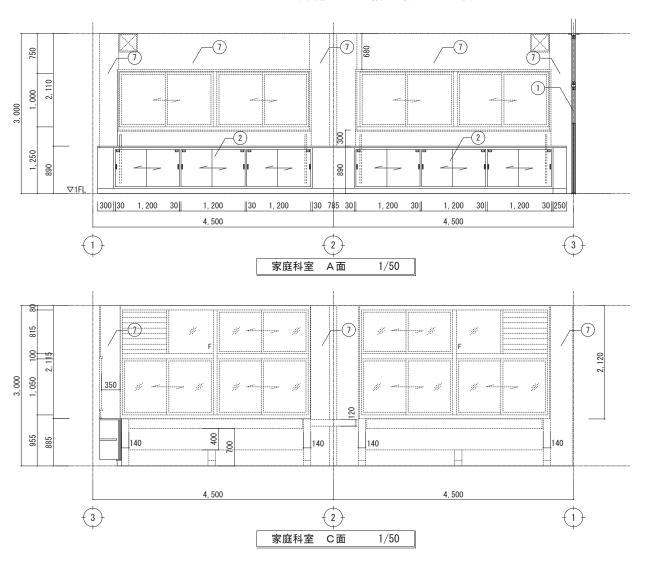
201 4000	;+		各階数量	
移動家具	寸 法	1 階	2 階	3 階
木製ロッカー	1700 w × 300 d × 1050 h	2		
木製棚	1650 w × 330 d × 760 h		4	4
木製棚	1200 w × 290 d × 600 h		1	
木製棚	1000 w × 360 d × 640 h		1	
木製棚	1040 w × 400 d × 1400 h		2	
木製棚	720 w × 310 d × 1700 h		1	
木製棚	950 w × 400 d × 1800 h			1
木製棚	1700 w × 300 d × 1050 h			1
木製棚	470 w × 440 d × 1780 h			1
木製棚	850 w × 450 d × 990 h			1
木製本棚	600 w × 290 d × 1200 h			1
木製掃除具入れ	600 w × 470 d × 1830 h		1	3
鋼製棚	900 w × 400 d × 1260 h		2	
鋼製棚	900 w × 450 d × 1110 h		3	2
鋼製棚	880 w × 400 d × 880 h		1	
鋼製棚	900 w × 330 d × 1270 h			1
鋼製棚	1200 w × 400 d × 880 h			1
鋼製棚	890 w × 510 d × 400 h			1
鋼製掃除具入れ	450 w × 510 d × 1790 h		2	1

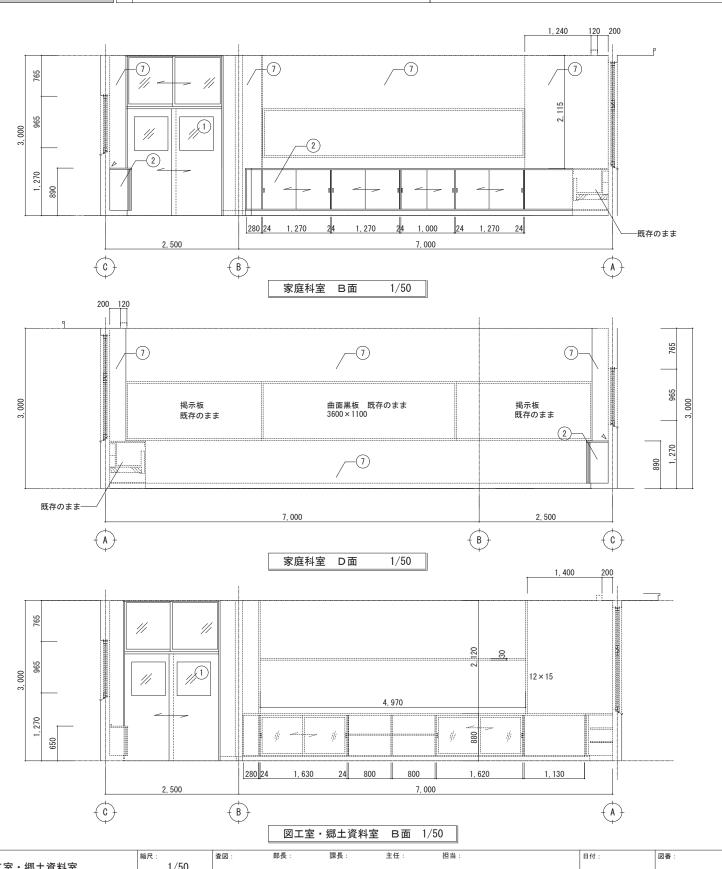
 有限会社 元廣建築設計事務所
 一級建築士登録第 223245 号
 三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)
 図面名:
 図工室・郷土資料室平面詳細図(改修前・後)
 輸尺:
 直図:
 部長:
 課長:
 主任:
 担当:
 日付:
 図番:

 人の機工業年事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号
 元 廣 匡 伸
 三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)
 図工室・郷土資料室平面詳細図(改修前・後)
 名版: 100% A3版: 70%
 A2版: 100% A3版: 70%
 A3版: 70%
 A3版: 70%
 R04年
 KD - 22

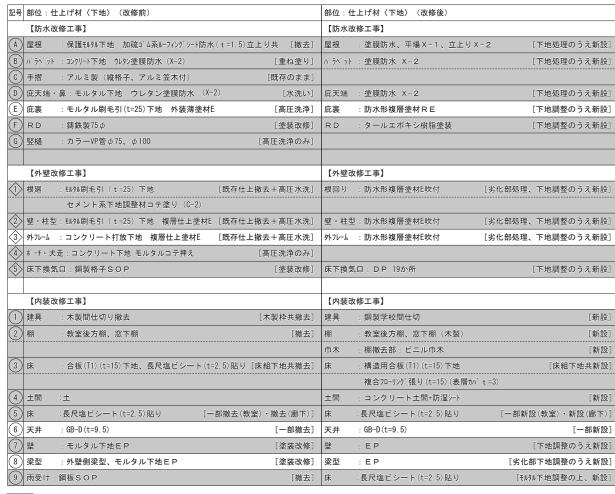
記号	号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前) 部位:仕上げ材〈下地〉(改修後) 間						:上げ材〈下地〉(改修前)		部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)			
	【内装改修工事】			改修工事】		【内装改	修工事】		【内装改	【内装改修工事】		
1	建具	: 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具	: 鋼製学校間仕切	[新設] 6	天井	: GB-D (t=9. 5)	[一部撤去]	天井	: GB-D (t=9. 5)	[一部新設]	
2	棚	: 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚	: 教室後方棚、窓下棚(木製)	[新設] 7	壁	:モルタル下地EP	[塗装改修]	壁	: E P	[下地調整のうえ新設]	
			巾木	:棚撤去部;ビニル巾木	[新設] 8	梁型	:外壁側梁型、モルタル下地EP	[塗装改修]	梁型	: E P	[劣化部下地調整のうえ新設]	
3	床	: 合板 (T1) (t=15) 下地、長尺塩ビシート(t=2.5) 貼り [床組下地共撤去]	床	: 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地	也共新設] 9	雨受け	:鋼板SOP	[撤去]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[モルタル下地調整の上、新設]	
				複合フローリング張り(t=15)(表層カパt =3)								
4	土間	: 土	土間	: コンクリート土間+防湿シート	[新設]							
5	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設	殳(廊下)]							

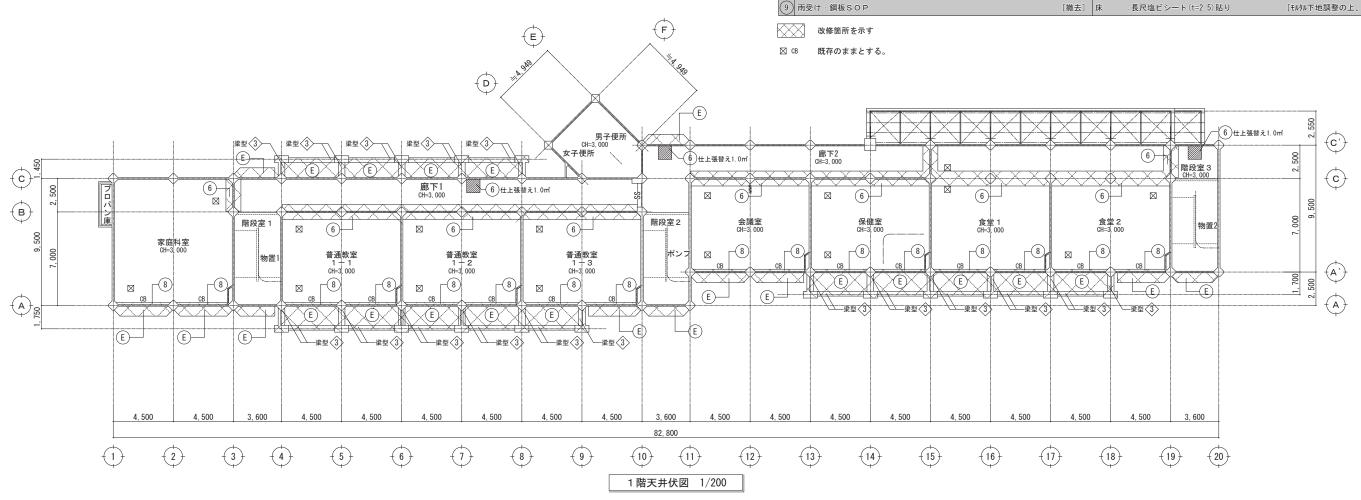
建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10) ----< カッター入れを示す





R04年



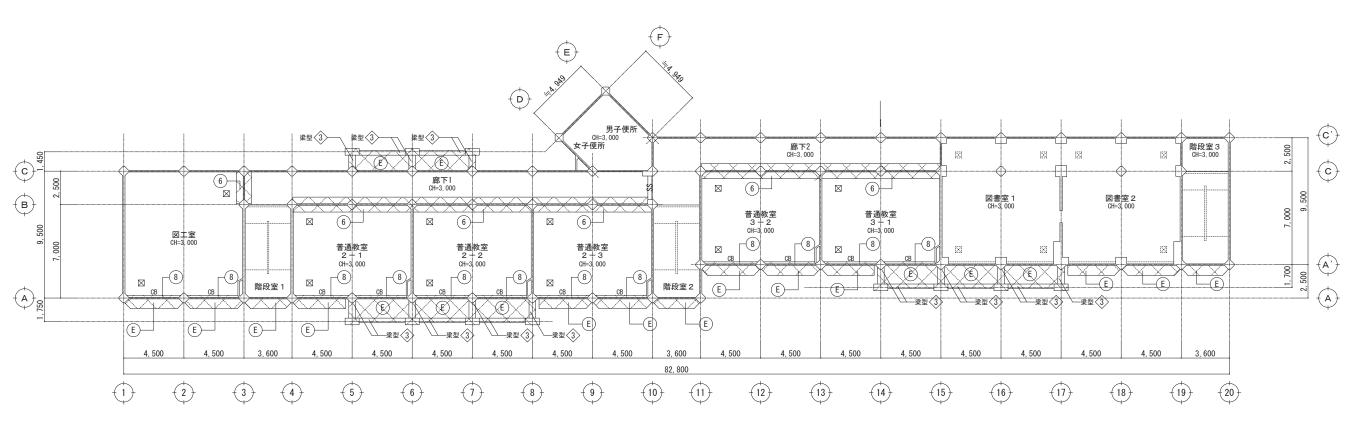


記号	部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)					
	【防水改修工事】	【防水改修工事】					
A	屋根 : 保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフィングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根 : 塗膜防水、平場 X-1、立上り X-2 [下地処理のうえ新設]					
B	パラペット : コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	パラペット : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]					
<u>C</u>	手摺 : アルミ製(縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]						
(D)	庇天端・鼻:モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端 : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]					
E	庇裏 : モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏 : 防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]					
F	RD : 鋳鉄製75 φ [塗装改修]	RD : タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]					
G	竪樋 : カラーVP管 ϕ 75、 ϕ 100 [高圧洗浄のみ]						
	【外壁改修工事】	【外壁改修工事】					
$\langle 1 \rangle$	根廻 : モルタル刷毛引 (t =25) 下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根回り : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]					
	セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)						
2>	壁・柱型: モルタル刷毛引 (t =25) 下地 複層仕上塗材 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型:防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]					
3>	外フレーム : コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]					
4>	ポーチ・犬走:コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]						
\$	床下換気口:鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口: DP 19か所 [下地調整のうえ新設]					
	【内装改修工事】	【内装改修工事】					
1	建具 : 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具 : 鋼製学校間仕切 [新設]					
2	棚 : 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚 : 教室後方棚、窓下棚(木製) [新設]					
		巾木 :棚撤去部;ビニル巾木 [新設]					
3	床 : 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床 :構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]					
		複合フローリング張り(t=15)(表層カパt=3)					
4	土間 :土	土間 : コンクリート土間+防湿シート [新設]					
5	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]					
6	天井 : GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井 : GB-D(t=9.5) [一部新設]					
7	壁 : モルタル下地EP [塗装改修]	壁 : EP [下地調整のうえ新設]					
8	梁型 : 外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型 : EP [劣化部下地調整のうえ新設]					
9	雨受け:鋼板SOP [撤去]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]					

⋈ CB 既存のままとする。

1/200

A2版:100% A3版: 70%



2 階天井伏図 1/200

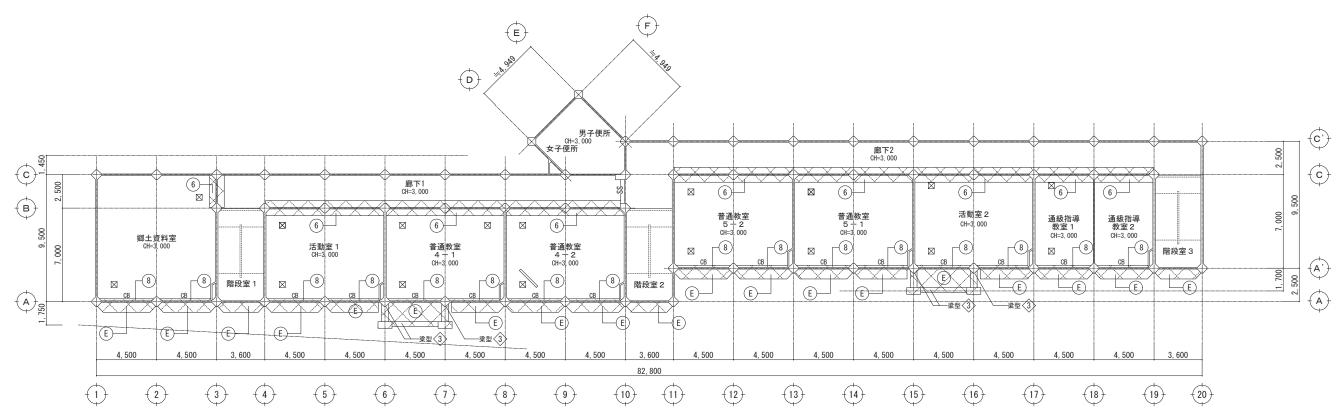


査図:	部長:	課長:	主任:	担当:

KD - 25

記号	部位:仕	上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕	:上げ材〈下地〉(改修後)				
	【防水改	7修工事】	【防水改	修工事】				
A	屋根	: 保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフィングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根	: 塗膜防水、平場 X-1、立上りご	X-2 [下地処理のうえ新設]			
B	ハ°ラヘ°ット	: コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	ハ゜ラヘ゜ット	: 塗膜防水 X-2	[下地処理のうえ新設]			
(C)	手摺	: アルミ製(縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]						
(D)	庇天端・	鼻:モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端	: 塗膜防水 X-2	[下地処理のうえ新設]			
E	庇裏	: モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏	: 防水形複層塗材RE	[下地調整のうえ新設]			
F	RD	: 鋳鉄製75 φ [塗装改修]	RD	: タールエポキシ樹脂塗装	[下地調整のうえ新設]			
G	竪樋	: カラーVP管 φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]						
	【外壁改	7修工事】	【外壁改	修工事】				
\bigcirc	根廻	: ₹ルタル刷毛引(t =25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根回り	:防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]			
		セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)						
2>	壁・柱型	: EMAN刷毛引 (t =25) 下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型	!: 防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]			
3	外フレーム	: コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム	: 防水形複層塗材E吹付	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]			
4	ポーチ・犬	走:コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]						
5	床下換気	[宣装改修]	床下換気	口: DP 19か所	[下地調整のうえ新設]			
	【内装改	7修工事】	【内装改修工事】					
(1)	建具	: 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具	: 鋼製学校間仕切	[新設]			
(2)	棚	: 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚	: 教室後方棚、窓下棚(木製)	[新設]			
			巾木	:棚撤去部;ビニル巾木	[新設]			
(3)	床	: 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床	: 構造用合板(T1)(t=15)下地	[床組下地共新設]			
				複合フローリング張り(t=15)(表層カハ	\^ t =3)			
<u>(4)</u>	土間	: 主	土間	: コンクリート土間+防湿シート	[新設]			
(5)	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[一部新設(教室)・新設(廊下)]			
6	天井	: GB-D (t=9. 5) [一部撤去]	天井	: GB-D (t=9. 5)	[一部新設]			
(7)	壁	: モルタル下地EP [塗装改修]	壁	: E P	[下地調整のうえ新設]			
(8)	梁型	: 外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型	: E P	[劣化部下地調整のうえ新設]			
9	雨受け:	鋼板SOP [撤去]	床	:長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	[モルタル下地調整の上、新設]			

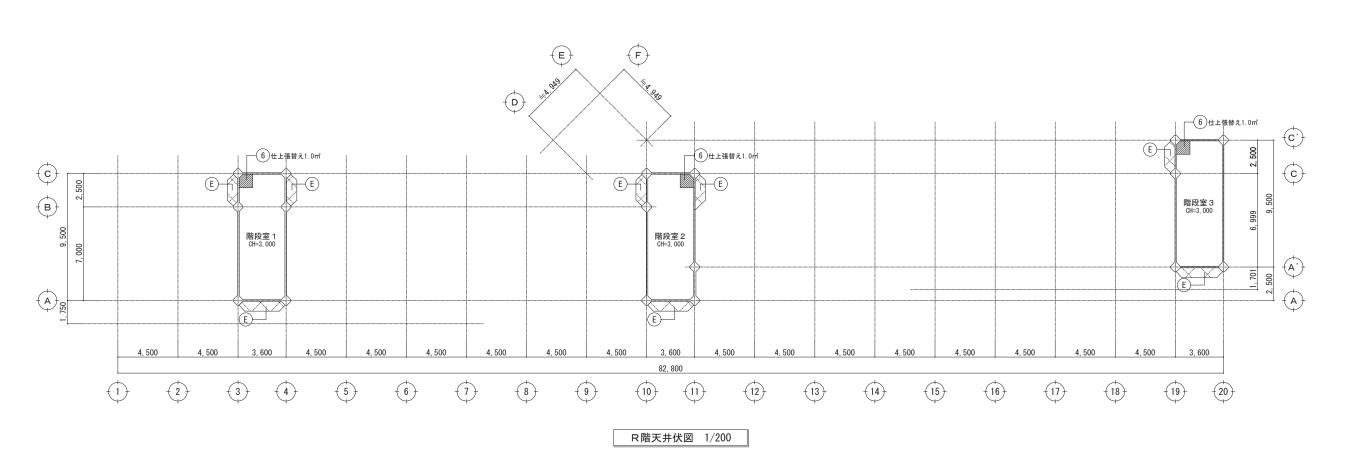
⊠ CB 既存のままとする。

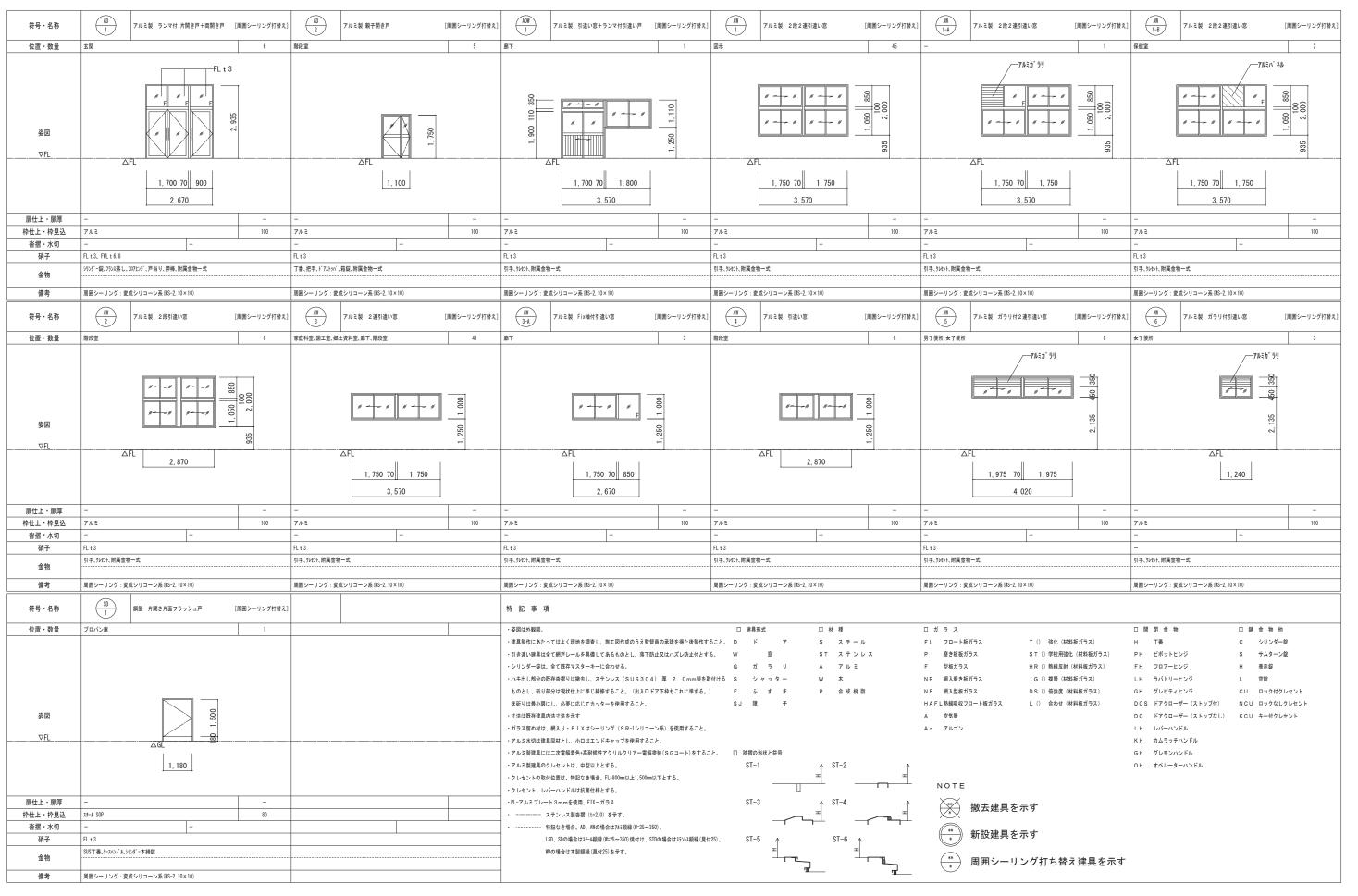


3 階天井伏図 1/200

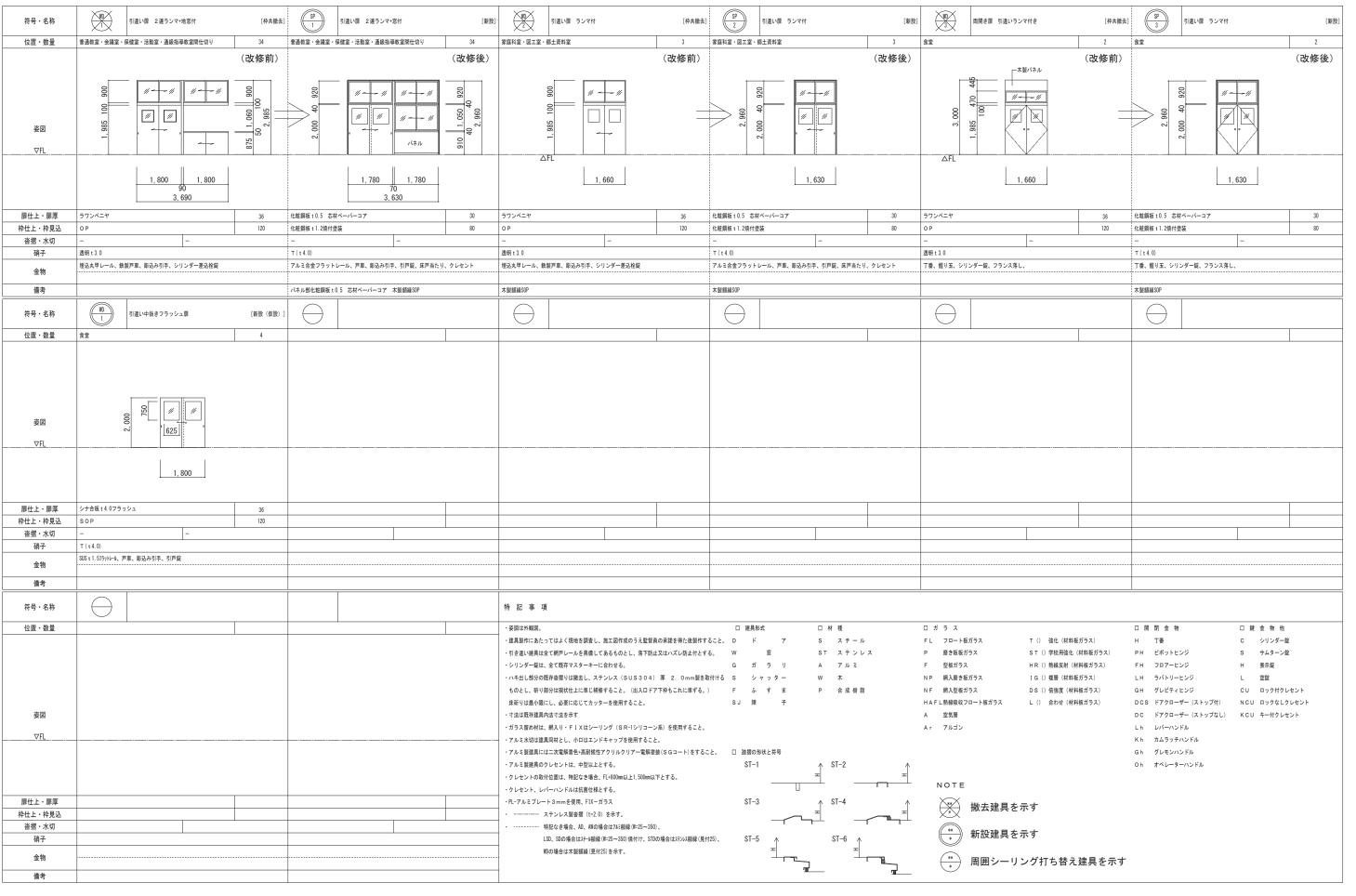


引部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)					
【防水改修工事】	【防水改修工事】					
屋根 :保護モルタル下地 加硫コ゚ム系ルーフィングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根 : 塗膜防水、平場 X-1、立上り X-2 [下地処理のうえ新設]					
n゚ラペット : コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	パラペット : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]					
手摺 : アルミ製 (縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]						
底天端・鼻:モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端 : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]					
庇裏 : モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏 : 防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]					
RD : 鋳鉄製75φ [塗装改修]	RD : タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]					
竪樋 : カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]						
【外壁改修工事】	【外壁改修工事】					
▼ 根廻 : モルタル刷毛引(t =25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根回り : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]					
セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)						
◇ 壁・柱型:モルタル刷毛引 (t=25) 下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型:防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]					
外フレーム : コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム:防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]					
▶ ポーチ・犬走:コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]						
床下換気口:鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口: DP 19か所 [下地調整のうえ新設]					
【内装改修工事】	【内装改修工事】					
建具 : 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具 : 鋼製学校間仕切 [新設]					
棚 : 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚 : 教室後方棚、窓下棚(木製) [新設]					
	巾木 :棚撤去部;ビニル巾木 [新設]					
床 : 合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床 : 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]					
	複合フローリング張り(t=15)(表層カパt =3)					
土間 :土	土間 : コンクリート土間+防湿シート [新設]					
床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]					
天井 : GB-D(t=9.5)	天井 : GB-D(t=9.5) [一部新設]					
壁 : モルタル下地EP [塗装改修]	壁 : EP [下地調整のうえ新設]					
梁型 : 外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型 : E P [劣化部下地調整のうえ新設]					
雨受け: 鋼板SOP [撤去]	床 :長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]					

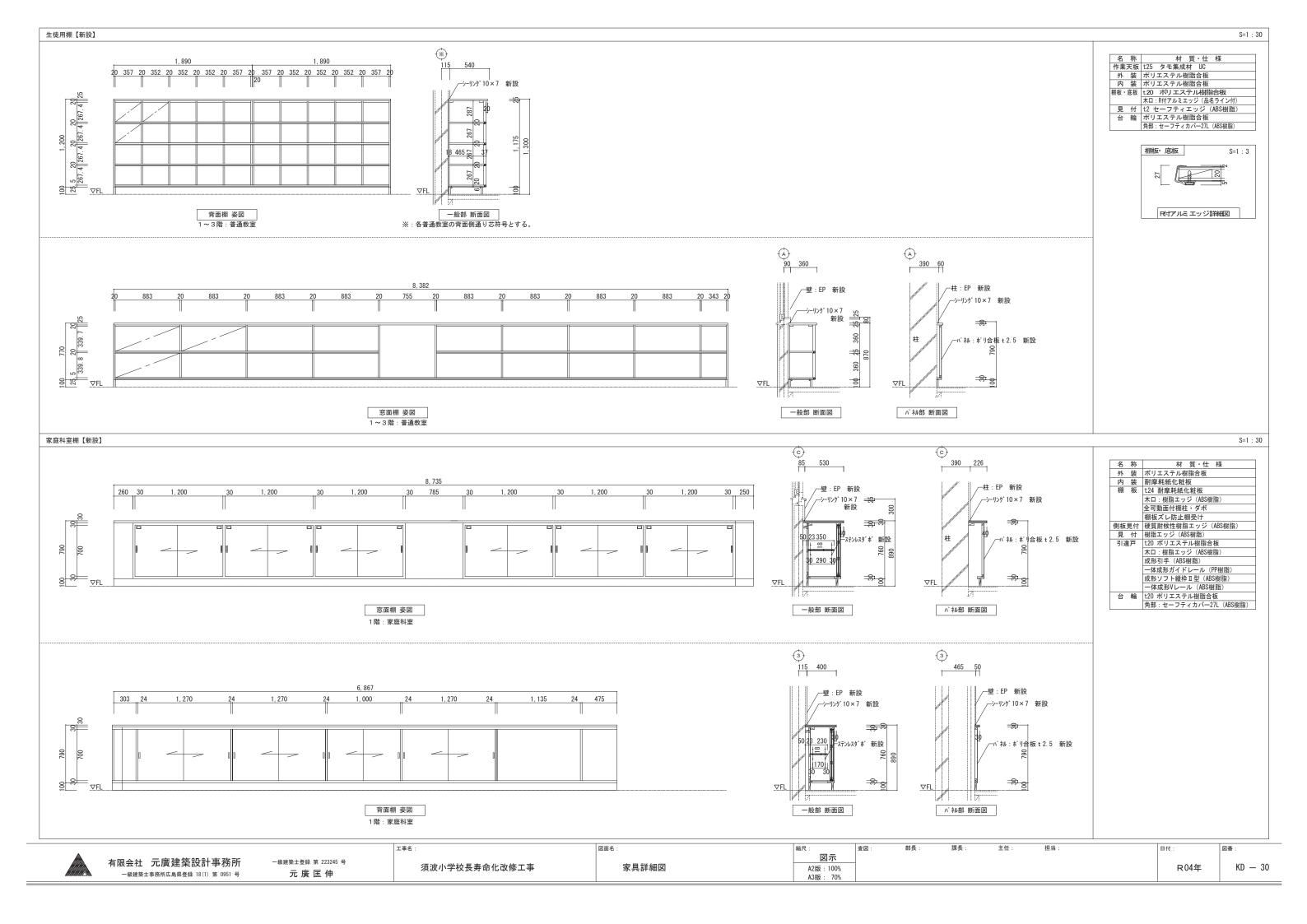


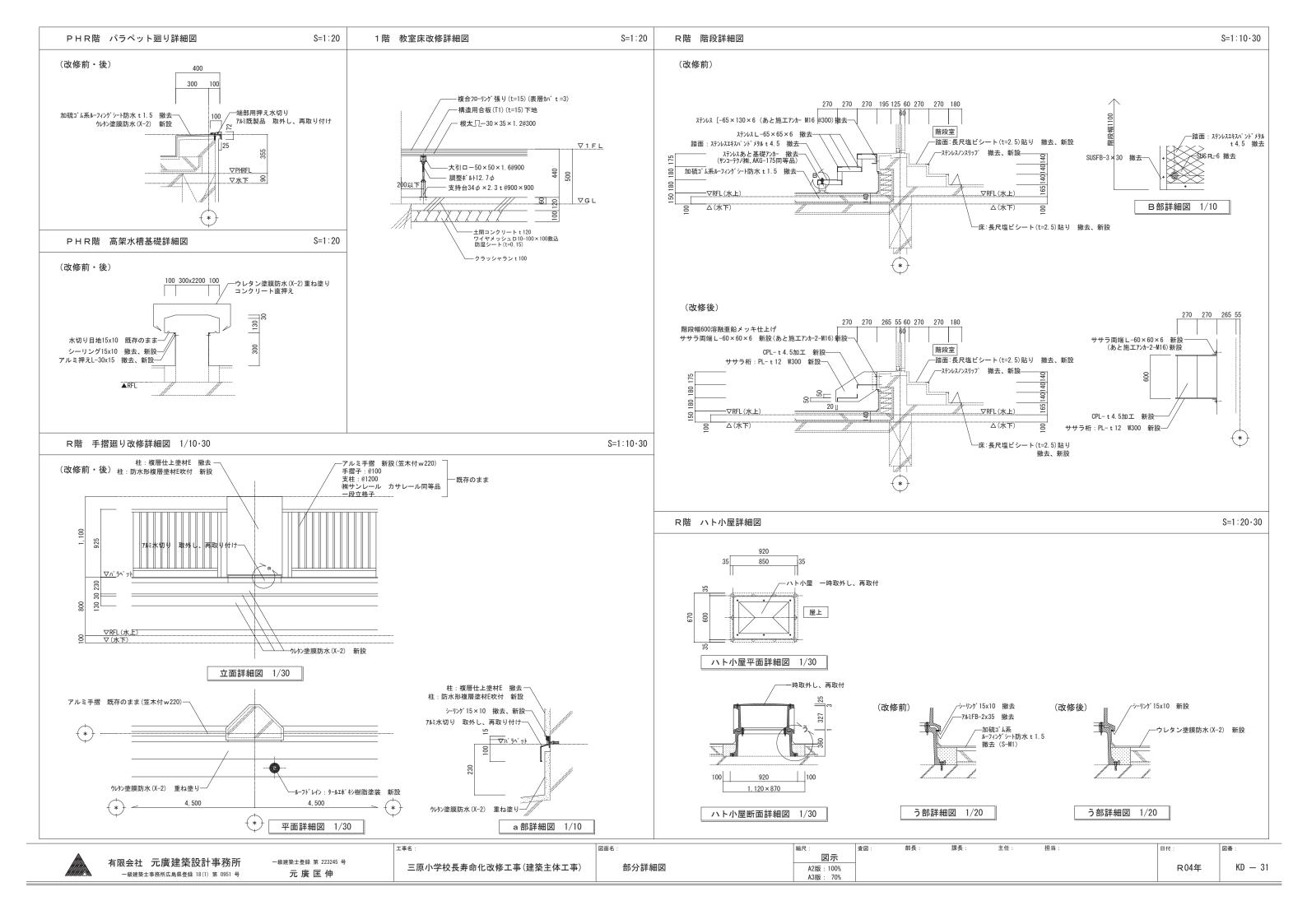


KD — 28



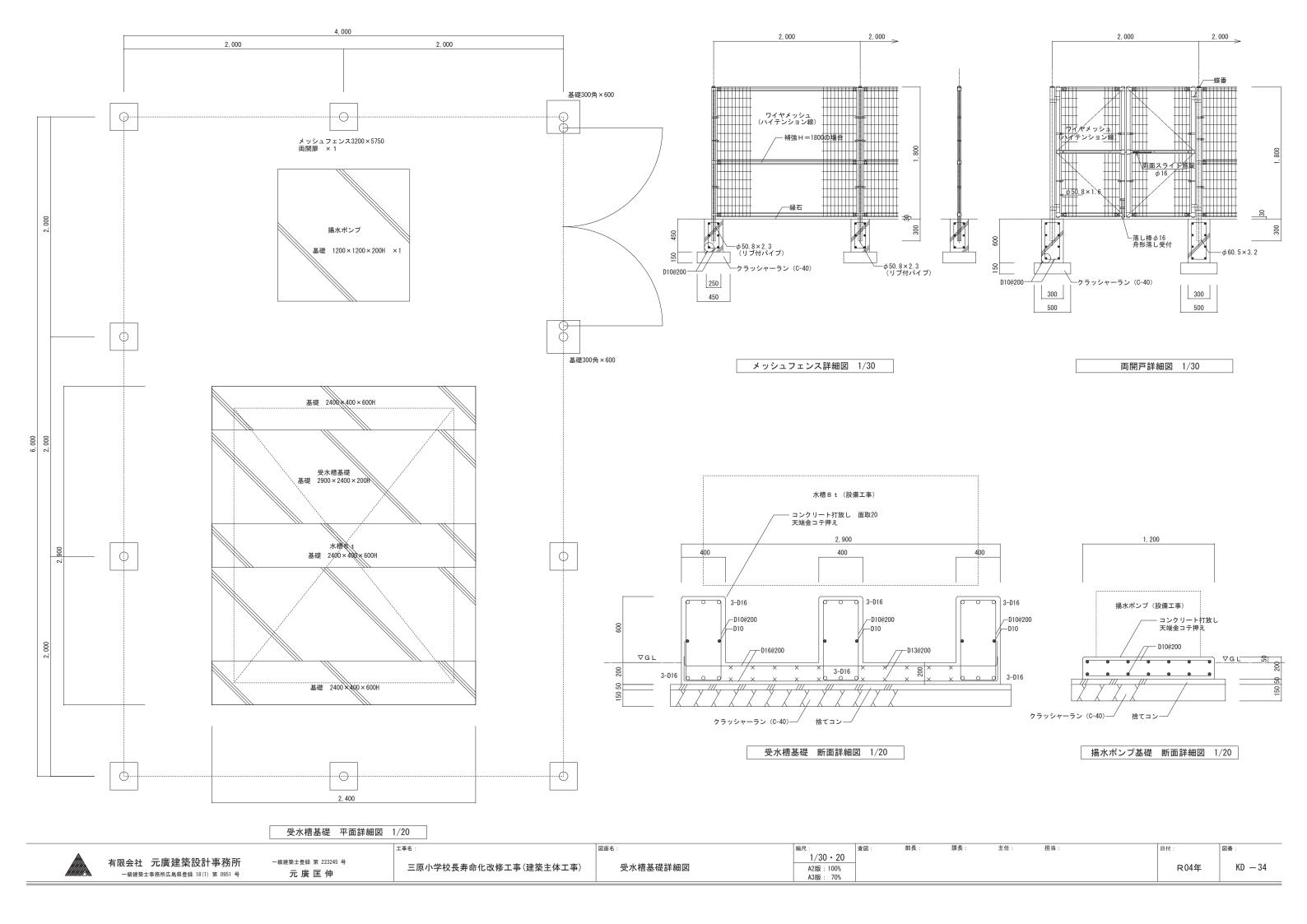
	査凶:	: 武衛	
00%			
70%			

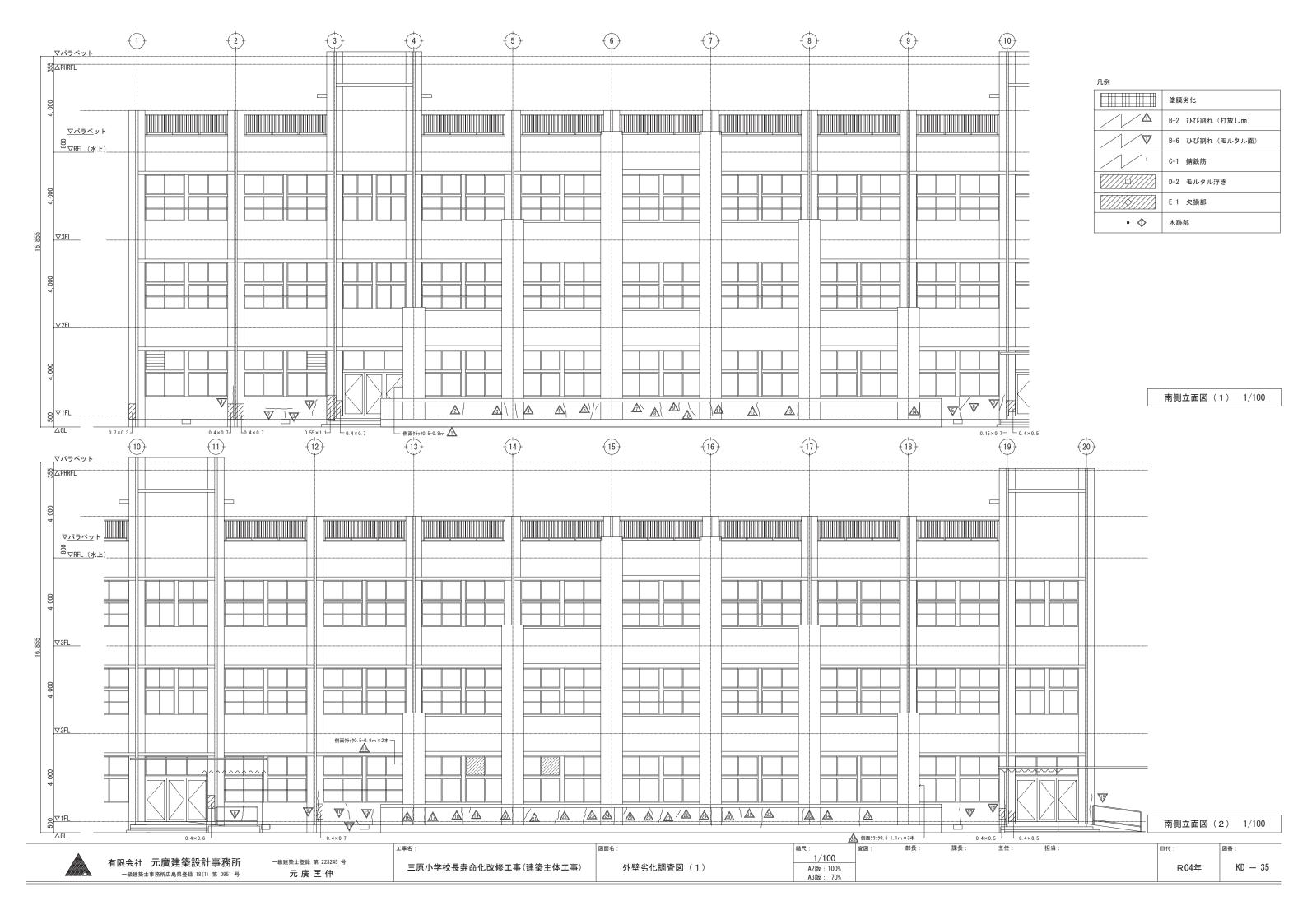


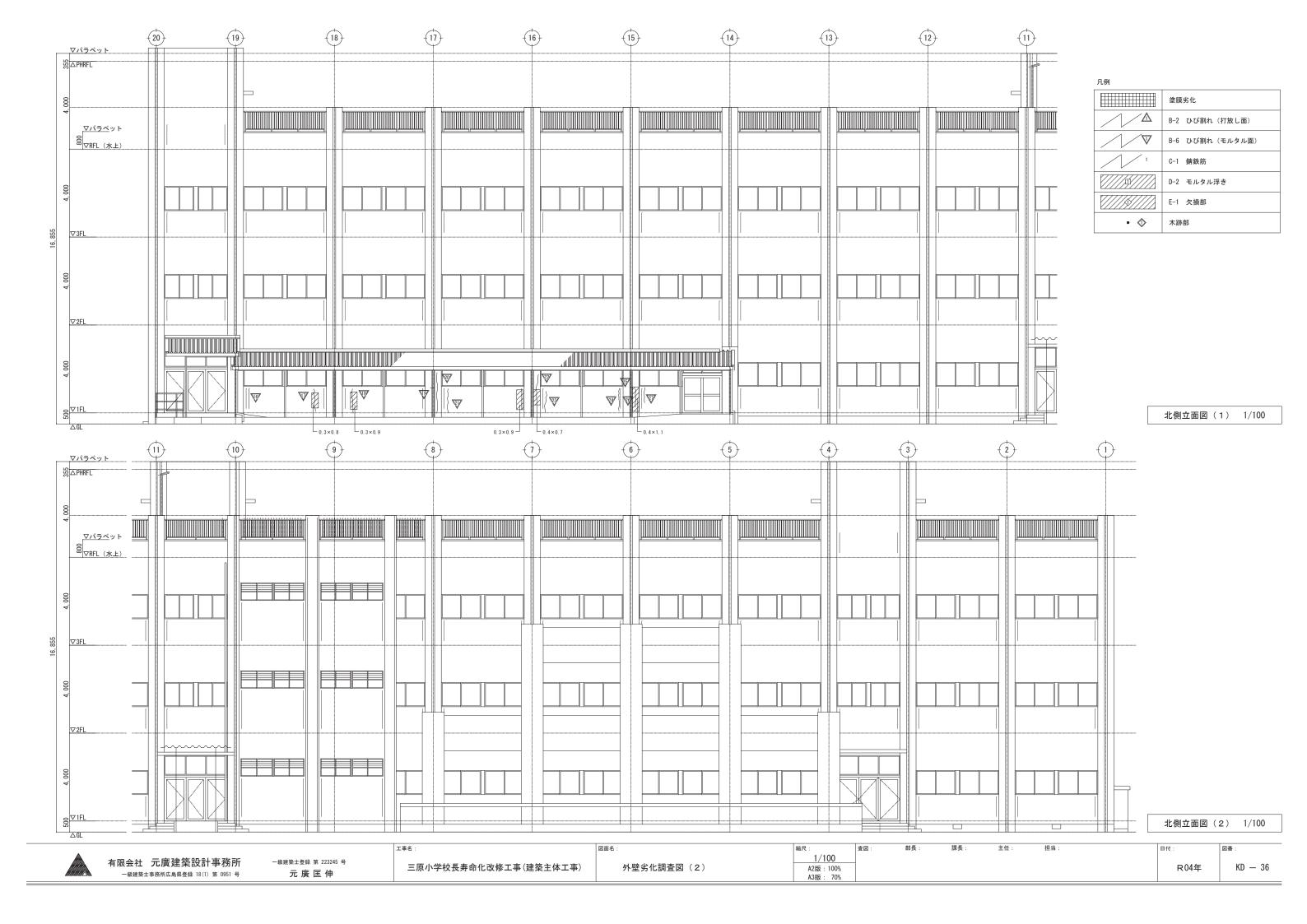


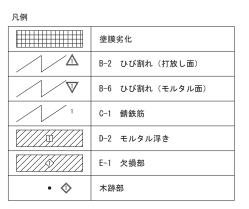


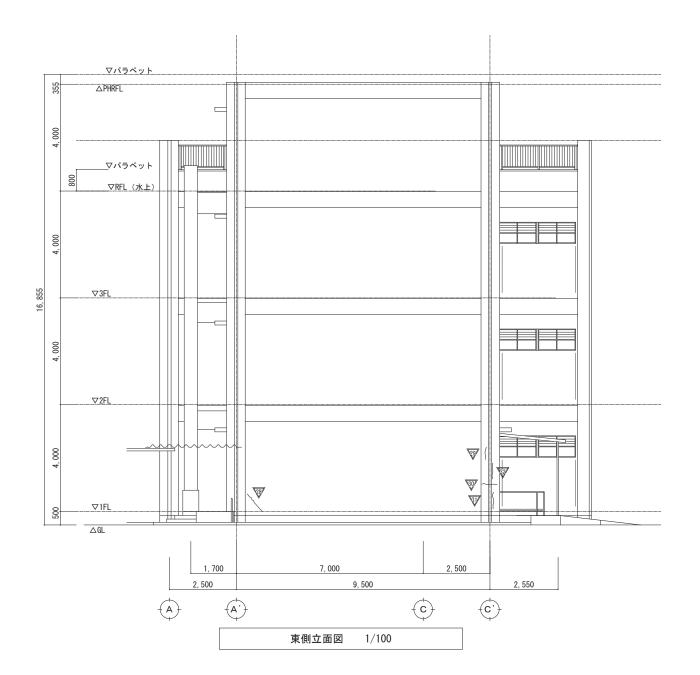


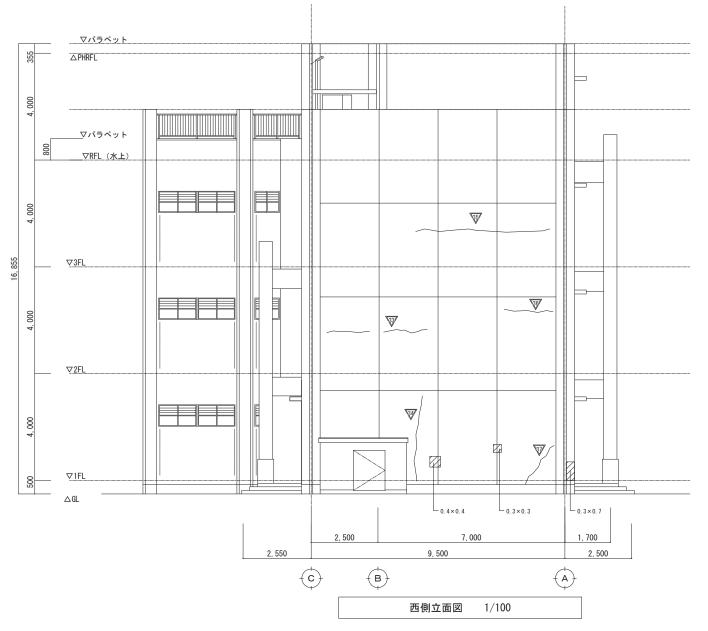






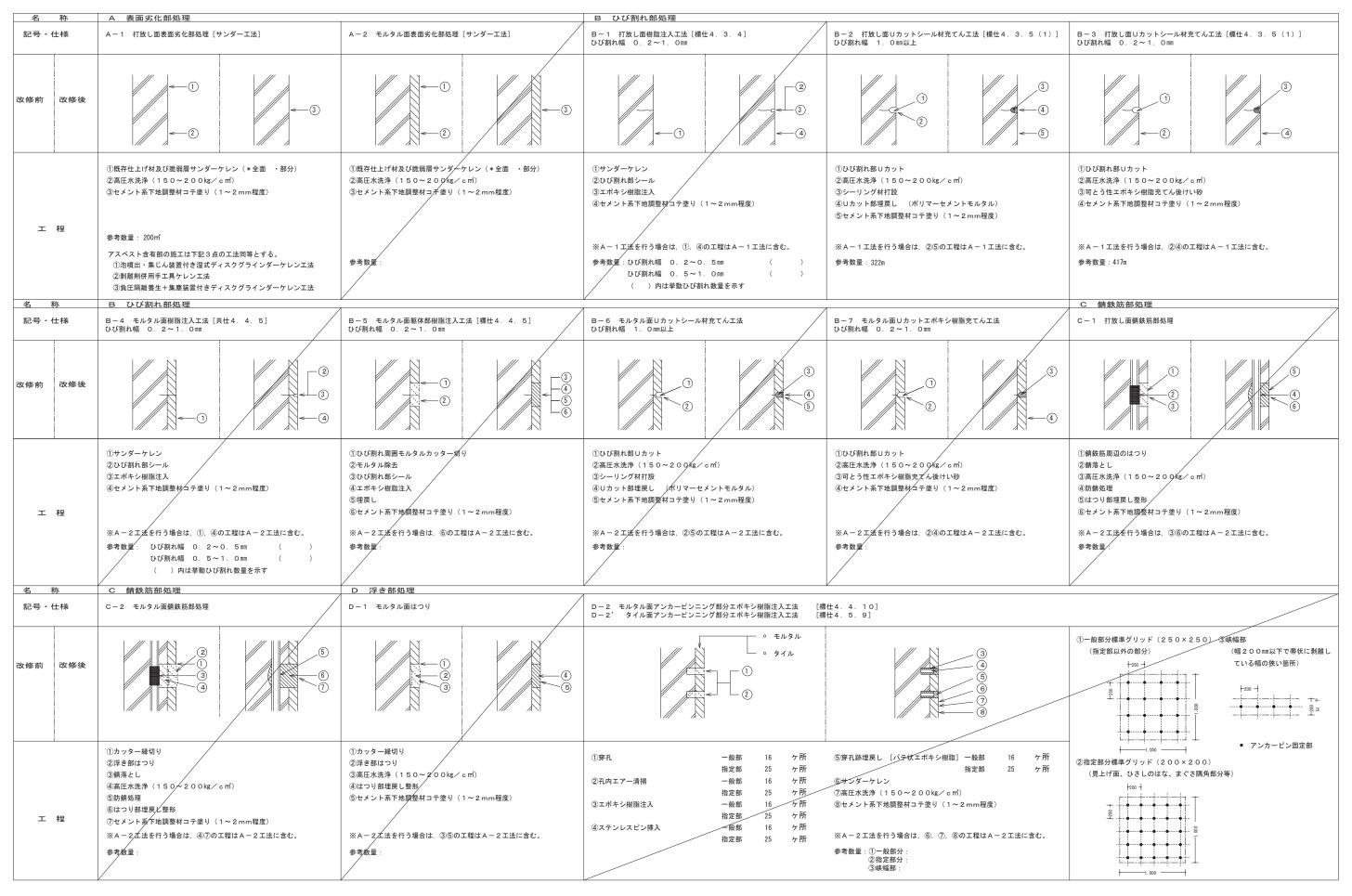






1/100

主任:





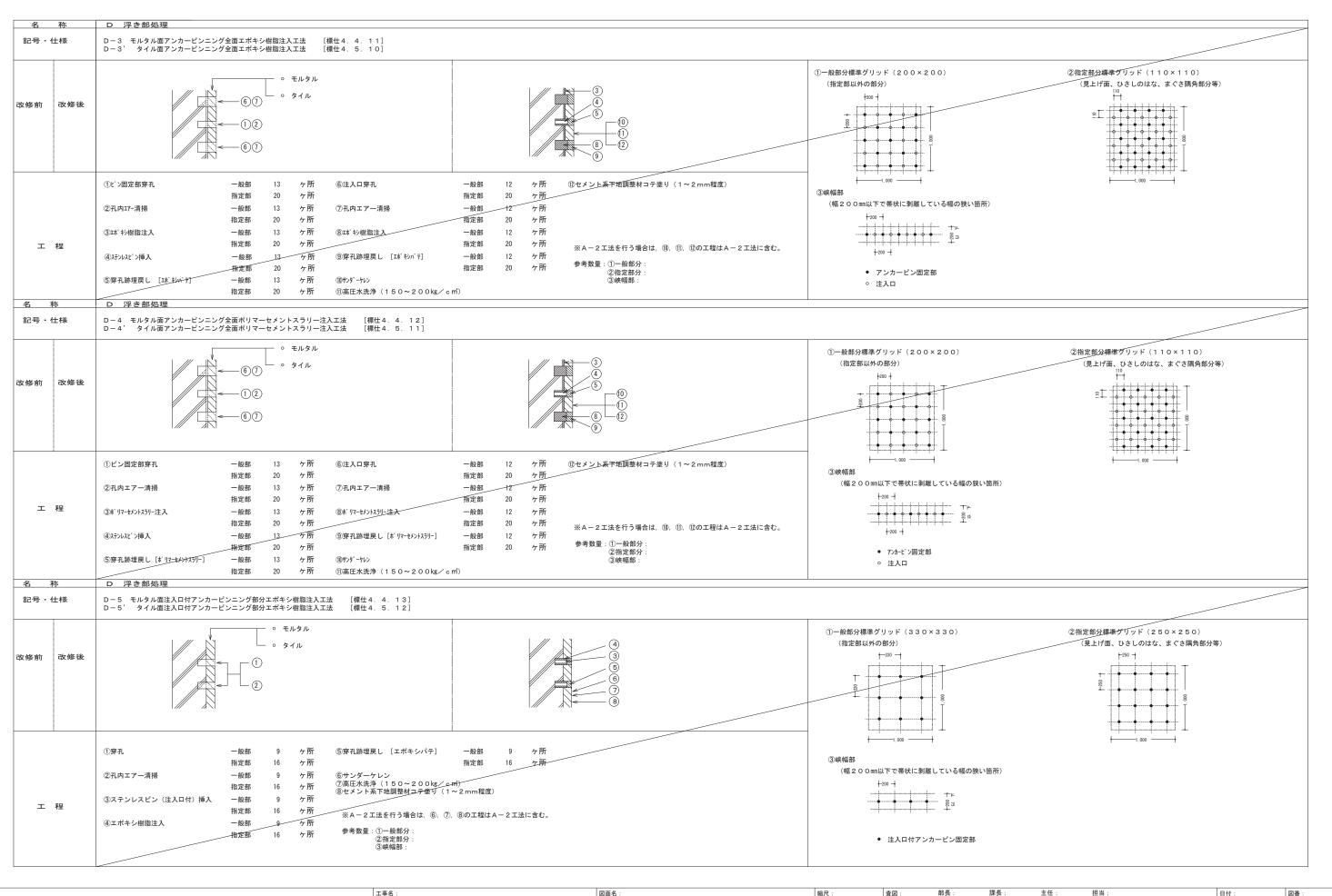
図面名

A2版:100%

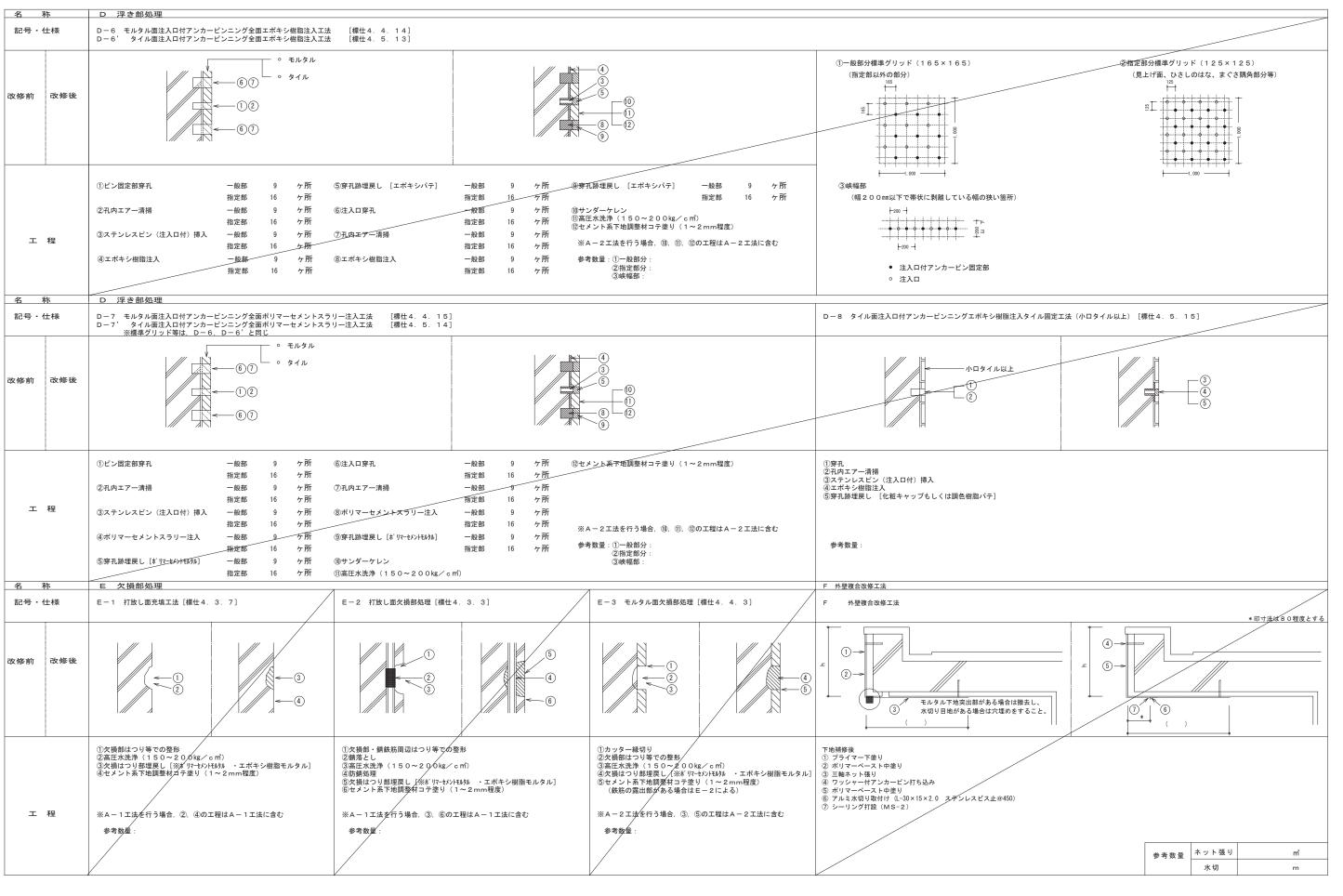
A3版: 70%

部長

R04年









縮尺:

A2版:100%

A3版: 70%

図番

外 部 仕 上 表 改修内容 改修後仕上 備考 部 分 改修前仕上 改修前仕上 改修工法 改修後仕上 備考 部 位 改修工法 部 位 部 分 改修内容 塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 アスファルトルーフィング22kg 塗装改修 下地調整のうえ新設 遮熱塗装 壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 劣化部処理、下地調整のうえ新設 防水形複層塗材E ポーチ塀 屋根 屋根 既存のまま 着色木毛マグネシウム板(t25)下地 笠木:防水モルタル金ごて(t30) 洗浄 高圧水洗浄 既存のまま (R第0065号30分耐火) (T型ジョイナー使用) 巾木:モルタル金ごて(t30)H=400 洗浄 高圧水洗浄 床:モルタル金ごて(t30) 洗浄 高圧水洗浄 既存のまま 犬走り 段鼻:ノンスリップ磁器タイル貼 シート防水(t=1.5) シルバー仕上 均しモルタル(t=30) 撤去 劣化部処理、下地処理のうえ新設 塗膜防水 X-2 大屋根谷樋 床:モルタル金ごて(t=30) 段鼻:ノンスリップ磁器タイル貼 高圧水洗浄 既存のまま 犬走階段 シート防水(t=1.5) シルバー仕上 均しモルタル(t=30) 撤去 劣化部処理、下地処理のうえ新設 塗膜防水 X-2 壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 笠木 A-1 劣化部処理、下地調整のうえ新設 防水形複層塗材E 器具庫屋根 スラブコンクリート(t130~190) 巾木:モルタル金ごて(t30) 既存のまま 洗浄 高圧水洗浄 手摺:スチールパイプ50φ0P 手摺柱:スチールパイプ50φ0P 下地調整のうえ新設 DP 塗装改修 シート防水(t=1.5) シルバー仕上 均しモルタル(t=30) 撤去 劣化部処理、下地処理のうえ新設 塗膜防水 X-2 手摺子:丸鋼13φ0P@150 塗装改修 下地調整のうえ新設 DP 犬走り 庇 スラブコンクリート(t130~190) 床:縞鋼板 塗装改修 下地調整のうえ新設 DP 出入ロスロース 劣化部処理、下地処理のうえ新設 手摺:スチールパイプ50φ0P 手摺柱:スチールパイプ50φ0P 防水モルタル金ごて(t=30) 洗浄 途障防水 X-2 F通庇 軒裏:コンクリート素面アクリルリシン吹付 劣化部処理、下地調整のうえ新設 外装薄塗材E コンクリート素面アクリルリシン吹付 A - 1 軒裏 (アスベスト含有) 塗装改修 下地調整のうえ新設 DΡ 塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4@450 折板屋根 カラー折板(t=0.8、H=87@200) 塗装塗替え 下地調整のうえ新設 下屋 屋根 劣化部撤去、新設 アルミ亜鉛合板めっき鋼板(t0.8、H=85 働き巾W=600) 部分取替 柱:H-125×125×5×7 OP 塗装塗替え 下地調整のうえ新設 柱・梁 梁:H-200×100×5.5×8 0P 竪樋:VUφ75 撤去 竪樋: VP φ 75 カラー SUS製掴み金物共 樋 軒樋:硬質塩ビ120×90×1.5 軒樋:箱樋 支持金物共 コンクリート打放し アクリルリシン吹付 A - 1 劣化部処理、下地調整のうえ新設 防水形複層塗材E 外壁 (アスベスト含有) コンクリート打放し アクリルリシン吹付 劣化部処理、下地調整のうえ新設 防水形複層塗材E A - 1 柱型 コンクリート打放し アクリルリシン吹付 劣化部処理、下地調整のうえ新設 防水形複層塗材E A - 1 梁型 梁天端:防水モルタル金ごて(t30) 劣化部処理、下地処理のうえ新設 塗膜防水 X-2 洗浄 モルタル金ごて(t30) H=650 高圧水洗浄 既存のまま 洗浄 根廻 竪樋:VU100φ 保護パイプ125φ0P H=1,500 支持金物共新設 竪樋:カラーVP100φ 保護管125φSOP H=1,500 撤去 雨樋 RD:鋳鉄製100φ(シート防水用) 改修用ドレン:100φ(塗膜防水用) 床下:鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部ステンレス 清掃 既存のまま 換気口 防虫鋼付) 妻壁:アルミガラリ400×800×4ヶ所 —— 略号凡例 (内部ステンレス防虫鋼付) 特記事項 その他 床:モルタル金ごて(t30) 段鼻:ノンスリップ 磁器タイル貼 高圧水洗浄 既存のまま SOP 合成樹脂調合ペイント塗り SUS ステンレス 洗浄 ポーチ 下駄箱:57>0P W1,920×D300×H1,090 8ヶ EP-G つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り シーリング EP 合成樹脂エマルションペイント塗り RD ルーフドレン

		工事名:	図面名:	縮尺:	査図:	部長:	課長:	主任:	担当:	日付:	図番:
有限会社 元廣建築設計事務所 -級建築士事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号	-級建築士登錄 第 223245 号 元 廣 匡 伸	三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)	外部仕上表	— A2版:100% A3版: 70%						R04年	0D — 04

DP 耐侯性塗料塗り

AE アクリル樹脂エナメル塗り

FD フロアドレン

G. P 配管用炭素鋼鋼管

床:/ンスリップシート貼 モルタル金ごて(t30)下地

| 出入口踏み台 | | 投鼻: 7ルミ/ンスリップ クッフキマット:塩ビ製450×900×12ヶ

枠:ステンレス見切縁10×18

高圧水洗浄

既存のまま

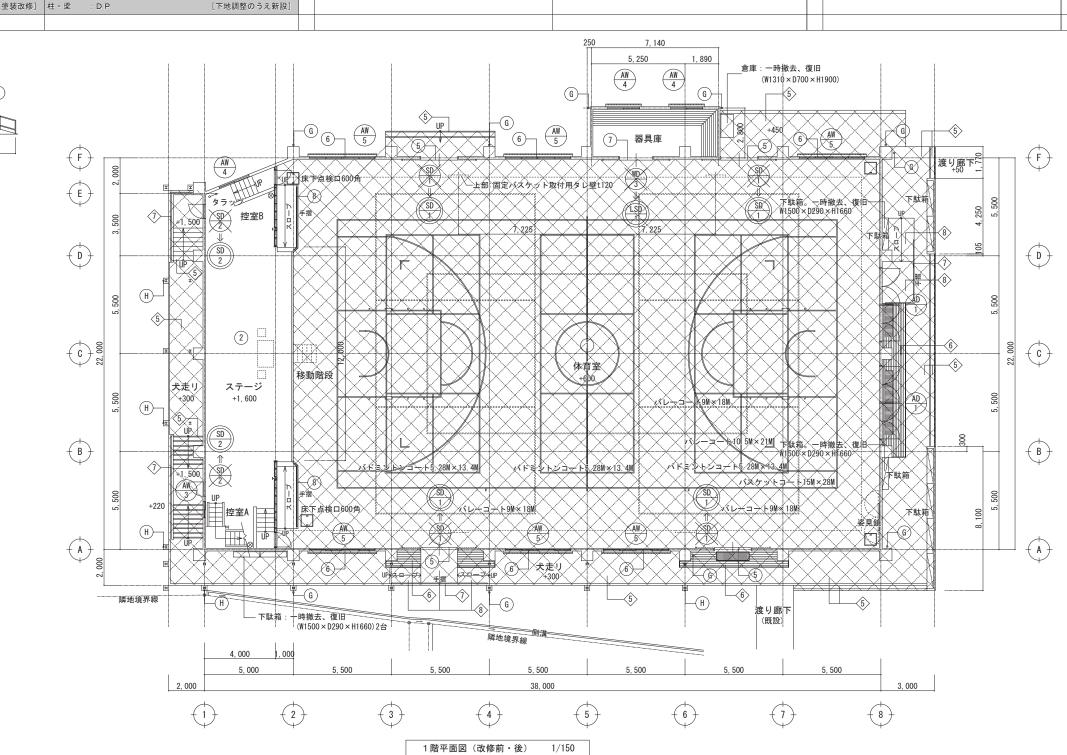
内 部 仕 上 表 カーテンホ・ックス 環境 測定 カーテン取付板 (特記1-14) 腰 壁 廻縁 天井高 室 名 備 考 [撤去] 下地 仕 上 下地 仕 上 仕 上 1 体育室 改修前 S ブナ化粧複合フローリング(t=15) [劣化部撤去(40枚)] C 米栂(t=25) OP H=100 C 松化粧複合フローリング(t=8.5) 縦張 S 屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし 体育器具 防球ネット 移動式階段 - 姿見鏡:W1,500×H1,200×1ヶ所 床下点検口:600×600×4ヶ所 ラワン耐水合板(t=15)下地 ステージ側上部:ラワン合板(t=5.5)下地 クロス貼 ギャラリー下部:コンクリート素面アクリルリシン吹付 0 鋼製床下地(ゴムクッション付) 放送室下部:シナ合板(t=6)目スカシ0P カーテンレール 暗幕 鋼製引分戸:扉4ヶ所[扉のみ撤去] C [既存のまま] S [既存のまま] 改修後 S 研磨、コートライン引き [新設] C SOP [塗装改修] 鋼製引分戸:扉4ヶ所 1液湿気型ウレタン塗料3回塗り - 地窓:網戸6か所 複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)] 改修前 W ブナ化粧複合フローリング(t=15) ステージ C·W 米栂(t=25) OP H=100 C モルタル金ごて(t=20)VP (コンクリート部分) S 屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし 演台(既成品)W1,200×D460×H1,000×1ヶ ラワン耐水合板(t=15)下地 W シナ合板(t=6)目スカシOP (木軸部分) 花台(既成品)W450×D450×H600×2ヶ ステージ幕一式 上部ブドウ棚:チッカーR-4.5FP 手摺:スチールパイプ50φFP 改修後 W [既存のまま] C·W [既存のまま] C [既存のまま] S[既存のまま] 手摺:スチールパイプ50 o SOP W [既存のまま] 控室A 改修前 W ブナ化粧複合フローリング(t=15) C·W 米栂(t=25)0P H=100 C モルタル金ごて(t=20) VP (コンクリート部分) S 放送室床材現わし カーテンレール 暗幕 2, 540 ラワン耐水合板(t=15)下地 W シナ合板(t=6)目スカシOP (木軸部分) 0 改修後 W [既存のまま] C·W [既存のまま] C [既存のまま] S [既存のまま] W [既存のまま] 控室B 改修前 W ブナ化粧複合フローリング(t=15) C·W 米栂(t=25)0P H=100 C モルタル金ごて(t=20)VP (コンクリート部分) C ギャラリー下部:コンクリート素面 カーテンレール 暗幕 ラワン耐水合板(t=15)下地 W シナ合板(t=6)目スカシOP (木軸部分) アクリルリシン吹付 - タラップ:スチールパイプ50φFP 踏棒:丸鋼13φFP@300 改修後 W [既存のまま] C·W [既存のまま] C [既存のまま] C [既存のまま] W [既存のまま] ステージ下部収納庫 改修前 C モルタル金ごて(t=30) C·W 米栂(t=25)0P H=100 S·W ステージ下部現わし 椅子庫(台車式)5列 改修後 C [既存のまま] C·W [既存のまま] S·W 「既存のまま」 器具庫 棚: ラワン合板(t=4) 改修前 C モルタル金ごて(t=30) C 米根(t=25)0P H=100 C モルタル金ごて(t=20)VP C 着色木毛マグネシウム板(t=25)打込 3, 045 - 室名札 木製建具1か所 [塗装改修] C [既存のまま] 改修後 C [既存のまま] C [既存のまま] C 戸袋部のみ:下地調整のうえEP 鋼製軽量建具1か所 [新設] 放送室 改修前 W ブナ化粧複合フローリング(t=15) W 米栂(t=25) OP H=100 W 有孔シナ合板(t=6)目スカシ0P S 屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし タラップ:スチールパイプ50φFP 踏棒:丸鋼13φFP@300 グラスウール(t=25) 0 - カーテンレール 暗幕 改修後 W [既存のまま] W [既存のまま] W [既存のまま] S[既存のまま] 2 ギャラリー 改修前 C モルタル金ごて(t=30)目地切 W 米栂(t=25) OP H=100 W 有孔シナ合板(t=6)目スカシ0P S 屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし カーテンレール 暗幕 0 改修後 C [既存のまま] W [既存のまま] S [既存のまま] W [既存のまま]

略号	凡例					I	防火材料認定番号		特記事項		L	,	
下	地			塗 装			石こうボード (9.5)	準不燃 QM-9828	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新力	たに仕上を新設する場合。			
С	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP 合成樹脂調合ペイント	UС	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード (12.5)	不燃 NM-8619	既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、ス	スクレーパー及びディス・	クサンダー等を用い、		
СВ	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	化粧石こうボード (9.5)	準不燃 QM-9824	新規仕上げの施工に支障のないよう、適切な下地補修を行うこと	٤			
М	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シージング石こうボード	NAD アクリル樹脂系非水分散系塗料	os	オイルステイン	ロックウール化粧吸音板 (12)	不燃 NM-8599	※表中の[一部〇〇] の範囲は、図示による				
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	DP 耐候性塗料	WP	木材保護塗料			※図中〈OO〉は下地を示す				
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G つや有り合成樹脂エマルションペイント	7 0	の 他			※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと				
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	EP 合成樹脂エマルションペイント		シーリング(種別は特記仕様書による)			※化学物質の濃度測定は屋内運動場1か所とする。				
LGS'	薄型軽量鉄骨下地	FK	けい酸カルシウム板	EP-T 合成樹脂エマルション模様塗料	GW	グラスウール				-	-		

1/ .		보다.
	_	
A2版	: 100%	
AOUE	700/	

R04年

記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前) 部位:仕上	仕上げ材〈下地〉(改修後)	号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後) 記	記号 部位:仕上げ材〈下地〉 (改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)
【防水改修工事】 【防水改修工事】	改修工事】	【外壁改修工事】	【外壁改修工事】	【内装改修工事】	【内装改修工事】
A 屋根 :塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 アスファルトルーフィンヴ22kg [塗装改修] 屋根	: 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	1) 根回り : モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り : 高圧水洗 既存のまま	1 体育室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	体育室床:研磨、コートライン引き
着色木毛マグネシウム板(t25)下地		② 壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁: 防水形複層塗材E吹付[劣化部処理、下地調整のうえ新設]	ラワン耐水合板(t =15)下地	、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設]
B 下屋屋根 :ルーフデッキ(t=0.8) [塗装改修] 下屋屋根	根:DP [下地調整のうえ新設]	③ 梁天端 : 防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端 : 塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]		複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
C 屋根・樋・庇: シート防水(t=1.5) シルバ−仕上 均しモルタル(t=30)[撤去] 屋根・樋・頂	通·庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設] ✓	4 床下換気口:鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部ステンレス防虫鋼付)[清掃]	床下換気口: 既存のまま 2	2 ステージ・控室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床: 既存のまま
D F通り庇:防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ] F通り庇	庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	妻壁:アルミカ゚ラリ400×800×4ヶ所			
E 軒裏 : コンクリート素面アクリルリシン吹付[吹付材撤去] 軒裏	: 外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]	がーチ床:モルタル金ごて(t=30) 段鼻:/ンスリップ磁器タイル貼[洗浄]	ポーチ床: 高圧水洗浄 既存のまま	3 器具庫壁: モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁:戸袋部、EP [下地処理のうえ新設]
F 笠木:塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4@450[塗装改修] 笠木	: DP [下地調整のうえ新設]	6 出入口踏み台床:/ンスリップシート貼 モルタル金ごて(t=30)下地 段鼻:アルミ/ンスリップ[洗浄]	出入口踏み台:高圧水洗浄 既存のまま 4	4 体育室巾木:米栂(t=25) O P H=100 [塗装改修]	体育室巾木:SOP [下地処理のうえ新設]
G 竪樋 :VU100φ 保護パイプ125φ0P H=1,500 [撤去] 竪樋:カラー゙	カラ-VP100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]	データ 手摺:スチールパイプ50φ0P 支柱:スチールパイプ50φ0P 手摺子:丸鋼13φ0P@150[塗装改修]	手摺 : DP (5	5 体育室建具 : 鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具:鋼製引分戸 扉 [新設]
H 竪樋 :VU75 φ [撤去] 竪樋 : カラー-	カラ-VP75φ [新設(支持金物共)]	 出入口スロープ床:縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床: DP	6 体育室地窓	体育室地窓:網戸 [新設]
[RD :鋳鉄製100φ(シート防水用) [撤去] 改修用ドレ	Bドレン:100φ75φ(塗膜防水用) [新設]		(7	7 器具庫建具:木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具:鋼製軽量建具 [新設]
J 軒樋 : 硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去] 軒樋	:箱樋 [新設(支持金物共)]		(8	8 手摺 : スチールパイプ45 φ S O P [塗装改修]	手摺 : SOP [新設]
K 柱:H-125×125×5×7 OP、梁:H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修] 柱・梁	: DP [下地調整のうえ新設]			_	



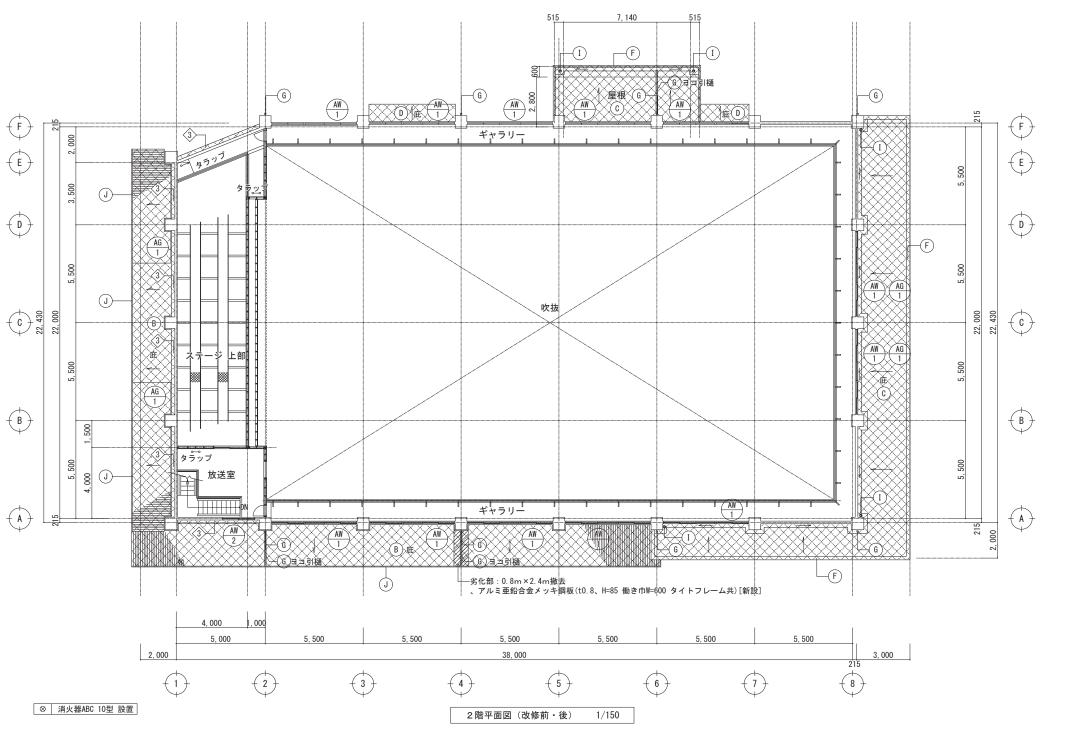
** * 建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系 (MS-2、10×10)

撤去建具を示す。

** * 新設建具を示す。

内部スロープ手摺 立面図

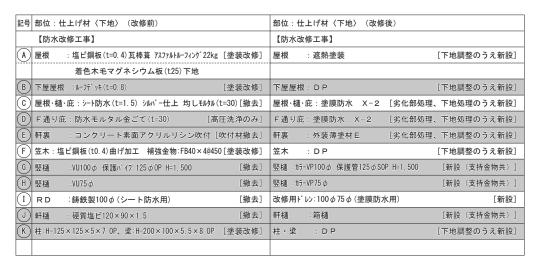


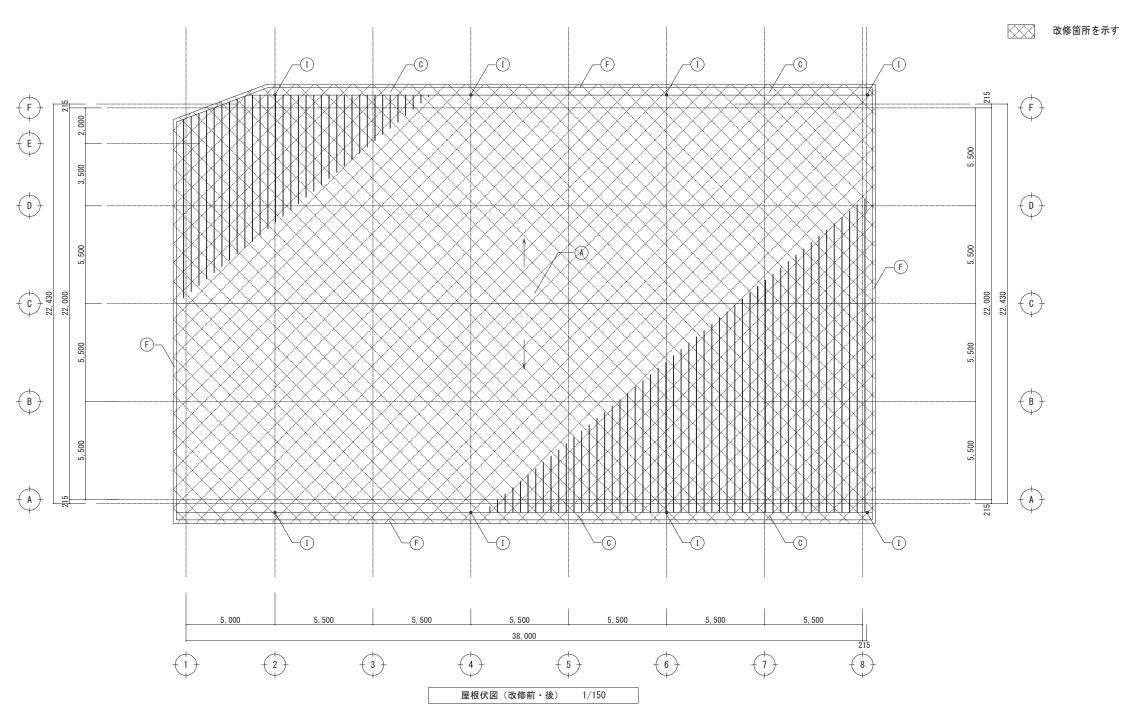


撤去建具を示す。

新設建具を示す。

建具周囲シーリング打替え 変成シリコーン系(MS-2、10×10)





有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号 一級建築士登録 第 223245 号 元廣匡伸

三原小学校長寿命化改修工事

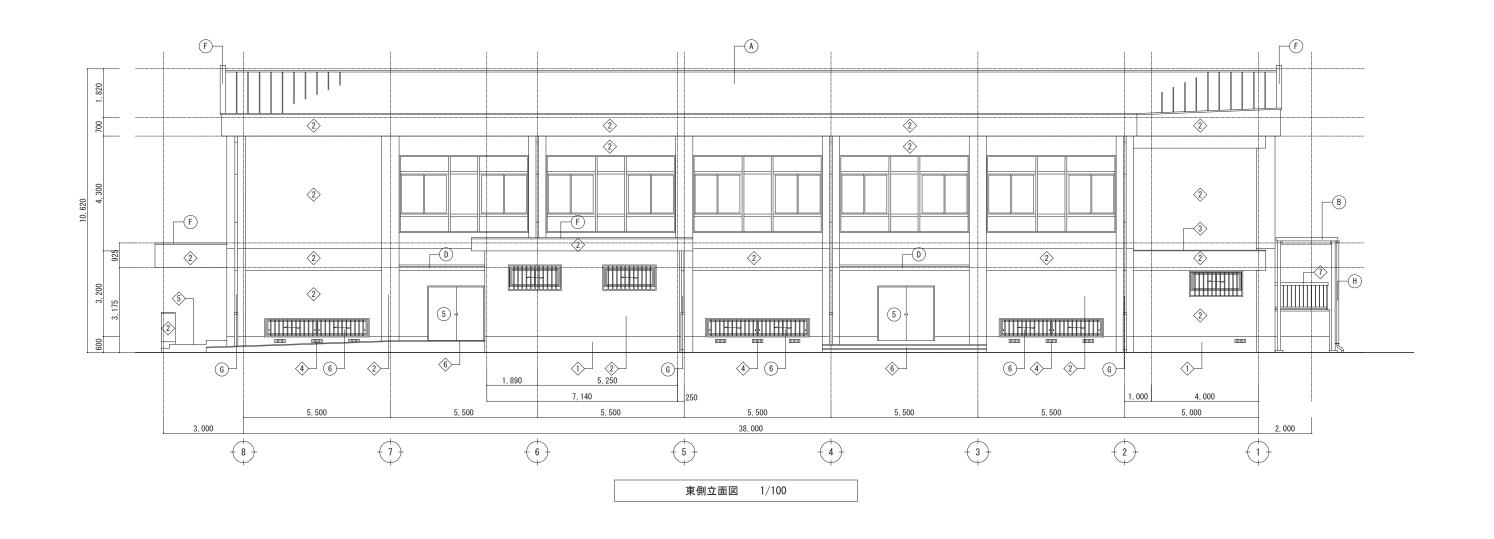
屋根伏図(改修前・後)

1/150 A2版:100%

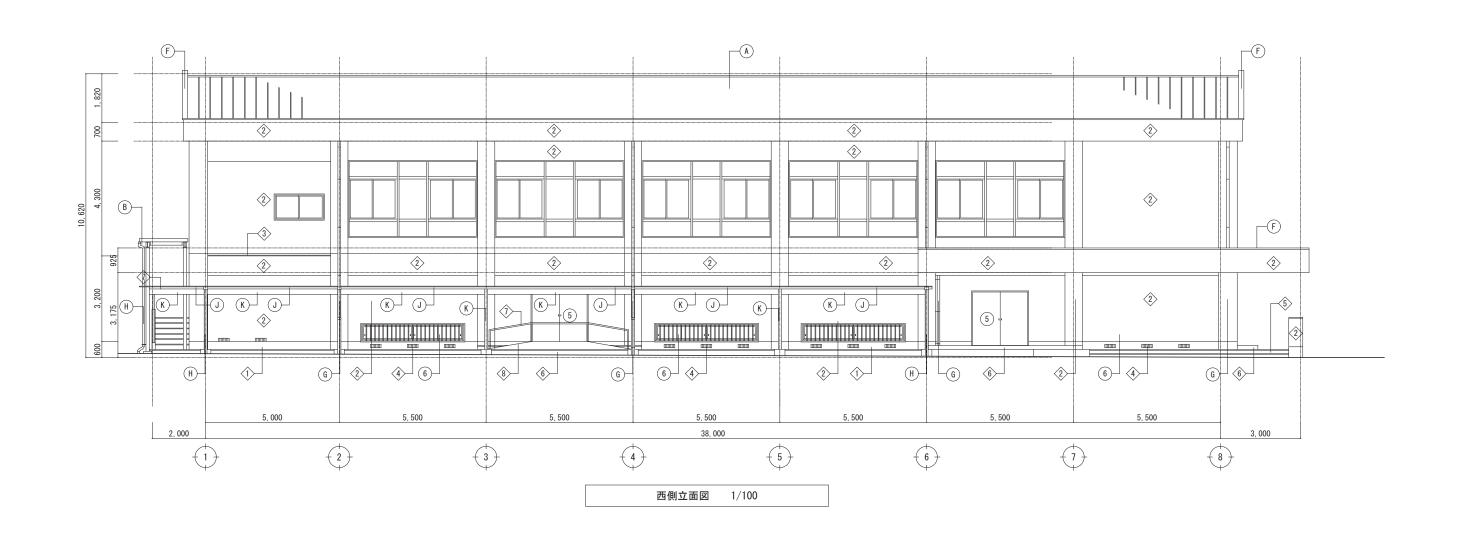
R04年

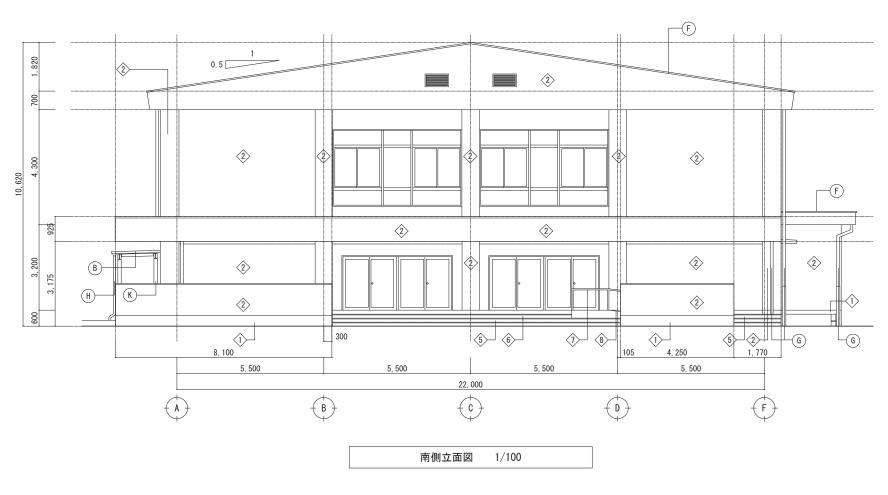
0D - 08

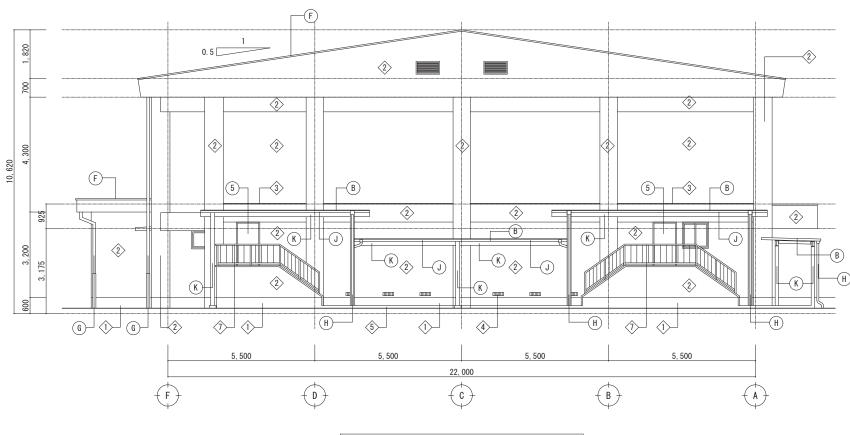
記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)	記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)	記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)
【防水改修工事】	【防水改修工事】	【外壁改修工事】	【外壁改修工事】	【内装改修工事】	【内装改修工事】
A 屋根 : 塩ビ鋼板(t=0.4) 瓦棒葺 アススファルトルーフィング22kg [塗装改修]	屋根 : 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	1 根回り : モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り : 高圧水洗 既存のまま	1 体育室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	体育室床: 研磨、コートライン引き
着色木毛マグネシウム板(t25)下地		② 壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁:防水形複層塗材E吹付[劣化部処理、下地調整のうえ新設]	ラワン耐水合板(t =15)下地	、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設]
B 下屋屋根 :ルーフデッキ(t=0.8) [塗装改修]	下屋屋根: DP [下地調整のうえ新設]	③ 梁天端 : 防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端 : 塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	[劣化部撤去(40枚)]	複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
© 屋根・樋・庇:シート防水(t=1.5) シルバー仕上 均しモルタル(t=30)[撤去]	屋根·樋·庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	4 床下換気口:鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部ステンレス防虫鋼付)[清掃]	床下換気口:既存のまま	② ステージ·控室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床:既存のまま
D F通り庇:防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	妻壁:アルミガラリ400×800×4ヶ所		ラワン耐水合板 (t=15) 下地	
E 軒裏 : コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏 : 外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]	5 ポーチ床:モルタル金ごて(t=30) 段鼻:/ンスリップ磁器タイル貼[洗浄]	ポーチ床: 高圧水洗浄 既存のまま	③ 器具庫壁:モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁:戸袋部、EP [下地処理のうえ新設]
F 笠木:塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4@450[塗装改修]	笠木 : DP [下地調整のうえ新設]	6 出入口踏み台床:/ンスリップシート貼 モルタル金ごて(t=30)下地 段鼻:アルミノンスリップ[洗浄]	出入口踏み台:高圧水洗浄 既存のまま	4 体育室巾木:米栂(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木:SOP [下地処理のうえ新設]
G 竪樋 :VU100φ 保護パイプ125φ0P H=1,500 [撤去]	竪樋 : カラ-VP100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]	手摺:スチールパイプ50φ0P 支柱:スチールパイプ50φ0P 手摺子:丸鋼13φ0P@150[塗装改修]	手摺 : D P	5 体育室建具 : 鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具:鋼製引分戸 扉 [新設]
H 竪樋 :VU75φ [撤去]	竪樋 : カラ-VP75 φ [新設 (支持金物共)]	8 出入口スロープ床:縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床: DP	6 体育室地窓	体育室地窓:網戸 [新設]
[i	改修用ト゚レン:100 φ 75 φ (塗膜防水用) [新設]			7 器具庫建具:木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具:鋼製軽量建具 [新設]
J 軒樋 : 硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋 :箱樋 [新設(支持金物共)]			8 手摺 : スチールパイプ45 φ S O P [塗装改修]	手摺 : SOP [新設]
K 柱:H-125×125×5×7 OP、梁:H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁 : DP [下地調整のうえ新設]				



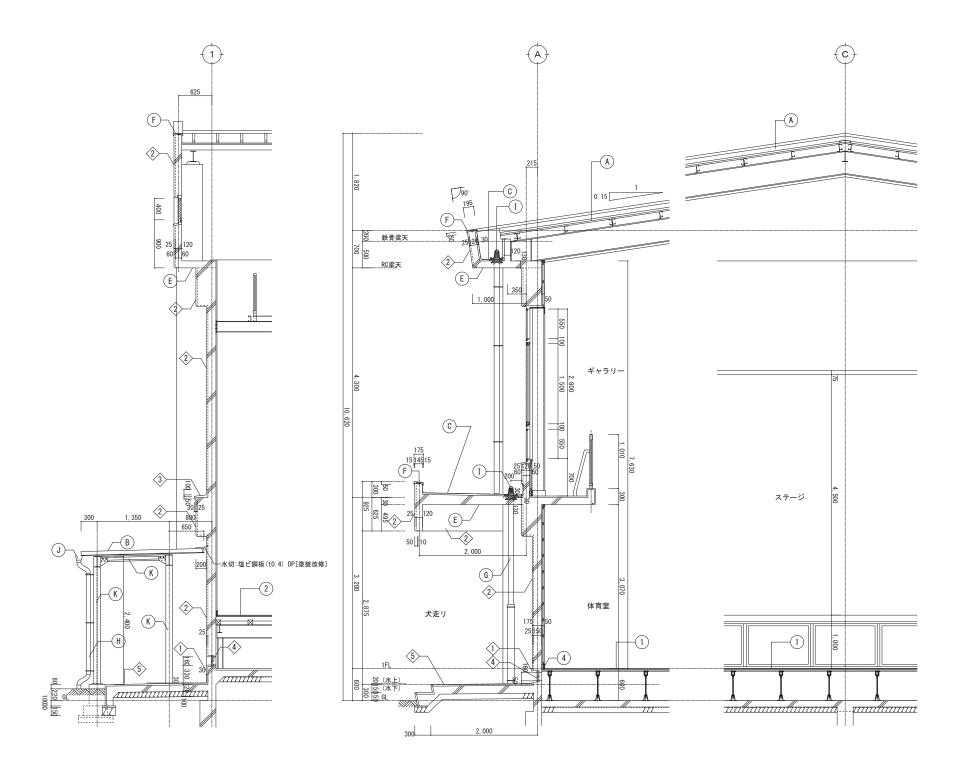
記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)	記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)	記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)
【防水改修工事】	【防水改修工事】	【外壁改修工事】	【外壁改修工事】	【内装改修工事】	【内装改修工事】
A 屋根 : 塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 アススファルトルーフィング22kg [塗装改修]	屋根 : 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	1 根回り : モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り : 高圧水洗 既存のまま	1 体育室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	体育室床:研磨、コートライン引き
着色木毛マグネシウム板(t25)下地		② 壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁: 防水形複層塗材E吹付[劣化部処理、下地調整のうえ新設]	ラワン耐水合板(t =15)下地	、1 液湿気型ウレタン塗料 3 階塗り [新設]
B 下屋屋根 :ルーフデッキ(t=0.8) [塗装改修]	下屋屋根:DP [下地調整のうえ新設]	③ 梁天端 : 防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端 : 塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	[劣化部撤去(40枚)]] 複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
© 屋根・樋・庇: シート防水(t=1.5) シルバー仕上 均しモルタル(t=30)[撤去]	屋根·樋·庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	4 床下換気口:鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部ステンレス防虫鋼付)[清掃]	床下換気口:既存のまま	② ステージ·控室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床:既存のまま
D F通り庇:防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	妻壁:アルミガラリ400×800×4ヶ所		ラワン耐水合板(t =15)下地	
E 軒裏 : コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏 : 外装薄塗材 Ε [劣化部処理、下地調整のうえ新設]	5 ポーチ床:モルタル金ごて(t=30) 段鼻:/ンスリップ磁器タイル貼[洗浄]	ポーチ床:高圧水洗浄 既存のまま	3 器具庫壁: モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁: 戸袋部、E P [下地処理のうえ新設]
F 笠木:塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4@450[塗装改修]	笠木 : DP [下地調整のうえ新設]	6 出入口踏み台床:/ンスリップシート貼 モルタル金ごて(t=30)下地 段鼻:アルミ/ンスリップ[洗浄]	出入口踏み台:高圧水洗浄 既存のまま	4 体育室巾木:米栂(t=25) O P H=100 [塗装改修]	体育室巾木: SOP [下地処理のうえ新設]
	竪樋 : カラ−VP100 φ 保護管125 φ SOP H=1,500 [新設 (支持金物共)]	「予習:スチールパイプ50φ0P 支柱:スチールパイプ50φ0P 手摺子:丸鋼13φ0P@150[塗装改修]	手摺 : DP	5 体育室建具 : 鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具:鋼製引分戸 扉 [新設]
H 竪樋 :VU75 φ [撤去]	竪樋:カラーVP75 φ [新設(支持金物共)]	8 出入口スロープ床:縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床: DP	6 体育室地窓	体育室地窓:網戸 [新設]
I RD :鋳鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用ドレン:100φ75φ(塗膜防水用) [新設]			7 器具庫建具:木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具:鋼製軽量建具 [新設]
J 軒樋 : 硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋 :箱樋 [新設(支持金物共)]			8 手摺 : スチールパイプ45 φ S O P [塗装改修]	手摺 : SOP [新設]
K 柱:H-125×125×5×7 OP、梁:H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁 : DP [下地調整のうえ新設]				







記号	部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)	部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)
	【防水改修工事】	
A	屋根 : 塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 アスファルトルーフィンヴ22kg [塗装改修]	屋根 : 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
	着色木毛マグネシウム板(t25)下地	
B	下屋屋根 : ルーフデッキ(t=0.8) [塗装改修]	下屋屋根: DP [下地調整のうえ新設]
0	屋根・樋・庇: シート防水(t=1.5) シルバー仕上 均しモルタル(t=30)[撤去]	屋根・樋・庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設
D	F通り庇:防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設
E	軒裏 : コンクリート素面アクリルリシン吹付[吹付材撤去]	軒裏 : 外装薄塗材 Ε [劣化部処理、下地調整のうえ新設
F	笠木:塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4@450[塗装改修]	笠木 : DP [下地調整のうえ新設]
G	竪樋 :VU100 φ 保護パイプ125 φ 0P H=1,500 [撤去]	竪樋:カラ−VP100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)
H	竪樋 :VU75φ [撤去]	竪樋:カラーVP75 φ [新設(支持金物共)]
1	RD :鋳鉄製100 φ (シート防水用) [撤去]	改修用ト゚レン:100φ75φ(塗膜防水用) [新設]
J	軒樋 : 硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋 :箱樋 [新設(支持金物共)
K	柱:H-125×125×5×7 OP、梁:H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁 : DP [下地調整のうえ新設]
	【外壁改修工事】	
1	根回り : モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り : 高圧水洗 既存のまま
2>	壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁:防水形複層塗材E吹付[劣化部処理、下地調整のうえ新設
3>	梁天端 : 防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端 : 塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設
4>	床下換気口:鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部ステンレス防虫鋼付)[清掃]	床下換気口:既存のまま
	妻壁:アルミガラリ400×800×4ヶ所	
\$	ポーチ床:モルタル金ごて(t=30) 段鼻:/ンスリップ磁器タイル貼[洗浄]	ポーチ床: 高圧水洗浄 既存のまま
6	出入口踏み台床:/ンスリップシート貼 モルタル金ごて(t=30)下地 段鼻:アルミ/ンスリップ[洗浄]	出入口踏み台: 高圧水洗浄 既存のまま
$\langle \hat{j} \rangle$	手摺:スチールパイプ50φ0P 支柱:スチールパイプ50φ0P 手摺子:丸鋼13φ0P@150[塗装改修]	手摺 : DP
8	出入口スロープ床:縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床: DP
	【内装改修工事】	
1	体育室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	体育室床:研磨、コートライン引き
	ラワン耐水合板(t =15)下地	、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設
	[劣化部撤去(40枚)]	複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)
2	ステージ·控室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床: 既存のまま
	ラワン耐水合板(t =15)下地	
3	器具庫壁:モルタル金ごて(t=20)VP [塗装改修]	器具庫壁:戸袋部、EP [下地処理のうえ新設
4	体育室巾木:米栂(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木:SOP [下地処理のうえ新設
5	体育室建具 : 鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具:鋼製引分戸 扉 [新設
	体育室地窓	体育室地窓:網戸 [新設
6)		
6) 7)	器具庫建具:木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具:鋼製軽量建具 [新設]



矩計図(改修前・後) 1/50

有限会社 元廣建築設計事務所 -級建築士事務所広島県登録 18(1) 第 0951 号

-級建築士登録 第 223245 号 元 廣 匡 伸 三原小学校長寿命化改修工事

矩計図(1)(改修前・後)

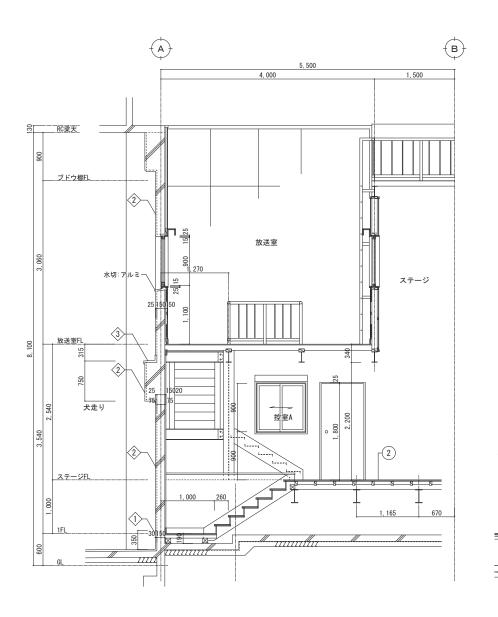
1/50 A2版:100% A3版: 70%
 課長:
 主任:
 担当:
 固番:

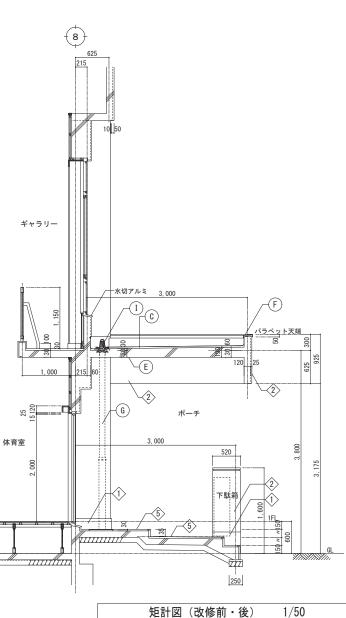
 R04年
 OD - 12

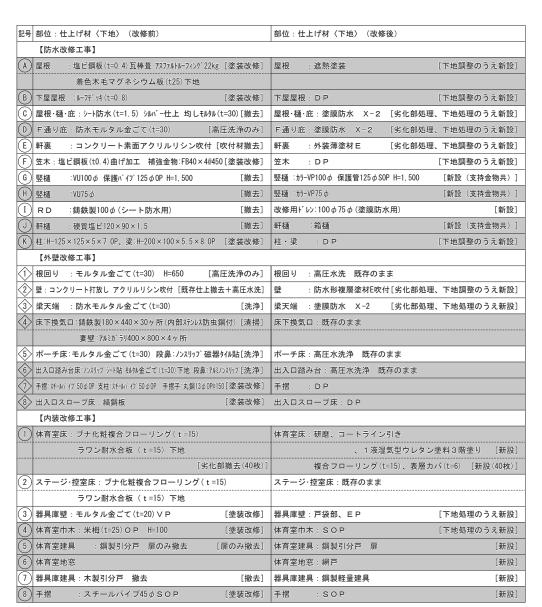
15 时位:11177 (以) 177	即位、任工行列(广地)(以修设)
【防水改修工事】	,
A 屋根 : 塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 アスファルトルーフィング22kg [塗装改修]	屋根 : 遮熱塗装 [下地調整のうえ新設
※	
B 下屋屋根 :ル-フテ゚ッキ(t=0.8) [塗装改修]	下屋屋根: DP [下地調整のうえ新設
C 屋根・樋・庇: シート防水(t=1.5) シルバ−仕上 均しモルタル(t=30)[撤去]	屋根・樋・庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設
D F通り庇:防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇:塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設
E 軒裏 : コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏 : 外装薄塗材 Ε [劣化部処理、下地調整のうえ新設
F) 笠木:塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4@450[塗装改修]	笠木 : DP [下地調整のうえ新設
G 竪樋 :VU100φ 保護パイプ125φ0P H=1,500 [撤去]	竪樋:カラーVP100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設 (支持金物共)
H 竪樋 :VU75φ [撤去]	竪樋:カラーVP75φ [新設(支持金物共)
 RD :鋳鉄製100φ(シート防水用) [撤去] 	改修用ト゚レン:100φ75φ(塗膜防水用) [新設
J 軒樋 : 硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋 : 箱樋 [新設(支持金物共)
K 柱:H-125×125×5×7 OP、梁:H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁 : DP [下地調整のうえ新設
【外壁改修工事】	
↑ 根回り : モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り : 高圧水洗 既存のまま
② 壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁:防水形複層塗材E吹付[劣化部処理、下地調整のうえ新設
③ 梁天端 : 防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端 : 塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設
4 床下換気口:鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部ステンレス防虫鋼付) [清掃]	床下換気口:既存のまま
妻壁:アルミカ゚ラリ400×800×4ヶ所	
5 ポーチ床: モルタル金ごて(t=30) 段鼻: /ンスリップ磁器タイル貼[洗浄]	ポーチ床: 高圧水洗浄 既存のまま
6 出入口踏み台床:/ンスリップシート貼 モルタル金ごて(t=30)下地 段鼻:アルミノンスリップ[洗浄]	出入口踏み台: 高圧水洗浄 既存のまま
手摺:ススチールパイプ50φOP 支柱:ススチールパイプ50φOP 手摺子:丸鋼13φOP@150[塗装改修]	手摺 : DP
8 出入口スロープ床:縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床: DP
【内装改修工事】	
1 体育室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	体育室床:研磨、コートライン引き
ラワン耐水合板(t =15)下地	、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設
[劣化部撤去(40枚)	複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)
② ステージ·控室床: ブナ化粧複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床:既存のまま
ラワン耐水合板(t =15)下地	
3 器具庫壁: モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁: 戸袋部、EP [下地処理のうえ新設
4 体育室巾木:米栂(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木: SOP [下地処理のうえ新設
5 体育室建具 : 鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具:鋼製引分戸 扉 [新設
6 体育室地窓	体育室地窓:網戸 [新設
7 器具庫建具:木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具:鋼製軽量建具 [新設
8 手摺 : スチールパイプ45 φ S O P [塗装改修]	手摺 : SOP [新設

部位:仕上げ材〈下地〉(改修後)

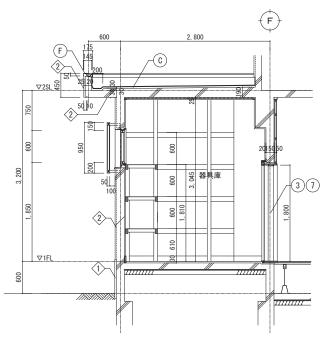
記号 部位:仕上げ材〈下地〉(改修前)

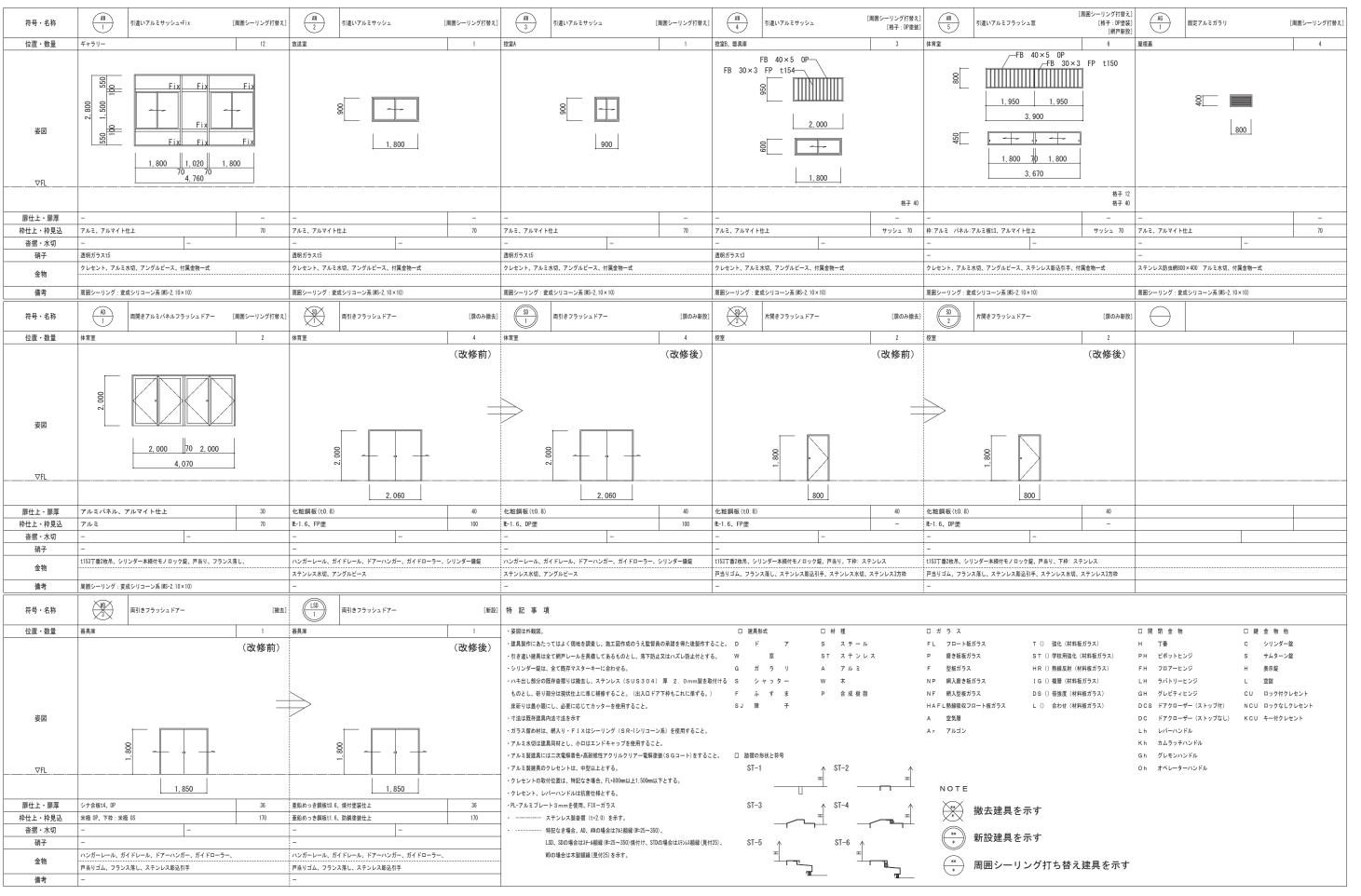






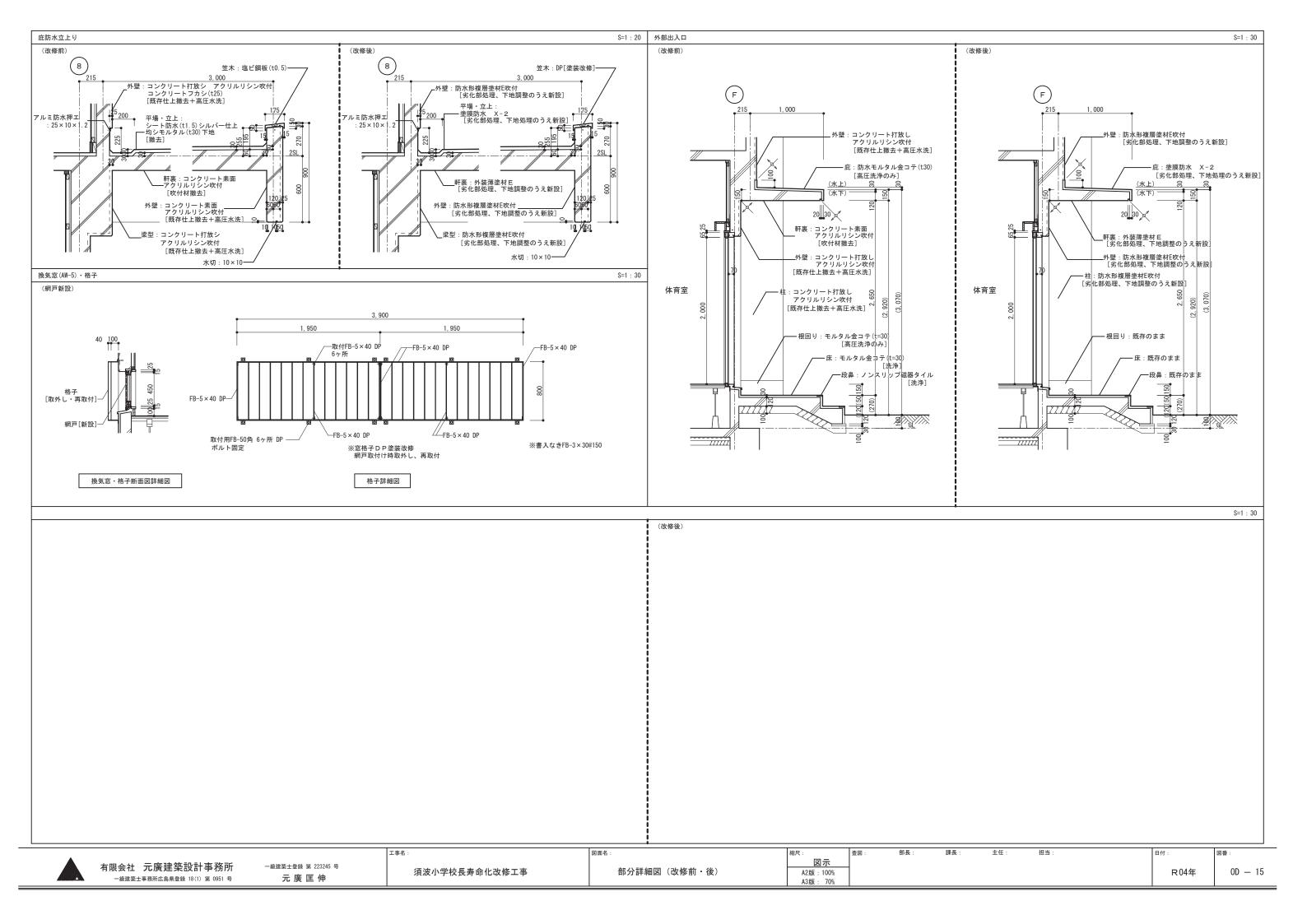
0D - 13



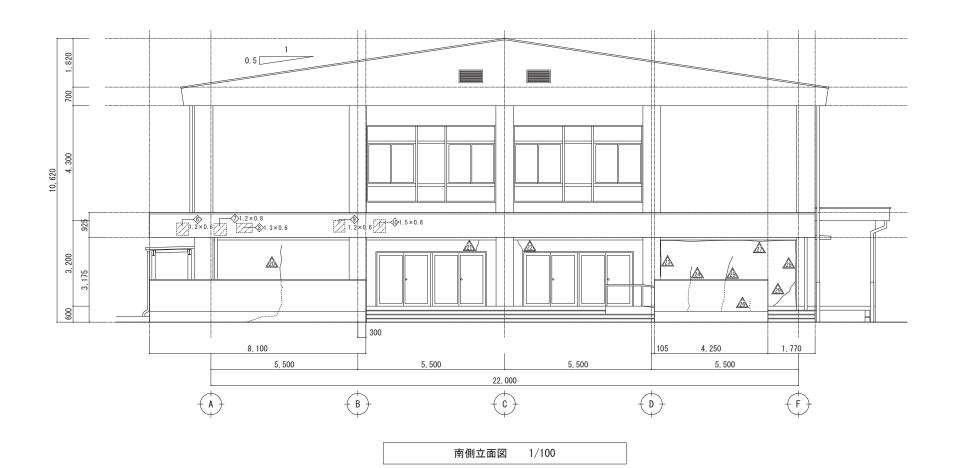


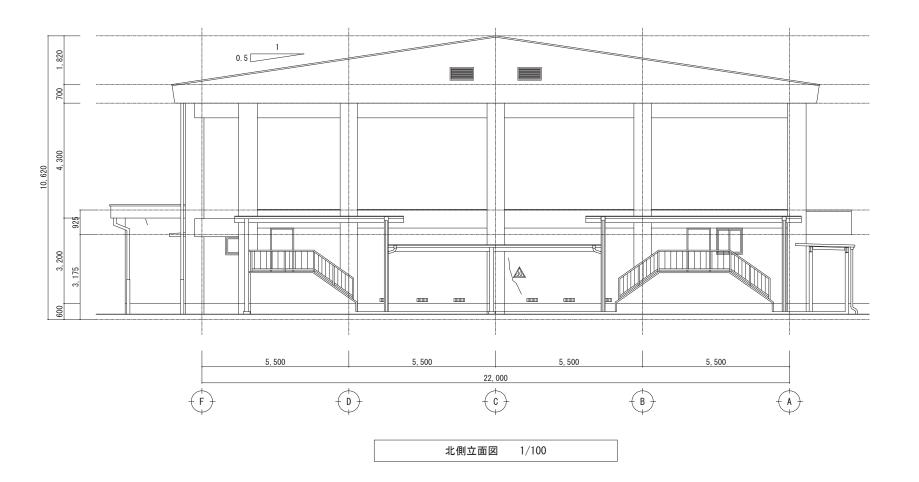
A2版:100%

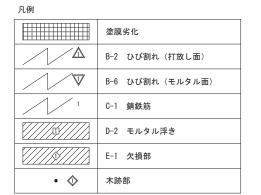
部長











 有限会社 元廣建築設計事務所
 -級建築土登録第 223245 号
 三原小学校長寿命化改修工事
 外壁劣化調査図(2)

| A2版: 100% |
| A3版: 70% |
| A3W: 70

参	考	数	量	書
		<i>2</i> /	<u> </u>	

	参考数量書		
工事名称	三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)		
工事場所	三原市館町二丁目		
[工 事 概 要]			
用途,構造,面積	教室棟 鉄筋コンクリート造3階建 2,564㎡ 屋内運動場 鉄筋コンクリート造2階建 871㎡		
工事範囲	建築主体工事		
別途工事	電気設備工事,機械設備工事		
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和7年3月3日		
一般事項			
《工事予算内訳》	合 計 金 額		
〈内訳〉			
区 分	金	概	要
設計金額			
消費税額			
合計金額			

工事費內訳

	 称	数量	単位	金	 額	備	考
直接工事費		777	1 1			<i>V</i> 113	
and the second							
建築工事			1				
計			式				
共通費							
共通仮設費							
			1 式				
現場管理費			1				
一般管理費等			式				
			1 式				
計							
工事価格			1				
消費税等相当額			式				
但其忧守怕 曰假			1 式				
工事費							
			1 式				

名	称	数	量	単 位	金	額	備	考
至工事			1					
前日	L			式				
前								

建築工事 種目別内訳

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
舎棟			1					
			1	式				
内運動場			1					
計	<u> </u>			式				
Η.								

	称	数	量	単位	金	額	備	考
接仮設	· ·							
			1	式				
i水改修				1				
			1	式				
壁改修								
			1	式				
具改修								
			1	式				
装改修			1					
			1	式				
装改修			1					
			1	式				
生材処理			1					
			1	式				
計	-							

屋内運動場							
名	称	数量	単位	金	額	備	考
直接仮設		1	L				
防水改修			式				
		1	式				
外壁改修		1					
建具改修			式				
建共以 修		1	式 式				
内装改修							
26 Mart He		1	式				
塗装改修		1	1				
環境配慮改修			式				
]	式				
発生材処理]	L				
計			式				

校舎棟			直接仮設	L C							
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
墨出し				1	式						
養生				1	式						
整理清掃後片付け				1	式						
枠組本足場(手す り先行方式)	W900 22.0m未満			1	式						
安全手すり	枠組本足場用			1	式						
内部仕上足場	脚立足場			1	式						
内部階段仕上足場	脚立足場			1	式						
仮設教室				1	式						
仮設間仕切	B種			1	式						
災害防止				1	式						
仮設材運搬				1	式						
≅ +											

校舎棟			防水改修	ζ.				撤去				
名 称		要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考	
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層	集積共		747	m²							
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 立上り部	集積共		79. 6	m²							
防水押え金物撤去	集積共			240	m							
階段撤去	SUS製 1100×810×H535			5	か所							
計												

校舎棟			防水改修				改修					
名 称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考		
施工数量調査	防水面		1, 413	m²								
ケレン	床		827	m²								
水洗い	デ [*] ッキフ [*] ラシ		1, 413	m²								
高圧洗浄	竪樋		66. 9	m								
塗膜防水	X-1 ウレタンゴム系 平面 表面塗装シルバー		747	m²								
塗膜防水	X-2 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装シルバー		79.6	m²								
塗膜防水重ね塗り	X-2 平部		432	m²								
塗膜防水重ね塗り	X-2 立上り		154	m²								
防水押え金物	アルミL-30×15		237	m								
シーリンク゛	MS-2 15×7		237	m								
シーリンク゛	一般部 変成シリコーン系(MS- 15×10	2)	80. 2	m								
屋上階段	W600×D540×H355 溶融亜鉛メッキ仕上		5	か所								
水切取外再取付	L100×72		90. 3	m								
水切取外再取付	H100		77. 3	m								
ハトゴヤ取外再取付	W920×D670×H355 既成品	1	1	か所								

建築工事	細目別内訳
建筑工士	

校舎棟			防水改修					改修				
名称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
計												

校舎棟	<u> </u>		外壁改修				改修					
名 称	摘	要	数量	単 位	単	価	金	額	備	考		
施工数量調査	モルタル面		2, 458	m²								
施工数量調査	コンクリート面		1, 136	m²								
B-7 モルタル面Uカットエポ°キシ 樹脂充填工法	0.2~1.0mm		110	m								
B-3 打放し面Uカットエポキ シ樹脂充填工法	0.2~1.0mm		76	m								
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0㎜以上 挙動 無	l	188	m								
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 無	l	153	m								
浮き部処理	モルタル面注入口付アンカーと 脂注入工法 一般部分 9か所/㎡	'ンニンク`エホ [°] キシ	540	m²								
浮き部処理	モルタル面注入口付アンカーと 脂注入工法 指定部分 16か所/㎡	ンニンク゛エポ゜キシ	38. 4									
既存仕上材サンダーケレン	11/CP() 11/// 11		3, 593	m²								
高圧水洗浄	150~200kg/cm2		3, 873	m²								
水洗い	デ゛ッキブ゛ラシ		72. 4									
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け		3, 593	m²								
外装薄塗材E	モルタル面		260	m²								
防水形複層塗材E	モルタル面		2, 329	m²								
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 アクリル系 水系 つやあり 下地調整費別途	吹付け - 上塗2回	1,004	m m²								

校舎棟			外壁改修	5				改修				
	称 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
(受水槽基礎)												
根切り	小規模土工			3. 2	m3							
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土			0.2	m3							
砂利地業	再生クラッシャラン			1. 2	m3							
異形鉄筋	SD295 D10			62. 9	kg							
異形鉄筋	SD295 D13			92. 7	kg							
異形鉄筋	SD295 D16			209	kg							
スクラップ控除	鉄 H2			▲ 9.8	kg							
鉄筋加工組立				351	kg							
鉄筋運搬				351	kg							
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度1 粗骨材20	8 S15		0. 4	m3							
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度2 粗骨材20	R1 S15		3. 1	m3							
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打 - SI 	設 5~S18		0. 4	m3							
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打 工作物の基礎等 SI	設 5~S18		3. 1	m3							
普通型枠	小型構造物			12. 2	m²							

校舎棟		外壁改修				改修				
名 称	摘 要	数量	単 位	単	価	金	額	備	考	
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	12. 2	m²							
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	7	m²							
(揚水ポンプ基礎)										
根切り	小規模土工	0.8	m3							
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	0.2	m3							
砂利地業	再生クラッシャラン	0.3	m3							
異形鉄筋	SD295 D10	4.9	kg							
鉄筋加工組立		4.7	kg							
鉄筋運搬		4. 7	kg							
スクラップ 控除	鉄 H2	▲0.1	kg							
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S15 粗骨材20	0. 1	m3							
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度21 S15 粗骨材20	0.3	m3							
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 	0.1	m3							
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 	0.3	m3							
普通型枠	小型構造物	1	m²							

校舎棟	E 17 3 1 1 1 1 1		外壁改修				改修					
名称		要	数量	単位	単	価	金	額	備	考		
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復		1	m²								
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ		1.4	m²								
メッシュフェンス	H1800		18	m								
メッシュフェンス門扉	両開き扉 W2000×H1800		1	か所								
メッシュフェンス基礎	$250 \times 250 \times 450$		8	か所								
メッシュフェンス門扉基礎	300×300×600		2	か所								
計				73-191								

校舎棟			建具改修	5				撤去					
名称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
木製建具撤去 WD-1	引違い扉 2連ランマ+地窓 W3690×H2985 枠共 身	8付 集積共		34	か所								
木製建具撤去 WD-2	引違い扉 ランマ付 W1660×H2985 枠共 タ	 集積共		3	か所								
木製建具撤去 WD-3	引違い扉 引違いランマイ W1660×H3000 枠共 タ	寸 集積共		2	か所								
ガラス撤去	集積共			135	m²								
シーリンク゛撤去	集積共			1, 219	m								
カッター入れ	モルタル面 厚さ20~30	mm		734	m								
計					111								

校舎棟	7 F F 73 1 3 H C		建具改修				改修				
名	旅 摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考	
(鋼製建具)											
SP-1	W3630× H2960		34	か所							
SP-1 運搬・取付費			1	式							
SP-2	W1630× H2960		3	か所							
SP-2 運搬・取付費			1	式							
SP-3	W1630× H2960		2	か所							
SP-3 運搬·取付費			1	式							
(その他)											
建具周囲 モルタル充填	内部建具		362	m							
建具廻りシーリング	MS-2 10×10		2, 207	m							
曲											

校舎棟				内装改修				撤去			
	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
砕石撤去				13. 6	m3						
束石撤去				14. 3							
ビニル床シート撤去		集積共		1, 215	m²						
階段ビニル床シート 去	·撤			137	m²						
床組撤去		つか立て 集積共		503	m²						
床下地板撤去		集積共		503	m²						
床見切撤去		アルミ製		15. 1	m						
/ンスリッフ [°] 撤去				381	m						
壁合板・ボード撤去		一重張り 一般 🥏 🦠	 長積共	93. 8							
壁下地撤去		集積共		34	m²						
天井合板・ボート 撤去		一重張り 一般 集積共		188	m²						
階段手摺撤去		φ 40		30.7							
スポ゚ンジシート撤去				190	m²						
傘掛撤去		L2130		18	か所						
雨受け撤去	1	W3700×D280×H140		18	か所						

校舎棟			内装改修	Ç.				撤去				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
雑巾掛撤去	L2030			18	か所							
家庭科室 窓面棚撤去	W6867 × D400 × H890			1	か所							
家庭科室 窓面棚撤去	W8735×D530×H890			1	か所							
普通教室·会議室 窓面棚撤去	W8382×D360×H870			16	か所							
普通教室·会議室· 保健室 背面棚撤去	W4990×D540×H1300			17	か所							
廊下 鏡取外再取付	200×300			10	か所							
計												

校舎棟			内装改修				改修			
名 称	摘	要	数量	単 位	単	価	金	額	備	考
すきとり	積み込み共 H300程度		111	m3						
砂利地業	再生クラッシャラン		50. (
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15		503	$ m m^2$						
異形鉄筋	SD295 D10		6, 021	kg						
スクラップ 控除	鉄 H2		▲162	kg						
鉄筋加工組立			5, 789	kg						
鉄筋運搬費			5, 789	kg						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21+6 粗骨材20	S15	60. 4							
コンクリート打設手間	土間 ポッソフ 50m3/回程度 - 圧送費、基z	°打設 S15~S18 k料別途	60. 4	4 m3						
コンクリートポンフ° 圧送	50m3以上100m3/回未清基本料金別途加算	齿	60. 4	1 m3						
コンクリートポ゚ンプ。圧送 基本料金	50m3以上100m3/回未流		3	回						
床下地調整	モルタル塗り		18.7							
床見切	SUS製		15.							
ビニル床シート	無 地 厚さ2.5 複層と 一般床 熱溶接工法		220	m²						
ビニル床シート	無 地 厚さ2.5 複層と 一般床 熱溶接工法	゛ニル床シートFS	633	m²						

校舎棟			内装改修				改修			
名	· 摘	要	数量	単 位	単	価	金	額	備	考
階段ビニル床シート	無 地 厚さ2.5 複層	ビニル床シートFS	137	m²						
鋼製床組	H440		503	m²						
複合フローリング	t15 表層カバt3		383	m²						
床下地板	構造用合板t15		383	m²						
床下地板	構造用合板t15+ラワン合	↑板t15	120	m²						
階段ノンスリップ	コ		381	m						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上け	ř	503	m²						
じょル幅木	高さ100		90. 3							
壁ポリ合板張り	t2. 5		16	m²						
スポ゚ンジシート			103	m²						
耐火間仕切	LGS90 GB-Ft15.0+15.	0 両面張り	34	m²						
耐火シーリンク゛			288							
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラン 突付け	ν´ーチン	195	m m²						
天井廻縁	塩化ビニル製		377	m						
木製額縁	25×50		362	m						

校舎棟	<u> </u>		内装改修			改修			
名称	摘	要	数量	単位	単 佃	金	額	備	考
木製額縁	25×60		362	m					
見切	W30		28.7	m					
シーリンク	MS-2 10×7		233	m					
階段手摺	壁付 樹脂被膜 φ 40 芯材アルミ アルミブ・ラケット@	900程度	181	m					
普通·会議·保健· 通級指導 背面棚	W3780×D540×H1300		17	か所					
家庭科室背面棚	W6867×D400×H890		1	か所					
普通·会議·通級指導 窓面棚	W8382×D360×H870		16	か所					
家庭科室窓面棚	W8735×D530×H890		1	か所					
普通·会議·保健· 通級指導 黒板取外再取付	W2700×H900		17	か所					
家庭科室調理台取外再取付	1800×900×800		6	台					
家庭科室 調理台取外再取付	2100×700×800		1	台					
保健室 流し台取外再取付	W1800		1	か所					
計									

校舎棟			塗装改修					改修			
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
(外部)											
DP塗替え	鉄鋼面 錆止め・下地語	調整RB種共		4. 6	m²						
DP塗替え	細幅物 鉄鋼面 錆止 種共	か・下地調整R		17	m						
ルーフト*レン φ 75 タールエポ° キシ樹脂塗装	鉄鋼面			11	か所						
ルーフト゛レン φ 100 タールエホ゜ キシ樹脂塗装	鉄鋼面			20	か所						
(内部)											
SOP塗り (糸幅300mm以下)	素地A種	B種(屋内)		725	m						
EP塗り	丸鋼φ16切断部 防錆塗装共			180	か所						
EP塗り	モルタル面 細幅物			462	m						
EP塗り 改修仕様	モルタル面 下地調整RB種(塗替え	程B種(一般) 面)		1, 598	m²						
EP塗替え	モルタル面 細幅物 下地語	調整RB種		175	m						
≣†											

校舎棟		4 H 7311 1H/C		発生材処	理				運搬			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
発生材運搬		コンクリート類			14. 3	m3						
発生材運搬		砕石類			13. 6	m3						
発生材運搬		建設発生土			114	m3						
発生材運搬		ガラス類			0. 4	m3						
発生材運搬		シート防水類			1. 7	m3						
発生材運搬		廃プラスチック類			5. 5	m3						
発生材運搬		ボート゛類			2. 4	m3						
発生材運搬		木材類			40.6	m3						
計						IIIO						

校舎棟				発生材処理	里				処分			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
発生材処分		コンクリート類			14. 3	m3						
発生材処分		砕石類			13. 6	m3						
発生材処分		建設発生土			114	m3						
発生材処分		ガラス類			0. 4	m3						
発生材処分		シート防水類			1. 7	m3						
発生材処分		廃プラスチック類			5. 5	m3						
発生材処分		ボード類			2. 4	m3						
発生材処分		木材類			40. 6	m3						
スクラップ。控除		鉄 H2		,	▲250	kg						
スクラップ。控除		鉄 H3			▲148	kg						
スクラップ。控除		アルミ			▲ 70.6	kg						
スクラップ。控除		ステンレス			▲875	kg						
計						11.5						

屋内運動場			直接仮設	ļ							
名 科	· 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生				1							
整理清掃後片付け	<u> </u>				式						
				1	式						
枠組本足場(手す り先行方式)	W900 12.0m未満			1	式						
安全手摺	枠組本足場用			1							
災害防止					式						
				1	式						
仮設材運搬				1	式						
計					10						

屋内運動場			防水改修					撤去			
名称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
均しモルタル撤去	t30			221	m²						
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層	集積共		151	m²						
シート防水撤去	t1.5 立上り			69. 9	m²						
折版屋根撤去	t0.8			1.9	m²						
ルーフト゛レン撤去	鋳鉄製 φ100			13	か所						
たてどい撤去	VP管 集積共			24. 5	m						
たてどい撤去	VP管 集積共			82. 4	m						
軒樋撤去	塩ビ製			52. 5							
竪樋保護管撤去	鋼製 φ125			13. 5	m						
計											

屋内運動場			防水改修				改修			
名 称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
施工数量調査	防水面		237	m²						
ケレン	床		237	m²						
水洗い	テ゛ッキフ゛ラシ		237	m²						
塗膜防水	X-1 ウレタンゴム系 平 表面塗装シルバー	面	164	m²						
塗膜防水	X-2 ウレタンゴム系 立上表面塗装シルバー	<u>.</u> b	72. 5	m²						
屋根 アルミ亜鉛合金メッキ鋼 板	t0.8 H85 働き巾W600	タイトフレーム共	1. 9	m²						
ルーフト゛レン	改修用 φ100		13	か所						
硬質ポリ塩化 ビニル管とレヽ(カラー)	径75		24. 5	m						
硬質ポリ塩化 ビニル管とレヽ(カラー)	径100		82. 4	m						
軒樋	箱樋		52. 5	m						
竪樋保護管	鋼製 φ125 H1500		9	本						
計				7,7						

屋内運動場	<u> </u>		外壁改修				改修			
名称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修		1, 120	m²						
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改作	多	185	m²						
B-3 モルタル面Uカットエホ゜キシ 樹脂充填工法	0.2~1.0mm		417	m						
B-2 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0㎜以上 挙動 無		322	m						
高圧水洗浄	150~200kg/cm2		1, 598	m²						
高圧水洗浄	150~200kg/cm2		3. ′							
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け		1, 305	m²						
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹作下地調整費別途	寸け	185	m²						
防水型複層塗材E	モルタル面		1, 120	m²						
計										

		建具改修					撤去			
摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
W2060×H2000 扉のみ	集積共		4	か所						
W800×H1800 扉のみ	集積共		2							
両開きフラッシュドア W1850×H1800 枠共 身	 種共		1							
集積共			288							
	両開きフラッシュト*ア W2060×H2000 扉のみ 片開きフラッシュト*ア W800×H1800 扉のみ 両開きフラッシュト*ア W1850×H1800 枠共 身	両開きフラッシュト・ア W2060×H2000 扉のみ 集積共 片開きフラッシュト・ア W800×H1800 扉のみ 集積共 両開きフラッシュト・ア W1850×H1800 枠共 集積共	摘 要 数 両開きフラッシュト・ア W2060×H2000 扉のみ 集積共 片開きフラッシュト・ア W800×H1800 扉のみ 集積共 両開きフラッシュト・ア W1850×H1800 枠共 集積共	摘 要 数 量 両開きフラッシュト・ア W2060×H2000 扉のみ 集積共 4 片開きフラッシュト・ア W800×H1800 扉のみ 集積共 2 両開きフラッシュト・ア W1850×H1800 枠共 集積共 1 集積共 1	摘 要 数 量 単位 両開きフラッシュト・ア W2060×H2000 扉のみ 集積共 4 片開きフラッシュト・ア W800×H1800 扉のみ 集積共 2 両開きフラッシュト・ア W1850×H1800 枠共 集積共 1 集積共 1	摘 要 数 量 単 位 単 両開きフラッシュト・ア W2060×H2000 扉のみ 集積共 4 か所 片開きフラッシュト・ア W800×H1800 扉のみ 集積共 2 か所 両開きフラッシュト・ア W1850×H1800 枠共 集積共 1 か所 集積共 288	摘 要 数 量 単 位 単 価 両開き7ラッシュドア W2060×H2000 扉のみ 集積共 4 か所 片開き7ラッシュドア W800×H1800 扉のみ 集積共 2 か所 両開き7ラッシュドア W1850×H1800 枠共 集積共 1 か所 集積共 288	摘 要 数 量 単 位 単 価 金 両開きフラッシュト・ア W2060×H2000 扉のみ 集積共 4 か所 片開きフラッシュト・ア W800×H1800 扉のみ 集積共 2 か所 両開きフラッシュト・ア W1850×H1800 枠共 集積共 1 か所 集積共 288	摘 要 数 量 単 位 単 価 金 額 両開きフラッシュト・ア W800×H1800 扉のみ 集積共 4 か所 両開きフラッシュト・ア W1850×H1800 枠共 集積共 2 か所 集積共 1 か所	摘 要 数 量 単 位 単 価 金 額 両開き7ラッシュドア W2060×H2000 扉のみ 集積共 4 片開き7ラッシュドア W800×H1800 扉のみ 集積共 2 両開き7ラッシュドア W1850×H1800 枠共 集積共 1 集積共 288

屋内運動場	<u> </u>		建具改修	*				改修			
名称	· 摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
(アルミ製建具)											
AW-5 網戸	W3670×H450			6	か所						
AW-5 運搬·取付費				1	式						
AW-5 格子取外し・再取付け (鋼製建具)	W3900×H800			6	か所						
SD-1	W2060×H2000 カバーエ	· 注									
SD-1	#2000 × 112000 #/	14		4	か所						
運搬·取付費	WOOD ALL OOD AND THE	L		1	式						
SD-2	W800×H1800 カバー工治	<u> </u>		2	か所						
SD-2 運搬・取付費				1	式						
(軽量鋼製建具)											
LSD-1	W1850×H1800			1	か所						
LSD-1 運搬·取付費				1	式						
(その他)											
建具周囲シーリング	MS-2 10×10			288	m						
計											

屋内運動場	- 73 41 4 H/C		内装改修			撤去			
名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
フローリング・撤去	集積共		3. 2	m²					
計									

屋内運動場			内装改修					改修			
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
複合フローリング	t15 表層カバt6			3. 2	m²						
床研磨及びウレタン塗装	1液型湿気かタン塗料3	回塗り		720	m²						
コートライン引き				604	m						
計											

屋内運動場	<u>ы</u>		塗装改修	冬				改修			
名称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
(外部)											
SOP塗り	鉄部 細幅物 錆止め・共	素地ごしらえ		13. 5	m						
DP塗り	鉄鋼面 錆止め・素地			1.9	m²						
DP塗り	鋼製建具面 錆止め・素			51. 2	m²						
DP塗替え	鉄鋼面 錆止め・下地割			272	m²						
DP塗替え	鉄部 細幅物 錆止め・共	下地調整RB種		456	m						
屋根遮熱塗装	鋼板面 下地調整共			954	m²						
(内部)											
SOP塗替え	鉄部 細幅物 錆止め・			18. 9	m						
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程 下地調整RB種(塗替え	B種 面)		71. 3	m						
計											

屋内運動		1 11 11 11 11 111 1		環境配慮	改修				撤去			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
アスベスト除去					1							
計						式						

屋内運動		1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		発生材処	理				運搬			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
発生材運搬		モルタル類			6.6	m3						
発生材運搬		シート防水類			0.2	m3						
発生材運搬		廃プラスチック類			0.4	m3						
発生材運搬		木材類			0. 1	m3						
計						ino						

屋内運動場	<u>н</u> н уул 11/(発生材処	理				処分			
名 称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
発生材処分	モルタル類			6. 6	m3						
発生材処分	シート防水類			0. 2	m3						
発生材処分	廃プラスチック類			0. 4	m3						
発生材処分	木材類			0. 1	m3						
スクラップ。控除	鉄 H3		_	1, 058							
計					kg						

建築工事 別紙明細

校舎棟	79 3 4 C V J J J I		直接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
墨出し				1	式						
墨出し(内部改修)	複合改修		1	., 290	m²						
計											
養生				1							
養生(外壁改修)				518	式 m²						
養生(内部改修)	複合改修		1	., 978	m²						
#H											
整理清掃後片付け				1	式						
整理清掃後片付け (外壁改修)				518	m²						
整理清掃後片付け (内部改修) 計	複合改修		1	., 978	m²						
PI											

校舎棟		直接仮設						
名称		数量	単位単	i 価	金	額	備	考
枠組本足場(手す り先行方式)	W900 22.0m未満	1	式					
枠組本足場 (手すり先行方式)	22m未満	3, 517	m²					
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 22m未満 -	3, 517	m²					
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240	3, 517	m²					
計								
安全手すり	枠組本足場用	1	式					
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	328	m					
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	328	m					
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	328	m					
計								

建築工事 別紙明細

校舎棟			直接仮設	L Ç							
名称		要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
内部仕上足場	脚立足場			1	式						
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下	_		756	m²						
内部仕上足場	階高4.0m以下 供用1日賃料 修理費 脚立足場 階高4.0m以下	含む _		756	m²						
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下	平家用		756	m²						
計	TEIN YOUNG	1 29/713									
内部階段仕上足場	脚立足場			1	式						
内部階段仕上足場	掛払い手間			215	m²						
内部階段仕上足場	供用1日賃料 修理費	含む		215	m²						
内部階段仕上足場	易 基本料 修理費含む			215	m²						
計											

校舎棟			直接仮設						
	· 摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
仮設教室			1	式					
墨出し(内部改修) 複合改修		33. 2	m²					
養生(内部改修)	複合改修		33. 2	m²					
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修		33. 2	m²					
内部仕上足場	脚立足場		33. 2	m²					
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建		33. 2	m²					
Eish幅木	高さ100		17	m					
壁 せっこうボード 張り(GB - R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 ダ	や付け	60	m²					
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 ダ	2付け	3. 2	m²					
壁合板張り	t5. 5		3. 6	m²					
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり	@450	1.6	m²					
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり	@450	30	m²					
グラスウール充填	t50		31.6	m²					
スポンシ゛シート			3.6	m²					
靴摺り	SUS t1.5 ブラットレール 見	达100	7.2	m					

校舎棟			直接仮設								
名称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
仮設教室				1	式						
WD-1	W1800× H2000			4	か所						
学校用強化ガラス	t4.0 1.80㎡以下			3.8	m²						
ガラスとめ(シーリング)	シリコン 1成分形 SR-1			44. 2	m						
木製三方枠	35×120 1800×2000			4	か所						
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程E 素地A種	種(屋内)		23. 2	m						
EP塗り	ボート゛面 工利素地B種	呈B種(一般)		61. 5	m²						
仮設背面棚設置撤 去	W1800×D470×H1200	一ス品		6	か所						
仮設曲面黒板設置 撤去	W3600×H1200			1	か所						
ビニル幅木撤去	集積共			17	m						
壁合板·ボード 撤去	一重張り 一般 集	積共		63. 2	m²						
壁下地撤去	集積共			31. 6	m²						
沓摺撤去	SUS			7. 2	m						
仮設木製建具撤去 WD-1	引違い中抜きフラッシュ扉 W1800×H2000 枠共 集	積共		4	か所						
計											

校舎棟	23 4/12 4 7 4 7 1 M E		直接仮設							
名	I	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
仮設間仕切	B種		1	式						
仮設間仕切り下均			147	m²						
仮設間仕切り 仕上材	B種(片面) 石こうボー	`	147	m²						
計										
災害防止			1							
養生シート張り	防炎 I 類 掛払い手間	_	3, 517	式 m²						
養生シート張り	防炎 I 類 供用1日賃料 修理費含	it -	3, 517	m²						
養生シート張り	防炎 I 類 基本料 修理費含む -	-	3, 517	m²						
計										

校舎棟			直接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
仮設材運搬				1	式						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)			3, 517	m²						
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手す	り 先行方式)		328	m						
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建			756	m²						
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)				215	m²						
仮設材運搬 (シート・ネット類)				3, 517	m²						
計											

屋内運動場			直接仮認	L Z							
名 称	摘	要	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
養生				1	式						
養生 (屋上防水改修)	露出防水·簡易防水(鑫膜・シ−ト)		156	m²						
養生(外壁改修)				247	m²						
養生(内部改修)	個別改修			720	m²						
計											
整理清掃後片付け				1	式						
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗	金膜・シート)		156	m²						
整理清掃後片付け (外壁改修)				247	m²						
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修			720	m²						
計											

屋内運動場		直接仮設						
名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金	額	備	考
枠組本足場(手す り先行方式)	W900 12.0m未満	1	式					
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満	1, 268	3 m²					
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 -	1, 268	3 m²					
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 -	1, 268	3 m²					
計								
安全手摺	枠組本足場用	1	式					
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	137	7 m					
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	137	7 m					
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	137	7 m					
計								

屋内運動場	22 445 4 × 4 41 E		直接仮設							
名 移	· 摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
災害防止			1	式						
養生シート張り	防炎 I 類 掛払い手間 -	-	1, 268	$ m m^2$						
養生シート張り	防炎 I 類 供用1日賃料 修理費	·含む -	1, 268	$ m m^2$						
養生シート張り	防炎 I 類 基本料 修理費含む -	_	1, 268							
計				***						
仮設材運搬			1	式						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式	建枠幅900(二枚布)		1, 268							
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり	り先行方式)	137							
仮設材運搬 (シート・ネット類)			1, 268	m²						
11										

屋内運動場			環境配慮	改修				撤去			
名	尔 摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
アスベスト除去				1	式						
(アスベスト除去費)											
床養生	プ [°] ラスチックシート(厚0 +吸水シート	.15㎜以上)二重		180	m²						
床養生	プ゚ ラスチックシート(厚0	.15mm以上)一重		900	m²						
壁·開口養生	プ゚ ラスチックシート (厚0	.08㎜以上)一重		1, 230. 3	m²						
天井養生	プ ラスチックシート (厚0	.08㎜以上)一重		180	m²						
外装塗材撤去(7 地調整共)	「 AGハ゛フ゛ルシステム			1, 305	m²						
AGバブルシステム機材設置解体費	ţ			1	式						
AGバブルシステム機セ 運搬費	は 4tユニック 燃料費す	ţ		3	車						
AGバブルシステム設置 箇所屋根設置	₩5. 0×L5. 0×H3	. 0程度(単管・コンパネ)		1	式						
発電機	45KVA 燃料・運搬	股費共		1	式						
コンプ。レッサー	7.5馬力 アフタークー 燃料・運搬費共	ラー付き		1	式						
カバーアップ剤散布	除去面			1, 305	m²						
廃石綿密封処理	二重梱包(除去塗	途材・床養生材共)		1	式						
清掃費	施工区画二回清	掃		1,080	m²						

建築工事 別紙明細

屋内運動場			環境配慮	意改修				撤去					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
アスベスト除去				1	式								
消耗品費	手袋・マスク等			1, 305	m²								
小計													
(粉塵濃度測定費)													
 処理作業中 	作業所内の作業員近傍	<u>;</u>		1	点								
処理作業中	AGバブルシステム装置の排	気口近傍		1	点								
処理作業後(養生 撤去前)	作業所内の作業員近例	,		1	点								
小計													
(産業廃棄物処分 費)													
特別管理産業廃棄 物運搬費	4t (1車-8m3)			2	台								
特別管理産業廃棄 物処分費	除去アスベスト・養生材(尿	養生のみ)共		14	m3								
小計													
計													

名	称	 摘	要	数	量	単位	単	価	金	 額	備	考
反囲い					1		-					
° Δο Ι.Ν. 1	117	77000 × 414500			1	式						
[°] ネルケ゛ート	W	7200×H4500			3	か所						
ラーコーン					12	m						
请品移動	t >	ル・棚・ロッカー・ スケース・展示農機	工作機械・ガラ 具等		12							
泛通誘導員					385							
OC濃度測定	5	物質			7	人						
計						か所						

名 称	摘	要	数量	単 位	単 価	金	額	備	考
高県工事中情報 有システム			1	式					
計									

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

名	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	 考
対囲い				1	式						
夏囲い		設置費 H=3.0m -	仮囲鉄板	391	m						
夏囲い こうしゅう		撤去費 H=3.0m -	仮囲鉄板 -	391	m						
夏囲い		供用1日賃料 修理 H=3.0m t=1.2mm w=	費含む 仮囲鉄板 500 -	391	m						
豆囲い		基本料 修理費含む H=3.0m t=1.2mm w=	· 仮囲鉄板 -500 -	391	m						
豆囲い運搬		H=3.0m		391	m						
計											